

広島県薬剤師会誌



2013	隔月発行
No. 245	5 月号

第42回 広島県薬剤師会通常総会開催通知

日 時：平成25年**5月25日**（土）午後3時～

場 所：広島県薬剤師会館4階ホール

議 事：

（報 告）

（資 料）

報告第1号 公益社団法人日本薬剤師会臨時総会報告

1. 平成24年度広島県薬剤師会収支補正予算書

報告第2号 社団法人広島県薬剤師会通常代議員会報告

2. 会費賦課納付規程の一部改正について

報告第3号 社団法人広島県薬剤師会臨時代議員会報告

3. 平成25年度広島県薬剤師会事業計画

報告第4号 平成24年度広島県薬剤師会会務及び事業報告

4. 平成25年度薬事情報センター事業計画

報告第5号 平成24年度薬事情報センター事業報告

5. 平成25年度広島県薬剤師会収支予算書

報告第6号 平成24年度広島県薬剤師会収支計算書

6. 平成25年度保険薬局部会事業計画

報告第7号 平成24年度保険薬局部会事業報告

7. 平成25年度保険薬局部会収支予算書

報告第8号 平成24年度保険薬局部会収支計算書

8. 平成25年度会館運営事業計画

報告第9号 平成24年度会館運営事業報告

9. 平成25年度会館運営事業特別会計収支予算書

報告第10号 平成24年度会館運営事業特別会計収支計算書

10. 平成25年度検査センター事業計画

報告第11号 平成24年度検査センター事業報告

11. 平成25年度検査センター特別会計収支予算書

報告第12号 平成24年度検査センター特別会計収支計算書

（議 案）

議案第1号 公益社団法人広島県薬剤師会定款(案)

ふるってご参加ください。また、ご欠席の場合は、委任状に所要事項をご記入の上、5月22日(水)までに必ずご返送くださいますよう併せてお願い申し上げます。
なお、駐車場の用意がありませんので、ご承知ください。

広島県 薬剤師会誌 目次

No.245

第42回広島県薬剤師会通常代議員会開催される	2
平成24年度在宅医療推進医等リーダー育成研修会（地域リーダー研修会）	7
平成24年度健康ひろしま21推進協議会	8
第36回福山大学薬学部卒業後教育研修会	9
第80回日本薬剤師会臨時総会	11
第24回広島プライマリ・ケア研究会	12
平成24年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会	17
広島県緩和ケア支援センター平成24年度緩和ケア人材育成検討会	18
ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会	19
第5回広島国際大学薬学部卒業後研修会	20
求人・求職システム事業等紹介のため大学訪問	21
日本薬剤師会平成24年度地域・在宅医療等担当者全国会議	22
第2回広島県地域医療再生計画推進委員会	23
第8回食育推進全国大会実行委員会（第3回）	24
第20回核戦争防止国際医師会議（IPPNW）世界大会報告会	28
日本薬剤師会平成24年度全国災害対策担当者会議	29
広島県災害時公衆衛生チーム研修会	31
日本薬剤師会平成24年度社会保険指導者研修会	33
平成24年度第4回広島県医療審議会	36
21世紀、県民の健康とくらしを考える会	37
日本薬剤師会平成24年度医薬分業指導者協議会	38
中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会および運営委員会合同会議	39
「がん検診サポート薬剤師」養成研修会	40
日本薬剤師会第1回都道府県会長協議会（会長会）	41
日本赤十字社中四国ブロック血液センター見学	42
福利厚生 Wポイントカード加盟店・指定店一覧	45
県薬だより 県薬より支部長への発簡 常務理事会議事要旨 県薬口誌 行事予定 会員異動	50
会員紹介⑦⑧／行政だより	61
支部役員名簿／支部だより／諸団体だより	64
研修だより	70
薬事情報センターのページ	82
お薬相談電話事例集 No.82	88
安全性情報 No.299・No.300	89
検査センターだより	90
薬局紹介⑩／書籍等の紹介／告知板	93
保険薬局ニュース	色紙
薬剤師連盟のページ	色紙

表紙写真 ヤマシャクヤク（山芍薬）（ボタン科）

観賞用の芍薬は野生種のヤマシャクヤクから改良されたものとされています。日本でも高地に自生します。薬用は栽培されたものの根を用います。主成分はペオニフロリンで鎮痛、平滑筋の緊張緩和、抗炎症作用があります。漢方薬の処方に配剤され、桂枝湯、葛根湯、当帰芍薬散、柴胡桂枝湯、加味逍遙散など頻用されています。

写真解説：吉本 悟先生（安芸支部）
撮影場所：広島市安佐北区

第42回 広島県薬剤師会通常代議員会開催される

— 平成25年度事業計画・収支予算など決定 —

第42回広島県薬剤師会通常代議員会は、去る3月24日（日）午後1時から、広島県薬剤師会館において開催された。

会議は吉田亜賀子常務理事の司会のもと開会され、まず、大塚幸三副会長の開会の辞、児玉孝日本薬剤師会長、藤井基之参議院議員の祝電披露の後、正・副議長選出のため仮議長を司会者指名により、竹下武伸代議員（大竹）を選出し、次に、出席代議員数の確認があり、出席代議員数75名であり、定款第27条の規定する2分の1の定足数に達しているので、会議の成立宣言があり、直ちに開議された。続いて正・副議長の選出に移り、選考委員5名による選考が行われた結果、議長に河内一仁代議員（広島）、副議長に荒田吉丸代議員（安佐）が選出された。



次に、正・副議長が着席され、まず、議席の指定、会期を1日（24日）と決定、続いて、議事録署名人に、友田泰樹代議員（広島）、池田和彦代議員（広島佐伯）を議長指名によって選任、また、第42回広島県薬剤師会通常総会におけるこの代議員会報告者に上記の2氏を指名した。

次に、平成24年度の物故会員に対して、ご冥福を祈り黙祷が捧げられた。

次に、会長演述に移り、前田泰則会長から別掲のとおり演述があった。

次に、選挙管理委員会委員の委嘱に移り、議長から山本和彦（広島）、森川悦子（広島）、下田代幹太（安佐）、作田利一（福山）、石本晃一郎（廿日市）の5氏に委嘱された。

次に、議案等の審議に入り、直ちに報告事項10件、議案12件を一括上程議題とし、次のとおり各担当理事等から報告事項の説明並びに議案の提案理由の説明が行われた。

（報告事項の説明）

1. 報告第1号 日本薬剤師会臨時総会報告
(村上信行日薬代議員)
2. 報告第2号 平成24年度広島県薬剤師会会務及び事業執行状況報告
(野村祐仁副会長)
3. 報告第3号 平成24年度薬事情報センター事業執行状況報告
(木平健治副会長)
4. 報告第4号 平成24年度広島県薬剤師会収支計算書
(谷川正之常務理事)
5. 報告第5号 平成24年度保険薬局部会事業執行状況報告
(村上信行副会長)
6. 報告第6号 平成24年度保険薬局部会収支計算書
(青野拓郎常務理事)



7. 報告第7号 平成24年度会館運営事業執行状況報告
(野村祐仁副会長)
 8. 報告第8号 平成24年度会館運営事業特別会計収支計算書
(谷川正之常務理事)
 9. 報告第9号 平成24年度検査センター事業執行状況報告
(大塚幸三副会長)
 10. 報告第10号 平成24年度検査センター特別会計収支計算書
(谷川正之常務理事)
- 以上の報告事項の説明終了後、暫時休憩した。
＜休憩 午後2時28分、再会 午後2時45分＞
会議再開後、引き続き各議案の提案理由の説明が、次のとおり行われた。

(提案理由の説明)

1. 議案第1号 平成24年度広島県薬剤師会収支補正予算書(案)
(谷川正之常務理事)
2. 議案第2号 会費賦課納付規程の一部改正について(案)
(野村祐仁副会長)
3. 議案第3号 平成25年度広島県薬剤師会事業計画(案)
(野村祐仁副会長)
4. 議案第4号 平成25年度薬事情報センター事業計画(案)
(木平健治副会長)
5. 議案第5号 平成25年度広島県薬剤師会収支予算書(案)
(谷川正之常務理事)
6. 議案第6号 平成25年度保険薬局部会事業計画(案)
(村上信行副会長)
7. 議案第7号 平成25年度保険薬局部会収支予算書(案)
8. 議案第8号 平成25年度会館運営事業計画(案)
(野村祐仁副会長)
9. 議案第9号 平成25年度会館運営事業特別会計収支予算書(案)
(谷川正之常務理事)
10. 議案第10号 平成25年度検査センター事業計画(案)
(大塚幸三副会長)
11. 議案第11号 平成25年度検査センター特別会計収支予算書(案)
(谷川正之常務理事)
12. 議案第12号 公益社団法人広島県薬剤師会定款(案)
(二川勝常務理事)

以上の説明後、直ちに質問に入り、各代議員から活発なる質問・質疑があり、理事者との間に極めて熱心な討議が行われた。

その質問・質疑は次のとおりである。

○保険薬局部会について

○会館の移転について 等

質疑終了後、採決が行われ、各報告事項についてはいずれも原案のとおり承認され、各報告事項についてはいずれも原案のとおり承認され、議案第1号～11号についても原案のとおり可決された。議案第12号については原案を一部修正すること可決された。

以上で議事を終了し、木平健治副会長の閉会の辞を以って閉会された。

＜閉会 午後5時35分＞



《 前 田 会 長 演 述 》

本日は、日曜日にも関わりませず本会通常代議員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。例年は春分の日を開催日としていましたが、諸般の事情で本日日曜日の開催となりました。

日頃より、会員の諸先生方を始め各支部の役員、代議員の先生方には本会各事業へのご協力に感謝申し上げます。

ご存知のように広島県は各種健康診断の受診率が全国的にもかなり低いレベルにあります。生活習慣病の一つの目安となるメタボ診断に至っては全国最下位であり、ガン検診等も同じく低レベルの状況が続いています。もちろん広島県は有数の公的病院等が充実し検診よりも診察という傾向にあることも事実であります。

さてそうは言いましても、少子高齢社会におきましては早期発見早期治療を目指して県行政も国と連携のもと受診率の向上に向けて様々な施策を打ち出しています。最近では、湯崎広島県知事と「ガン検診サポート薬剤師」の育成に向けて、継続的に進めるための研修事業に関する締結を結びました。

この他にも、広島県が推進しています5疾病5事業及び在宅等の疾病対策・事業等への薬剤師としての参画を広く進めています。

そのキーワードは「少子高齢社会における薬剤師の対応」に他なりません。少子化の為には、数少ない子供の健全な育成、薬物乱用防止を始め学校教育、食育の充実が今後も社会から求められます。

また高齢化への対応は、数多い医薬品の服薬指導、薬歴管理、お薬手帳の活用、在宅への取り組み等、何れも患者さんの目線で薬剤師の職能を発揮していただきたいと思います。

平成24年度広島県医療審議会において、医師・歯科医師・薬剤師など医療系職能組織の拠点化を進めています。また多職種協働による医療機能の強化を図る目的で広島県歯科医師会と共同歩調を

取りながら広島県薬剤師会館の二葉の里地区

医療・福祉ゾーンに移転整備をする

予定であります。広島県の薬剤師の新しい拠点造りは次世代の研修育成等へ大いに活用いただければ幸いです。

将来に向けて期待される薬剤師として公益社団法人日本薬剤師会は「薬剤師の将来ビジョン」を策定し今後の道筋を示そうとしています。

また、今年は日本薬剤師会にとりまして創立120周年を迎える節目の年でもあります。薬学6年制を卒業した薬剤師が社会に足場を築き、社会の一員として患者さんの立場で必要とされる薬剤師に育っていける事を切に願っています。

広島県薬剤師会も現在公益社団法人への移行に向けて準備中ではありますが、将来に向けて薬剤師の職域を広く充実した組織にするために一歩ずつ前進して行きたいと願っています。

そのためには、広島県薬剤師会会員を始め支部の先生方のご支援とご協力をより一層お願いいたしまして開会の挨拶に代えさせていただきます。



第42回 県薬通常代議員会

出席者

(敬称略、順不同)

(○印は予備代議員)

◆代 議 員

岡田 甫、○形部宏文、○今田哲生、岩本義浩、加藤淳司、河内一仁、高橋 強、○新谷洋通、竹本貴明、友田泰樹、長坂晋次、中野真豪、永野孝夫、野村伸昭、○武末玲子、細田正紀、○三浦常代、宮本一彦、森川悦子、山内純子、山本和彦、吉川勇人、畠山 厚、細田智子、○郷田志乃、皮間壽美子、○天畠真奈美、小早川雅章、松村博之、佐々木一仁、林 充代、中嶋都義、土井郁郎、○加藤頼孝、荒田吉丸、下田代幹太、貞永昌夫、大賀真樹子、秋本浩志、埤 文子、井上 真、○江木ひとみ、清原一樹、作田利一、鍋島睦枝、○児玉真市、山岡恵美子、山口恵徳、○松本久二子、竹下武伸、樽谷嘉久、長谷川項一、呑田敬三、池田和彦、出口正光、藤政智栄、島崎一郎、中石真紀、石本晃一郎、渡邊理恵子、新出 恵、岩本 仁、阪田安雄、原 俊樹、○肥後克彦、常盤周作、杉田善信、清原厚子、○稲住俊介、○恵谷展幸、金光瑞恵、横田いつ子、横田 進、徳永克志、石部敦子

◆役 員

会 長 前田泰則

副 会 長 木平健治、大塚幸三、野村祐仁、村上信行

専務理事 豊見雅文

常務理事 青野拓郎、有村健二、小林啓二、重森友幸、谷川正之、豊見 敦、中川潤子、二川 勝、政岡 醇、松村智子、吉田亜賀子、渡邊英晶

理 事 高野幹久、三宅勝志、新井茂昭、奥本 啓、串田慎也、林 真理子

監 事 水戸基彦、児玉信子

◆日本薬剤師会代議員

村上信行、青野拓郎、野村祐仁

◆支 部 長

野村祐仁 (広島)、二川 勝 (安芸)、大塚幸三 (呉)、村上信行 (福山)、杉田善信 (三次)、青野拓郎 (安佐)、竹下武伸 (大竹)、樽谷嘉久 (広島佐伯)、渡邊英晶 (廿日市)

第42回 広島県薬剤師会 通常代議員会に出席して



報 告 I

理事 奥本 啓

昨年4月から理事に就任させて頂き、私にとっては初めての代議員会の参加であり、代議員席と向き合う形に配置された慣れない席は、それだけでも身の引き締まる思いがしました。

開会の辞は大塚副会長より、さらに河内一仁議長・荒田吉丸副議長選出のもと議事が進行され、前田会長の演説を経て議案の審議に入りました。

報告では薬局実務実習、新薬剤師研修会への協力、JPALSの推進事業、日薬から県薬への基準薬局の移行。全国でも下位にあたる広島県の県を挙げた推進事業に向けたがん検診サポート薬剤師事業。震災現場での有用性を見直されたことや、昨年4月の改正で手数料の無料化をきっかけとして、より勧めやすくなったおくすり手帳のこれまで以上の定着のためのPR事業など、第1～10号までの事業執行・収支報告で説明されました。

15分の休憩を挟み、本年度の議案に入り、正会員の日薬会費減額に伴うA'及びB会員の県薬会費の減額案、県薬ホームページの管理、運営形態の変更、がん検診サポート薬剤師事業の更なる推進

と協力。

医薬分業の質を問われている現在、在宅緩和ケアへの参画推進や『おくすり手帳の紙が薬袋の中に何の説明もなく入れられていた！』などの例にみられる薬剤師の質的向上対策の検討と推進。

さらには来年4月に向けた広島県薬剤師会の公益社団法人化に向けた定款修正案など第1～12号までの議案を経て質疑応答に入りました。

質疑では会費の県薬での収支内容や會館移転の見込みに対する細かい指摘や説明。TPP参加による医療業界への影響など約2時間に渡る審議のもと、原案を一部修正するというかたちで可決され、午後1時から始まった会は6時前に終了しました。

閉会は木平副会長より、法人化・移転・TPPと課題は山積みで激動の中ではありますが、支部の方々と支え合い、薬剤師会の発展に向けてご支援お願い申し上げますとの挨拶で幕となりました。

今期、何も知らないまま役員として飛び込み、あっという間に1年が過ぎました。いろんな会議や事業に参加させて頂くことで、自分の知らないところでこれだけ大変な業務をこなされていることなど、いろんなことを知るきっかけとなった大変刺激を受けた1年でした。

更に今回の代議員会でさまざまな意見を耳にすることで、会が一人歩きしないよう所属支部の方々へのフィードバックや声を取り上げていく連携も大変重要であることも痛感しました。

こうした日々の経験を基に、所属支部との連携のとれた強い組織力を持つ広島県薬剤師会となっていけるよう、微力ながら今後とも頑張っていきたいと思います。有難うございました。



報告Ⅱ

広島支部 森川 悦子

司会は吉田亜賀子氏、開会の挨拶は大塚幸三氏、日薬の児玉孝会長と参議院議員藤井基之氏の祝電

紹介の後に、正副議長として、河内一仁氏・荒田吉丸氏を選出して開会した。

前田泰則会長は、広島県薬剤師会は広島県と協定を締結し、がん検診サポート薬剤師を養成している。目的は、がん検診の受診勧奨やがん医療等に関する情報提供である。日薬120周年を迎えるに当たり、新しい薬剤師の将来ビジョンを作成、構築していかなければならない。多職種と協働して、新しい拠点づくりが必要であると挨拶された。

村上信行副会長から、2月23・24日に行われた、第80回日薬臨時総会の報告があった。主な問題点や課題として、

- ・薬のインターネット販売の敗訴により新たなルールについての検討
 - ・スイッチOTCや生活習慣病との関わり方
 - ・税と一体改革について
 - ・薬価基準や長期投与の問題
 - ・無菌調剤・在宅
 - ・JPALS
 - ・これからの基準薬局の役割についての説明
- などがあった。

その後、報告第1号から10号、議案第1号から12号の一括上程があり、各報告、議案や提案理由の説明などののち、一括採決を行い、すべて可決された。

質問事項として、

- ・會館移転の見込みについて
 - ・保険薬局部会会費賦課納付規定について
 - ・TPP参加について
 - ・会費納付規定変更の通知の説明・時期について
 - ・公益社団法人広島県薬剤師会定款(案)について
 - ・役員の公務出張について
 - ・広島県のJPALS登録人数について
 - ・広島県学校薬剤師会との一体化について
 - ・医療機関との共同看板についての考え方の確認
- などがあった。

とても熱心な議論が行われ、17時30分に木平健治氏の挨拶で閉会した。

薬学部6年制第1期生が卒業して、新たな薬剤師業務を広く展開していかなければなりません。少子高齢化ですますます重要になってくる在宅な

ど、社会に対する薬剤師の役割や職域を再確認して、気持ちを新たにしたい1日でした。執行部のみなさん、代議員のみなさん長時間お疲れ様でした。

平成24年度 在宅医療推進医等リーダー育成研修会 (地域リーダー研修会)



常務理事 有村 健二

(福山会場)日時：平成25年2月17日(日) 13:00～16:00 場所：福山市医師会館

(広島会場)日時：平成25年2月24日(日) 13:00～16:30 場所：広島県庁

目 的

地域において、在宅医療の中心となる医師・看護師・地域包括支援センター職員等の在宅医療従事者及び市町行政に対して、他職種協働による在宅医療についての研修を行い、在宅医療に関する地域の指導者(在宅医療推進医[コミュニケーションリーダー])を日常生活圏域単位で育成する。

参加者

福山会場 81名(医師 42名)

広島会場 261名(医師130名)

研修内容

①「在宅医療推進医等リーダー育成研修の目的と概要」

北広島町雄鹿原診療所 東條環樹 所長

②「かかりつけ医の、役割・施設診療の実際」

折口内科医院 高橋浩一 院長

③「チーム医療としての在宅医療～他職種他事業所連携の必要性～」

東広島地区医師会連携室 杉本有希子 室長

④「超高齢社会における医療・介護の政策課題」

政策研究大学院大学 島崎謙治 教授

・グループ討議「他職種連携の課題と解決策」

対象が医師ということで、参加者は大半が医師、他職種は少なく地域包括支援センター職員を含め行政が殆どで、薬剤師は1名、緊張を感じたが、SGDでは医師の熱意を感じた。団塊の世代が75歳を迎える2025年を迎え「多死時代」が問題になる。一方ベッド数や特養などは抑制され、療養・介護や看取りを在宅で迎えなければならない。現在厚労省では在宅医療連携拠点事業等施設から在宅への舵取りを進めている。2013年度では地域において市町は現実に進めなければならなくなる。しかしながら、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等とケアマネ、ヘルパー等の連携は未だハードルが高いと感じる職種が多い。広島県では国が進める地域包括ケア体制を構築するのに、医師の在宅医療推進コミュニケーションリーダーが必要としたものの。

薬剤師会でも日薬作成「在宅療養推進アクションプラン」を推進しているところで訪問薬剤管理指導を進める薬局を県薬ホームページに掲載すると共に、各支部に関係団体等へのPRをお願いしている。

平成24年度 健康ひろしま21推進協議会



常務理事 中川 潤子

(第3回) 日時：平成25年2月20日（水）19:00～21:00 場所：県庁自治会館

(第4回) 日時：平成25年3月4日（月）19:00～20:30 場所：県庁本館

健康ひろしま21推進協議会は、広島県民の健康の保持増進を目的に、「健康ひろしま21（県健康増進計画）」を推進するために設置されています。健康ひろしま21（第1次）は平成20年～24年度だった為、今回、平成25～34年度の10年間を見据えての改定を行うことになりました。

第1回 推進協議会（平成24年3月9日）

- 1 健康ひろしま21（現行計画）の目標達成状況等について
- 2 健康ひろしま21計画改定のコンセプトと方向性について

第2回 推進協議会（平成24年6月1日）

- 1 健康ひろしま21基本コンセプトについて
- 2 広島県としてこだわる項目について
- 3 今後10年にわたり、県民の健康をフォローアップする項目について

第3回 推進協議会

事務局の司会で会議は始まりました。堀江正憲会長の辞任に伴い、会長の選出について協議されましたが、後任である広島県医師会渡邊弘司常任理事が新会長に選出されました。

前回の会議での協議結果をもとに、3回のワーキング会議が開かれ、健康ひろしま21（第2次）（素案）が作成されました。今回はその素案について協議されました。各委員から活発な意見交換の後、計画をより実効性のあるものとするため、第4回の推進協議会の開催が決まり、会議は終了しました。

第4回 推進協議会

渡邊会長の挨拶の後、協議に入りました。

1 「健康ひろしま21（第2次）」（案）について

事務局から、前回の会議での意見をもとに修正し直した箇所の説明があり、再度、この案についての協議が行われました。文章の言い回しや表の書き方等、細かい点についての意見も出され、今回の意見を取り入れ、事務局が最終整理し、そして「健康ひろしま21（第2次）」としてまとめることとなりました。参考資料の中には、健康ひろしま21（第1次）評価一覧表や用語解説も入り、県民により分かりやすいものになったと思います。

2 「健康ひろしま21（第2次）」の取組みについて

第2次計画を推進する中で、これから取り組むべき事業や、実際に現在行っている事業などを、各委員が提案シートにて提出しました。今回は、第1回の意見交換会を行い、これらの提案については今後の継続審議となりました。

3 その他

平成20年度に設置した「ひろしま健康づくり県民推進会議」は生活習慣に係る普及啓発などのキャンペーンを展開していますが、今後、会長である衣笠祥雄氏の起用方法や、企業との連携方法などの提案を戴きたいと事務局からの依頼があり、会議は終了しました。

第36回 福山大学薬学部卒後教育研修会



卒後教育研修会委員長 塩見 浩人

日 時：平成25年2月23日（土）14:30～17:30

場 所：福山大学宮地記念館

本年度の研修会は、『病院－薬局間での切れ目のない患者ケアに向けて 一葉・薬連携の現状と課題一』のテーマで開催し、4分野の専門（認定）薬剤師から、薬薬連携への提言を受け、活発に質疑応答がなされた。研修会参加者は99名であった。

＜講演1＞感染制御専門薬剤師より

『薬剤師にできる感染症の予防と治療―耐性菌を増やさないために―』（五日市記念病院臨床薬理科 荒川 隆之）



感染制御専門（認定）薬剤師は、病院での感染予防・感染症治療の支援並びに地域での感染制御情報共有の役割も担っている。その中で、施設・地域のローカル因子に基づくアンチバイオグラムの作製は、有効なエンピリック治療の実施のために重要である。また、薬局を訪れる感染症患者への対応を動画で示し、注意ポイントが示された。

＜講演2＞妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師より 『日常における妊婦・授乳婦への服薬説明』（島根県立中央病院薬剤局 布野 優子）

妊婦・授乳婦（胎児・乳児）への薬物作用について、添付文書にも明確な指示記載がなく、確率が判断基準になる。薬剤師は、胎児・乳児への薬物の影響について専門的な情報提供を行うが、薬物服用の最終判断は妊婦・授乳婦本人に委ねている（医師でも同様）。専門薬剤師として患者のケアに専門的に関わる中にも、解決すべき問



題が多く残されているが、妊娠前から授乳中まで長期にわたって関わることのできる薬局薬剤師との間で、薬薬連携が非常に重要な分野である。

＜講演3＞がん専門薬剤師より

『外来化学療法における薬剤師の連携』（岡山赤十字病院薬剤部 森 英樹）

がん専門薬剤師は患者のライフスタイルを理解し、「共にがん闘っていく」スタンスで関わらなければいけない。患者は入院中も外来治療中も同じ病気と闘っているが、病院薬剤師は退院により手が離れたと錯覚する者がある。患者の病気は連続していることの認識が欠如するとがん化学療法は成り立たない。従って、この分野においての薬・薬連携は極めて重要で、その連携のツールとして「おくすり手帳」の重要性が具体的な事例と共に提示された。



＜講演4＞日本糖尿病療養指導士より

『糖尿病治療における薬剤師への期待 ―新しい薬剤から療養サポートまで―』（JA吉田総合病院薬剤部 堀川 俊二）

糖尿病療養指導士には日本糖尿病療養指導士（CDEJ）と地域糖尿病療養指導士（LCDE）があり、LCDEは保険薬局薬剤師も取得可能である。糖尿病は外来治療が中心であり、薬薬連携により、病院薬剤師と薬局薬剤師が情報を共有し、病院、診療所、薬局（薬剤師会）、訪問看護ステーション、行政が協働する地域ネットワークに



よるシームレスな薬物管理が必要となる。この観点から具体的な実践例を示しながら、薬剤師の医療分野での連携のあり方についての問題が提起された。

今回は、「薬剤師の専門性や連携の基盤として、薬剤師一人ひとりが患者から信頼される医療従事

者になること」が、最も重要であることを改めて認識させられた研修会であった。

本研修会は、広島県薬剤師会、広島県薬剤師研修協議会、広島県病院薬剤師会の共催によるものであり、関係各位に深く感謝いたします。



講演の様子



質疑応答の様子



会場全体の様子

(写真撮影：西尾廣昭教授)

第80回 日本薬剤師会臨時総会



日本薬剤師会代議員 青野 拓郎

日 時：平成25年2月23日（土）13:30～17:30

24日（日）10:00～15:30

場 所：東京・ホテルイースト21東京

代議員149名が参加した臨時総会が宮崎長一郎常務理事の司会で始まりました。生出泉太郎副会長の開会の辞の後、小野春夫議長、吉田真澄副議長が登壇し、出席代議員の点呼をとった後、会議の成立宣告、議事録署名人の指名がありました。引き続き尾島博司議事運営委員長より議事日程の説明がありました。

次に会長演述に移りました。

日本薬剤師会が、この6月をもって創立120周年を迎え、6月9日に式典を挙行する予定であると述べられました。

インターネットによる一般用医薬品販売に関する問題、医薬分業への批判、調剤ポイントの問題等も含めて今後、薬剤師として“自信”を持って頂きたいと思うと同時に薬剤師としての原点を再認識し、反省すべきことは真摯に受け止め、それに応えるべく最善の努力を忘れてはならないと思うと述べられました。

会議では、報告1件、議案9件が一括上程され生出副会長による平成24年度会務並びに事業中間報告の後、各担当理事からそれぞれ説明、提案がありました。

続いて寺山善彦専務理事から重要事項の経過報告があり、

- ①一般用医薬品販売制度関連事項
- ②社会保障・税一体改革
- ③医療制度改革
- ④薬学教育関連事項
- ⑤生涯学習支援システム（JPALS）
- ⑥薬剤師の将来ビジョン

⑦日薬120周年記念事業

⑧薬剤師年金保険

⑨その他

について説明がありました。

休憩をはさんでブロック代表質問へ移り近畿、中国、大阪、四国、九州の順で行われました。

中国ブロックからの一包化調剤薬から中止薬の除去や追加、変更等の再分包化についての評価に関する質問に対し、評価の要望については検討すると回答がありました。また特定薬剤管理指導の算定に関する質問に対し、日薬も算定に関する問題は把握しているので、Q&Aで説明させてもらうし、更に検討していくとの回答がありました。

ブロック代表質問後、9月に開催される第46回日本薬剤師会学術大会開催県の藤垣哲彦大阪府薬剤師会会長の挨拶があり、1日目の日程は終了しました。

総会2日目は、午前10時より前日に引き続き北海道、東京、関東、東北、北信越の順でブロック代表質問が行われました。

その後、昼食休憩をはさみ、全11ブロックによる一般質問が行われました。

続いて、議案の採決が行われ議案第1～9号が理事者提案通り承認、議決されました。

最後に土屋文人副会長より閉会の辞があり2日間にわたる全日程が終了しました。

第24回 広島プライマリ・ケア研究会

日 時：平成25年2月28日（木）19:00～20:45

場 所：広島医師会館



報告 I

常務理事 重森 友幸

今回は担当として広島県薬剤師会が担うこととなり、昨年11月15日本研究会の1回目の世話会が開催され、テーマとして「在宅医療」に決定しました。

今回の研究会の形式は、第1部基調講演1題、第2部シンポジウム4題の形式で開催されました。

当日は、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・社会福祉協議会などから100名余の出席がありました。

総合司会として、公立三次中央病院院長中西敏夫先生の挨拶に続き、基調講演として、患者の信頼が最も厚く、今、リアリティーな話題、現場からの生の声が聞ける先生として医療法人社団パリアンクリニック川越理事長・院長川越厚先生が紹介され、約1時間にわたり講演がなされました。

第1部 基調講演

「在宅緩和ケアに必要なチームアプローチ」(医療法人社団パリアン理事長医療法人社団パリアンクリニック川越院長 川越厚先生)

「チーム医療」とは、「多様な医療スタッフが、各々高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつ互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」とある厚生労働省医政局の報告書の冒頭の文言についての解説がなされました。これは、基本的な考え方としてチーム医療を定義したものです。

さらにチーム医療の効果として、

- ①医療・生活の質の向上
- ②医療従事者の負担軽減
- ③医療安全の向上

を指摘しています。

さらに、このようなチーム医療を可能にする前提として、

- ①各医療スタッフの専門性の向上
- ②各医療スタッフの役割の拡大
- ③医療スタッフ間の連携・補完の推進

が挙げられています。

現在、この報告書に基づき具体的事例の検討が行われていることが解説されました。

次に、川越先生が展開されている在宅ホスピス緩和ケアへの取り組みとチームについての講演がありました。1980年代後半から在宅ホスピスケアに本格的に取り組みを始められておられます。サービス提供の形は、最初無床診療所、一般病院（当初は一般病棟、後に緩和ケア病棟）、現在は無床診療所であります。そして、最初の10年間は在宅ホスピスケアの質を確認した時代です。

看護師との連携でみると、

- ①初めは、診療所の訪問看護師とチームを組んだ時代
- ②次に同一医療機関の訪問看護ステーションと協働した時代
- ③一般病棟をバックに地域の訪問看護機関と協力してサービスをした時代
- ④緩和ケア病棟をバックにした時代

この10年間、試行錯誤を繰り返された歩みの中で、在宅でのホスピスケアがベストであるとの結論に至ったそうです。但しそれは、チームとして

サービス提供が充実しているという前提がなければ達成できません。このことを念頭において2000年7月に医療法人パリアンを立ち上げられ、現在年間150名前後のがん在宅死を実現されておられます。

次に、在宅ホスピス緩和ケアを提供するための充実したチームアプローチという問題点について述べられました。

- ①医師と看護師が一体化した形でサービスを提供すること
- ②その為に、統合した理念とケアプログラムをチームが共有していること
- ③リアルタイムに情報を共有し、緊密な連携をとって、できるだけ早く問題に対処できること
- ④信頼性の高い24時間ケアを提供すること
- ⑤高度な医療を在宅で実施すること

が必要と考えられています。しかし、現実問題としては「まだ道半ば」で患者及び家族の切なる願いをかなえるためには、まだまだ時間が必要であるとのことでした。

次に、緩和ケアの普及を妨げている問題について触れられました。

1) 患者の居宅が医療の場になったこと

医療法の改正で患者の居宅等を第3の医療の場と認知し、訪問看護ステーション制度のスタート（1992年）、介護保険の制定（2000年）、麻薬管理マニュアルの改定はあったが、医師法には手がついていないことが、チームのスピード対応、効率性などに足かせとなっていることが述べられました。

2) 在宅緩和ケアにおける、医師と看護師の連携

現在の制度下では看護ステーションは診療所とは独立しており、患者が地域に表れてからチームが形成されることになり、統合性・迅速性・効率性を保つ質の高いレベルを保つことが容易ではありません。

3) 医療と福祉との連携

在宅ケアは患者の生活の場で行われるため、

患者の生活の質を向上させることが大きな目標です。公的支援として、医療支援のための医療保険、生活支援のための介護保険が夫々独立して設けられ、補完関係にあるにもかかわらず難しい調整が必要になることがあるそうです。

4) 在宅緩和ケアー在宅ケアの中に新たに参入した異質のケア

在宅ケアの対象とする患者は、症状が安定し、医療依存度が低く、経過が長い特徴があります。

一方、在宅緩和ケアの対象者は症状緩和のための医療が必須であり、短い期間で死亡する特徴があります。非がん患者とがん患者を同一の枠組みのなかで対応することには限界があります。

5) 病院医療の単純な延長でない在宅ホスピス緩和ケア

生活支援を主とする在宅医療と、病気治療を中心に組み立てられている病院医療とは、根本的に異なることであります。

以上、「在宅医療」について、先生の歩んでこられた歴史をもとに、今後の目標が明確になったと思います。私たち多くの薬剤師は十分に研鑽をしつつ早急に在宅医療チームへの参画をする必要があると思いました。

パリアンクリニック川越の創立理念と3つの目標について（ホームページより）

理念：死に赴く患者・家族を在宅で全人的にケアする

目標1) 高品質のケアをより多くの患者に届ける

2) 時代の要請に応えるケアの提供体制を整える

3) 地域・社会を変える

第2部 シンポジウム

座長 広島県薬剤師会副会長 木平健治 先生
 広島県医師会常任理事 中西敏夫 先生

在宅医療

～薬剤師とケアマネジャーの立場から～（井口台
 介護ステーションケアマネマイスター広島 岸川
 映子先生）

薬剤師であり、ケアマネジャーとしての資格を
 もとに井口台介護ステーションを立ち上げられ在
 宅医療に入られた背景を述べられました。

〈在宅で最期を迎えられた事例の報告〉

80代の独居のがん男性患者の事例の報告があり
 ました。緊急入院から6カ月に亘るチームアプ
 ローチで薬剤師として、ケアマネジャーとして関
 わられ、家族に看取られて永眠された事例。

チームアプローチとして利用者・家族を中心に
 往診医・訪問看護・訪問薬剤師・福祉用具業者・
 ケアマネジャーとしての連携また薬剤師として服
 用薬剤について患者の病態や薬品の特性を生かし
 て必要に応じて変更の提案がなされています。

事例2では、

〈薬剤の調整により家族の負担が軽減できた事例
 の報告〉

次に、在宅療養における薬剤師の役割につい
 ては、薬剤師が関与し、患者にきちんと服薬して
 いただくことにより患者の病状、ADL、そして
 QOLを改善または維持することです。

その為に薬剤師が行うことは、

- ①服薬状況が悪い場合はその理由を探り、改善
 のための対策を行う
- ②くすりが患者さんの病状、ADL、そして
 QOLに悪影響与えていないかアセスメント
 する

次に、訪問薬剤管理指導開始に至る4つパター
 ンを紹介され、医師の指示待ちだけでなく積極的
 に多種職との連携をとり状況把握することが必要
 と述べられました。

①医師の指示型 医師・歯科医師からの支持要
 請

②薬局提案型 薬局窓口で薬剤師が疑問視して
 訪問して状況把握し医師・歯科医師に情報提
 供

③介護支援専門員提案型 介護支援専門員から
 薬局への相談：状況把握して医師・歯科医師
 に情報提供

④多種職提案型 看護師、訪問介護師など多く
 の医療・介護師、家族からの相談から状況把
 握して医師・歯科医師へ情報提供

薬剤師、ケアマネジャー、またケアマネマイスター
 として在宅医療の最先端をリードされています。

在宅における歯科診療と口腔ケア（広島県歯科医
 師会公衆衛生部委員長 上川克己先生）

高齢者の居住の場について

○高齢者の8割以上が持ち家（65歳以上は85.
 7%）

○高齢者の9割以上は在宅

○要介護の高齢者約8割が在宅

多くの高齢者は在宅での暮らしが多く、また独
 居家庭も多いことから、医療機関への受診もま
 まならないことが多くなっています。口腔ケア、義
 歯の手入れも十分でないことから嚥下障害などの
 合併症が見られます。事例紹介では、硬い食べ物
 が好きだったにも関わらず義歯が不具合なことか
 ら、食べることが十分できず、ふさいでおられた
 高齢者で在宅での口腔ケア及び義歯の調整によ
 って以前のようなものが食べられ、満足されたこ
 とが報告されました。

次に、唾液の不顕性誤嚥の問題が述べられまし
 た。65歳以上の方の約半数が夜眠っている間に唾
 液を肺に飲み込んでいます。予防するためには、
 口腔ケアが重要になってきます。

口腔ケアの分類は①口腔清掃②口腔機能回復が
 あり①にはうがい、歯磨き、義歯の清掃、粘膜・

舌の清掃②はリクレーゼーション（脱感作）、口腔周囲部の運動訓練、せきばらい訓練、嚥下促進訓練、発音訓練があり、いずれも在宅において歯科衛生士が訪問して行います。その際に家族と一緒に口腔ケアを行うことで家族で口腔ケアができるようになります。

歯科医師会ではどの地区でどこでどの歯科で訪問診療を受けることができるかホームページで確認することができます。現在では多くの歯科で訪問診療がなされていることが報告されました。

訪問看護で支える小児在宅医療

～在宅で生活する病児・重症児とその家族を支援するために～（広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」 所長 佐久間美保子氏）

小児訪問看護の取り組みを中心に、平成14年度・15年度広島大学横尾教授「NICU退院時の在宅医療・育児を支えるための地域システムに関する研究」に参画協力。

平成21年広島県「新生児在宅医療支援事業」に参画。

広島県看護協会立の訪問看護ステーション6事業所で、重症児、NICU退院児への訪問看護の実践されています。

〈訪問看護ステーション「こい」の概要〉

平成16年7月に設立され、居宅介護支援事業・療養通所介護事業所併設

職員数28名で西区、佐伯区と廿日市市の一部をエリアとする介護支援事業所

16年から24年12月で小児の利用者数は51名であり、その内訳では基礎疾患として中枢神経系疾患25%、低出生体重児21%、慢性肺疾患18%、染色体異常を含む先天異常18%、その他18%

在宅医療の有無では67%、34人が在宅です。経鼻経管栄養、在宅酸素、口腔・鼻腔吸引、気管切

開のケア気管内吸引などです。

訪問看護を必要とする小児には次のような支援が必要です。

①医療的ケア支援

在宅医療を必要とする児・障害や基礎疾患があり予後不良、状態悪化が予想される児

②育児支援

低出生体重児や多胎・母親の育児不安・母親の病気・育児の援助者がいない・虐待リスクがある場合

事例報告では脊髄性筋萎縮症の患児の2歳から現在にいたるまでの支援体制について報告されました。

最後に、医療的ケアを必要とする小児の在宅医療の課題として、

- 小児在宅医療を行う医療機関が不足している
- 小児に対する訪問看護ステーションが不足している
- 重症児を対象とするショートステイ・デイサービスが少ない
- サービスを調整するコーディネーターが不足
- 家族も多くの問題を抱えている

小児在宅支援のためのネットワークの充実、すなわち生活を支えるための医療・看護・福祉・教育の充実が必要ながことが述べられました。

社会福祉協議会のすすめる地域包括ケア

～地域の住民力を活かした関係専門職との協働体制づくり～（広島県社会福祉協議会主任 河内広行氏）

まず、社会福祉協議会の役割・専門性についての説明がなされました。

○社会福祉法に規定されている

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体

○役割

自助・互助型社会をつくる

○専門性

地域に出向き地域を耕す

次に、地域包括ケアと社会福祉協議会の関係についての説明がなされました。

○地域包括ケア

専門職（医療・保健・福祉）と地域の福祉力（互助活動）

○社会福祉協議会の関係

地域での見守り支えあい体制づくりをすすめる具体的な事業として、

- ・小地域のお茶の間づくり事業の展開
さまざまな生活ニーズに対応できる仕組みをつくる
- ・小地域における常設的なふれあいサロン等を活動拠点とし、ボランティア機能や福祉サービスなどを利用して参加住民がその生活課題に対応できる仕組みをつくる
- ・福祉サービス利用援助事業（かけはし）の活用
- ・一人暮らしの認知症高齢者を支えた事例の報告がありました。

最後に、質問として立たれた小林先生から訪問リハビリの重要性についての見解が求められました。

座長を務めていただいた、広島県薬剤師会木平健治先生、広島県医師会常任理事中西敏夫先生をはじめ、また基調講演を頂いた川越先生、シンポジストを務めて頂いた先生、研究会の準備を頂いた医師会のスタッフの方々に厚くお礼を申し上げます。



報告Ⅱ

広島佐伯支部 岸川 映子

広島県のプライマリ・ケア研究会は平成8年に設立され、医師会、歯科医師会、看護協会、社会福祉協議会、薬剤師会の5団体が持ち回りで研究会を開催されてきました。今年度は、県薬剤師会

が担当し「在宅医療」をテーマに開催されました。

第1部は基調講演『在宅緩和ケアに必要なチームアプローチ』と題して医療法人パリアン川越厚先生のご講演でした。先生は1980年代から在宅ホスピスケアに取り組んでこられ、現在では年間150名前後のがん在宅死を実現しておられます。「チームとしてのサービス提供が充実しているという大前提があればホスピスケアの原点とゴールは在宅にある。」と説かれました。また介護保険の大半を占める「非がん患者」と在宅緩和ケアの対象である「末期がん患者」の違いについて、病院医療者に在宅医療を理解してもらう事が今後の大きな課題であると話されました。

第2部はシンポジウム、県薬剤師会から岸川が『薬剤師とケアマネジャーの立場から』と題して、ケアマネジャーとして在宅での看取りにおいて疼痛緩和に訪問薬剤師が役立った事例、「非がん患者」に対してチームで関わり薬の調整が症状の改善につながった事例を紹介しました。県歯科医師会からは上川克己氏が『訪問歯科診療と口腔ケア』について多数のスライドを紹介して在宅での入れ歯作り等の活動を紹介されました。県看護協会からは佐久間美保子氏が『在宅で生活する病児・重症児とその家族を支援するために』と題して小児訪問看護について大変意義深く献身的な活動をご紹介され「在宅医療＝高齢者」と考えていた私には目からうろこの発表でした。県社会福祉協議会からは河内広行氏が「～社会福祉協議会のすすめる地域包括ケア～権利擁護事業やお茶の間づくり事業について話されました。出席者113名のうち57%が薬剤師で、全体の66%の方が良かったと評価される研究会でした。懇親会では広島市で在宅医療に熱心に取り組まれているコールメディカルクリニック岡林清司先生や広島県介護支援専門員協会副理事長名越静香先生とお話しする機会を得て有意義な時間を過ごすことができました。

平成24年度 日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会



行政支部 水谷 誠

日 時：平成25年3月1日（金）13:30～16:50

場 所：大阪府薬剤師会館

- | | |
|--|--------------------------|
| 1 主 催 者 挨 拶 | 日本薬剤師会 副会長 生出 泉太郎 |
| 2 報 告「平成24年度行政薬剤師部会事業報告」 | 日本薬剤師会 副会長 生出 泉太郎 |
| 3 講 演 | |
| (1)「在宅医療の推進について」 厚生労働省医政局指導課在宅医療推進室 補佐 益山 光一 | |
| (2)「地域包括ケアシステム構築と薬局薬剤師の役割について」 | |
| | 日本薬剤師会 常務理事 木村 隆次 |
| 4 閉 会 挨 拶 | 日本薬剤師会行政薬剤師部会 副部会長 中田 裕紀 |

本講演会は、例年この時期に開催されています。当日はあいにくの雨模様の天気ではありませんでしたが、外の寒さとは対照的に会場は参加者の熱気で溢れていました。

講演会は、生出泉太郎日薬副会長の開会挨拶で始まりました。挨拶の中では、「第1類、第2類医薬品のネット販売訴訟」、「東日本大震災への復興支援」、「地域包括ケアの中での薬剤師、薬局の果たす役割について」などのお話がありました。

続いて、生出副会長より、平成24年度の行政薬剤師会で47都道府県薬務主管課を対象に実施したアンケート調査の暫定結果の報告がありました。調査内容は、「保健医療計画の見直し（改定）」及び「薬務行政における主要対策」に係る調査でした。アンケート調査結果から保健医療計画等について現状をしっかりと把握し、今後の参考として生かしていきたいと感じました。

次に、益山先生より、在宅医療の推進の背景、現状及び国の施策についての講演がありました。医療・介護の分野で、社会保障・税一体改革の目指す方向性として、機能強化・役割分担等により効率的にサービスを提供するシステムを構築する

必要があるとのことがありました。また、国の施策として、在宅医療推進のための診療報酬の改定や地域包括ケアシステム構築のため地域包括支援センターの基盤整備等についての説明がありました。

続いて、木村先生より、地域包括ケアシステム構築と薬局薬剤師の役割についての講演がありました。介護保険・医療保険の制度で求められている薬剤師としての役割が果たされているかということ年全国の薬剤師が真剣に考え、危機感を持って役割を果たしていく必要があるとのことでした。

最後に中田行薬副部会長より閉会挨拶があり講演会は閉会となりました。

高齢化が進む中、医師・薬剤師・看護師などの医療資源が不足しております。その中で薬剤師の役割は、これまで以上に幅広くなってきています。チーム医療の中で、他職種との連携をどう図るか、また、地域包括ケアの中で、薬剤師・薬局がどのような役割を果たすかなどについて今後更なる検討を要すると感じました。

広島県緩和ケア支援センター 平成24年度 第2回 緩和ケア人材育成検討会

常務理事 青野 拓郎

日 時：平成25年3月5日（火） 18:30 ～ 20:30

場 所：広島県緩和ケア支援センター

増田緩和ケア支援室主任専門員の挨拶で会議が始まり、名越委員長の司会のもと議事が進みました。

報告事項

①緩和ケア専門研修の実施状況

前回の会議以降に開催された看護師スキルアップ研修の実施状況及び評価について説明があった。

検討事項

①平成25年度緩和ケア専門研修（案）について

来年度の各専門研修について協議した。

看護師について初級、中級、スキルアップ研修と段階に応じた研修があり充実しているのが印象的であった。

薬剤師関係では、下記の二つの研修が開催されることとなった。

緩和ケア薬剤師研修

10月10日（木） コミュニケーションの技術（演習を含む）

在宅緩和ケアの実際～在宅薬剤師の立場から～

在宅緩和ケアの実際～在宅医の立場から～

在宅緩和ケアの実際～訪問看護師の立場から～

10月11日（金） 緩和ケアの動向／緩和ケアの概念

在宅緩和ケアの実際～病院薬剤師の立場から～

緩和ケアにおける症状マネジメントのメカニズムと実際

グループワーク

「在宅緩和ケアにおける自分の役割、これからの課題」

緩和ケア在宅ケアチーム研修

広島会場 11月17日（日） 福山会場 日程未定

病院から在宅への連携・支援

～効率よい退院時共同カンファレンス及び退院後（在宅）担当者会議の持ち方～

ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会



常務理事 松村 智子

日 時：平成25年3月6日（水）18:30～

場 所：本通ドムス

はじめに実行委員会組織メンバーの紹介があり、今年も引き続き活動を確認しました。次に2月15日に開催された広響定期演奏会におけるピンクリボン活動の報告がありました。静かに音楽を聴く環境なので、楽譜の裏にピンクリボンをつけてもらうことや、ロビーにて乳がんの情報誌など並べての活動という報告でした。今後はキャンペーンのしかたに工夫を要するとの意見もありました。

さて、今年のピンクリボン de カープ in 広島が5月18日（土）に開催されます。昨年のようにたくさんの方に来てもらえるようブースの説明がありました。マンモ検診車2台で100名の無料検

診をすることや触診模型で自己検診の説明、健康チェックコーナー、乳がんに関する情報提供コーナーなど企画しています。今、がん検診推進事業を推し進めている広島県薬剤師会としては、県推進機構や看護協会、乳がん患者の会などと共に活動したいと思います。

また、地域展開としてピンクリボン de カーブ in 呉が5月17日（金）に呉二河球場で開催されます。屋道でも打診しているという状況です。

多くの方が会場に来て下さること、そしてピンクリボン活動を知ってもらうことが大切です。皆様のご協力をお願いします。

[illegible][illegible]

第5回 広島国際大学薬学部卒後研修会



広島国際大学医薬品情報学講座 田山 剛崇

日 時：平成25年3月9日（土）14:00～17:00

場 所：広島国際大学呉キャンパス

第5回広島国際大学卒後教育研修会が約120人という多数の参加者を得て盛大に行われました。

本研修会では、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急薬学分野の名倉弘哲先生と本学部臨床薬学講座の塚本豊久先生の2講演がありました。

名倉先生は、学生教育に加え、岡山大学病院の救命救急センターの常駐薬剤師としても活躍されています。聴講者は、新しい分野で活躍する薬剤師の講演に、真剣に耳を傾けていました。



講演内容は、

1. 岡山大学の薬学部における臨床薬学教育
2. 救急チームにおける薬剤師の役割
3. 災害医療における薬剤師の役割
4. 救急薬学分野における研究内容

等でした。救急医療の薬剤師として、24時間体制で、処方提案、剤型変更、患者薬歴調査、副作用の早期発見、相互作用の確認などを行っていることを紹介されました。



塚本先生の講演は、

1. 米国と日本の医療システムの違い
2. CDTA (Collaborative drug therapy agreement) 実施による薬剤師の業務

等でした。薬剤師の重要性を、自身の薬剤師経験を交えながら、わかりやすくユーモラスに話されました。



両講演とも、今後の薬剤師業務を考えるうえで大変意義深く、卒後教育にふさわしい内容でした。本研修会は、本校の卒業生や在校生に限らず、多くの保険薬局の先生方の交流の場にしたいと考えております。是非、次回の広島国際大学卒後教育研修会に参加して頂ければと思います。

求人・求職システム事業等紹介のため大学訪問



常務理事 吉田 亜賀子

日 時：平成25年3月11日（月）・12日（火）・15日（金）

場 所：京都薬科大学、大阪薬科大学、摂南大学、神戸学院大学、兵庫医療大学、
神戸薬科大学、福山大学、広島国際大学、安田女子大学、広島大学

今までは、未就業薬剤師のために「無料職業相談所」で求人・求職を行っていましたが、この度薬剤師不足、求職届も少ないこともあり、このシステムを紹介し薬学生に広島県での就職探しのアイテムの一つに加えてもらえれば…また、採用担当者が不在の会員薬局へ広島県薬剤師会として何かできないかとの思いで、昨年ホームページ内の求人・求職の登録・閲覧を簡素化し、新たに「薬学生」を意識したものに更新しました。国家試験が終了し、自己採点で合否が幾分か予測できる時期を選び、広島県出身者が多い関西の6大学と広島県内4大学へ求人・求職システムの紹介を目的に広島県薬剤師会副会長野村先生と伺いました。

3月11日 京都薬科大学、大阪薬科大学
摂南大学
3月12日 神戸学院大学、兵庫医療大学
神戸薬科大学
3月15日 福山大学、広島国際大学
安田女子大学、広島大学

の10大学を訪問しました。

パソコンを持ち込み実際の画面より、学生の求人情報を閲覧していただきました。他県の求人・求職システムはパスワードが必要であり、少し不便さを感じておられるようでしたが、広島県の場合はその必要がなく、使い勝手は好評でした。学生向けのポスターのようなもので掲示していただけたとのことでした。大学の就職担当の方からは、「視覚に訴える効果が強く、文字数が少ないポスターが良い」とのアドバイスをいただきました。関西の大学では広島県出身者への情報が多くない

ため、このシステムの活用に期待したいと思います。また、県内の大学では新6年生、5年生を対象としたガイダンスで説明資料として使用、配布をしていただけたこととなりました。

各大学でお伺いした学生の就職選びのポイントとして、①勤務地、②福利・厚生、③研修を教えてくださいました。

この件に関しても、会で何かできることがないか等検討していきたいと思います。

最後に24年度卒業予定者は、ほぼ採用決定となっており、このシステムにてすぐに結果を出すことは難しくなりましたが、「継続は力なり」ですので引き続きこの事業を紹介し、認知度を高めたいと考えます。

求 人 情 報

広島県内で就職するなら!!

広島県薬剤師会 検索
http://www.hiroyaku.or.jp/

学生向けはココ!!

広島県薬剤師会・広島県病院薬剤師会

ポスター

日本薬剤師会

平成24年度 地域・在宅医療等担当者全国会議

常務理事 有村 健二

日 時：平成25年3月13日（水）13:30～16:30

場 所：東京・公益社団法人日本薬剤師会

日本薬剤師会児玉孝会長の挨拶で始まり、

- 「地域ケア会議」について

日薬理事 木村 隆二

- 在宅医療の近況について

日薬常務理事 阿部 好弘

- 地域・在宅医療委員会の活動について

地域・在宅医療委員会 各WG長

- 地域事例（都道府県・支部薬剤師会の取り組み）

北海道薬剤師会・長野県佐久薬剤師会

等の報告、事例発表があった。

前年度作成の「在宅療養推進アクションプラン」

に基づき進捗状況、実態調査結果、推進方策についてのものであった。

「地域ケア会議」は24年3月30日「地域包括支援センターの設置運営について」で明文化されており、23年度高齢者個別のニーズ及び地域の課題のマーケティングが終わり、25年度市町（責任者）が設置することになる。

地域ケア会議は主治医・ケアマネ・サービス事

業者等（薬剤師会も含む）で運営される。ケアマネがマネジメント困難な事例（介護サービスではカバーできないもの）などを検討する。

- 自立支援がより必要な事例

- 課題解決が困難な事例等

例：医療ニーズが高い・認知症の行動、心理症状が著しい・支援拒否、地域からの孤立・老老介護、介護者に課題・若年者、児童を含む多問題世帯・インフォーマルサービスが必要等のケース

各ケースの目的に応じ行政職員、センター職員、介護サービス事業者（薬局含む）、医療関係者（薬局含む）、民生委員等の中から出席者を調整するとある。市町（行政）の責任において設置されるので、各行政の介護保険課に各支部は参加の要請の必要がある。参加には薬剤師（会）として中立公正と共に、広範囲な視点と提言を行う必要がある。日薬では問題を想定し、対応策を考えた。とした。

第2回 広島県地域医療再生計画推進委員会



会長 前田 泰則

日 時：平成25年3月13日（水）18:30～

場 所：県庁・北館

1) ドクターヘリに関する質疑

広島県地域医療再生計画の推進について、平成24年度事業実施状況について報告を受け、平成25年度事業実施計画について議事次第にそって進行されました。特に18の医療機関の協力のもと、ドクターヘリの運用が検討されてきました。（予算：約3億4,800万円）

広島大学病院で医師、看護師の連携のもとに平成25年4月より試験飛行が実施される予定です。そのドクターヘリの運用時間、TPOの使い分けが大切ではないかという指摘があり、地域ごと、各圏域ごとにキーワード方式で実際の運用を説明

する事になります。（運航開始時期：平成25年5月）

2) 二葉の里の医療連携について

広島県医師会館、リニアックガンセンターの運営について説明がありました。

チーム医療及び在宅医療を推進するために、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療系組織の拠点化を進め、多職種協働連携体制を強化するとともに、研修・研究機能の強化による医療スタッフの専門性の向上を図る。

地域包括ケア、プライマリーケアを中心に中山間地域、日常生活圏域での介護予防、在宅対応での薬剤師の活躍が期待されます。

大日本住友製薬

新発売

長時間作用型ARB／持続性Ca拮抗薬配合剤——薬価基準収載

アイミクス® 配合錠LD

イルベサルタン／アムロジピンベシル酸塩配合錠 **AIMIX®**

劇薬・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

長時間作用型ARB——薬価基準収載

アバプロ® 錠 50mg 100mg

イルベサルタン錠 **AVAPRO®**

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

高血圧症・狭心症治療薬／持続性Ca拮抗薬——薬価基準収載

アムロジン® 錠/OD錠 2.5mg 5mg 10mg

日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩錠、アムロジピンベシル酸塩OD錠内崩壊錠 **Amlodin®**

劇薬・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

（製品に関するお問い合わせ先）

くすり情報センター

TEL 0120-034-389

受付時間／月～金 9:00～18:30（祝・祭日を除く）

【医療情報サイト】<https://ds-pharma.jp/>

2013.2作成

第8回 食育推進全国大会実行委員会（第3回）



常務理事 二川 勝

日 時：平成25年3月15日（金）18:00～19:30

場 所：県立広島大学広島キャンパス

県メイン会場プログラムができましたので、お知らせします。

6月22日（土）、23日（日）は、県医師会、県歯科医師会、県栄養士会と同じブースで「くすりと食べ物の飲み合わせ」を中心に、ポスター展示と相談会を実施します。ぜひ足を運んで下さい。

第8回食育推進全国大会 広島県プログラム

会場：県立広島大学広島キャンパス

1日目

6月22日（土）13:00～15:30

※午前中は、南区民文化センターにおいて開会式が行われる。

基調講演/特別講演（2143 大講義室）

健康な生活における食育の役割 ～実は知らない食のウソ・ホント

現代社会において、健康を増進して病気に罹らないようにするためには、各人の生活習慣を見直して生活習慣病のリスクを軽減、あるいは取り除くことであり、その柱となるのが食育である。

近年、食への関心は高まり、県民の健康栄養知識もかなり向上したが、一方で、ゲーム感覚での食の大切さが弄ばれているのも事実である。エビデンスに基づいた食に関する情報や食育の役割について講演する。

食育から歩む健康への道

タニタ食堂のレシピポイントは「食材を計って作ること」と「健康調理」である。そして、出来たてのヘルシー定食を20分以上よく噛んで食べれば、満腹感もアップする。社員の健康があってこそ健全な企業が実現する。

ミニシンポジウム（2313 中講義室）

おいしさの科学

料理として味のよいことは何においても必要な条件である。現代は、経験による腕にプラスして、科学的な視点から調理する必要がある。味をよくするために、科学的な知識が加わることによって、誰でも一流の料理人になれる。食育の基本である。「米の飯より思し召し」。

ワークショップ①（2321 中講義室、2336 小講義室）

実験で体験する食の科学 協力団体：ゆあーず「食」未来研究所

各世代を対象にした「食と健康」を実験で体験するコーナーである。「百聞は一見に如かず」と食材の不思議な力を利用して科学の目を養うことを目的にしている。

ワークショップ② (2317 中講義室, 2333 小講義室)**介護における食育の役割 協力団体：広島県看護協会**

施設、病院、在宅における要介護者の楽しみは、何よりも食事である。調理に少し工夫をすることで、安全でおいしい食事をつくることができる。「食べるために生きるのではなく、生きるために食べる」ことの大切さを様々な視点から解説し、実践方法を修得していただく。

ステージ (2161 大競技室)**県メイン会場オープニングイベント****2日目 (午前)****6月23日 (日) 10:00~12:00****シンポジウム (2143 大講義室)****家族の絆における食の大切さ**

規則正しい食生活によって、子ども達の「育みたい大切な心」がどのようにして形成されるかを考え、家族団らんの食事の重要性を見直す。
また、食育から基本的な生活習慣、正しい判断力、自主性、協力し、助け合う気持ちを育む。

ミニシンポジウム (2313 中講義室)**体内時計から食育を科学する**

からだは生きるために、生まれながらにして体内時計を持っている。体内時計は時々刻々と移り変わる生活環境の周期的な変化に適応するための自律的な予知機能を備えており、心身の健康に重要である。
食育の基本である「いつ何をどれくらい食べるか」から、時間栄養学の重要性を浮き彫りにする。健やかな睡眠リズムについて科学的に解説する。

ワークショップ① (2321 中講義室, 2336 小講義室)**食物アレルギーと食育 協力団体：広島県地域保健医療推進機構**

食生活が複雑になり、ますます食物アレルギーをもった子どもが増加している。これは個人の問題でなく、食材の安全性なども含んだ食育で考えるべき大きな課題である。食物アレルギーの解説と体験コーナーで実践し、子どもの不安を少なくする。

ワークショップ② (2317 中講義室, 2333 小講義室)**安心・安全な食育と衛生管理**

協力団体：広島県環境保健協会、広島県生活衛生同業組合連合会、
広島県食品衛生協会

安全でない食材が流通する社会は生活を危うくする。食品が人の口に入る経路・経緯が多様化しているので、食品の安全性を確保することが重要である。安心安全な衛生管理があってこそ食育の意義がある。

2日目(午後)

6月23日(日) 13:00~15:30

シンポジウム(2143大講義室)

世代別の食育・日本の食育を考えよう

妊娠・授乳期や乳幼児期、また学童期に健全な食生活を定着させるにはどうしたらよいかという観点から食育を考えるとともに、食育の歴史を紹介し、食事の必要性、心身の健康、食品を選ぶ力、食べる力などから各世代の食育を考える。

ミニシンポジウム(2313中講義室)

アスリートと食育

昔から、食事は身体活動の原動力であるにもかかわらず、トレーニングほどの即効性がないとの認識がある。最近では、アスリートも含めて競技者において、栄養・食事の果たす役割の大きさと重要性が認識されている。食べることが力の源となり、競技力の向上につながる。

ワークショップ①(2321中講義室, 2336小講義室)

子どもの食の安全 実施団体：広島県小児保健研究会

子どもの食べることと安全について、食べること飲み込むことの発達を知り、窒息や誤飲、誤食などの事故とその対処法を理解する。また、食物アレルギーをもつ子どもがアナフィラキシー症状を起こした際のエピペンを打つタイミングや打ち方について知識を深める。

ステージ(2161大競技室)

音楽から食育を深める(音楽&トークショー)

閉会式(2143大講義室)

16:00~ 閉会式

閉会式を実施し、第9回食育推進全国大会開催県へ引き継ぎ、閉会とする。

両日開催

6月22日(土), 23日(日)

ブース・活動紹介コーナー (2棟1階ホール, 食堂, 屋外)

健康から食育を科学する (ホール)

実施団体: 広島県医師会, 広島県歯科医師会, 広島県薬剤師会, 広島県栄養士会

「医食同源」, 「食べる力」, 「くずりと食べ物」の視点から食育を科学的に思考する。

農業・漁業・酪農業を知ろう (食堂)

実施団体: 広島県農業協同組合中央会, 広島県漁業協同組合連合会,
広島県酪農業協同組合

農業・漁業・酪農業について, 理解を深める体験型コーナーを展開する。

学校における食育 (食堂)

実施団体: 広島県教育委員会, 広島県学校栄養士協議会

栄養教諭・学校栄養職員が中心となり, 広島県の地場産物, 郷土食を活用した学校給食の展示や, 各教科等における食に関する指導の実践例を紹介する。

世代別の食育を考えよう (食堂)

実施団体: 広島県保育連盟連合会, 広島県私立幼稚園連盟

幼少期に身につけた生活習慣は, その後の生活の基礎となるものである。妊娠・授乳期や乳幼児期, また学童期に健全な食生活を定着させるにはどうしたらよいかという観点から食育を考える。

23市町の食育活動紹介 (2143大講義室壁面) 実施団体: 県内23市町

広島23市町の食育活動の取組などをパネル展示紹介する。

みんなで作って一緒に食べよう! (屋外)

実施団体: 広島県地域保健医療推進機構

子ども達と一緒に餅やパン, うどん作りなどを行い, 自分達で作る喜びや一緒に作ったものをみんなで食べる楽しさを感じてもらう。

ブース・活動紹介コーナー (2棟3階各講義室)

県内市町の食育活動紹介 (2346小講義室)

実施団体: 広島市, 呉市, 三原市, 福山市, 三次市, 熊野町, 坂町, 神石高原町

※三原市, 坂町は試食があるため1階食堂で実施。三次市のキッチンカーは屋外展示。

健康相談・健康チェック (2343小講義室)

実施団体: 全国健康保険協会広島支部, 広島県国民健康保険団体連合会

食の安全・安心の取組紹介 (2343小講義室)

実施団体: 広島県消費者団体連絡協議会

食育パネル展示 (2343小講義室)

実施団体: 鈴峯女子短期大学

会場：広島県健康福祉センター

2日目

6月23日(日)

料理教室(第1回) 9:30~12:00

生活習慣病予防の美味しい料理教室

協力団体：広島県栄養士会、全日本司厨士協会中国地方本部広島支部

減塩など生活習慣病を予防しながらも美味しい料理の作り方を教わる料理教室を開催する。
(定員制/36名)

料理教室(第2回) 13:00~15:30

生活習慣病予防の美味しい料理教室

協力団体：広島県栄養士会、全日本司厨士協会中国地方本部広島支部

減塩など生活習慣病を予防しながらも美味しい料理の作り方を教わる料理教室を開催する。
(定員制/36名)

第20回 核戦争防止国際医師会議 (IPPNW) 世界大会報告会

会長 前田 泰則

日時：平成25年3月16日(土) 18:00～

場所：リーガロイヤルホテル広島

2012年8月24日～26日広島国際会議場(日英同時通訳)にて第20回核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会が開催されました。「ヒロシマから未来の世代へ」をテーマに平和都市広島で開催される事の意義深さを感じます。

その時のレポート(報告書)が日英同時通訳付きで小冊子が完成しその報告書を参考にしての反省会が催されました。

第20回IPPNW世界大会会長平松恵一先生の挨拶から始まり、片岡勝子IPPNW日本支部事務総長、世界大会プログラム委員長からユニークな大会の思いでなどが語られました。大会報告を柳田

県医師会常務理事より、医学生のピースバイクツアー及び医学生会議について、世界大会開催について、世界大会報告書について、スライドを観ながら説明を受けました。

原爆の被災者の高齢化や次世代への影響等を考えた場合、東日本大震災における原発事故は、自然災害とは一線を画す人為的事故に繋がりがねない事象として捉える必要があります。IPPNW世界大会は、核戦争防止を医療人として世界に訴えるものですが、原発は平和利用の中での一つの脅威とならない運用を必須としなければなりません。

日本薬剤師会 平成24年度 全国災害対策担当者会議



副会長 野村 祐仁

日 時：平成25年3月18日（月）13:00～16:30

場 所：東京・公益社団法人日本薬剤師会

田尻泰典日薬担当理事の司会で、冒頭の児玉孝会長挨拶より会議が始まりました。

総論として「日本薬剤師会の災害時における活動、日薬版BCPについて」の説明が、永田泰造日薬担当常務理事よりありました。

まず、BCPとはBusiness Continuity Planの略称で元々、IT化における障害が発生し、システムダウンを防ぐ目的として、バックアップ体制等に配慮した体制を確保しておくための考え方を災害時に応用しているものです。BCPは、「事業継続計画」のことを言い、災害（事故・障害）発生時に短期間で重要な機能を再開し、事業を継続するために準備しておく対応方針のことです。例えば巨大な直下型やプレート型地震が起きた場合、平常時の人員と執行環境を前提とした業務を行うことはできないため、発災時に優先して遂行する業務を事前に決めておき、限られた人員、資機材などの資源を効率的に投入し、業務の継続と早期復旧を図ることが必要となります。

そうした考え方を踏まえ、日薬版のBCPを作成することとなりました。

BCP（事業継続計画）立案の趣旨説明があり、下記の立案のための基本方針項目と、抽出された問題点について説明がありました。

（基本方針項目）

- BCPの目標
- 基本方針の立案
- 非常時優先業務の選定
- 事業継続のための課題
- 事業継続のための対策

（問題点）

- 最低人員の確保

- 災害対策本部の設置場所
- 情報収集のための交通手段
- 地域薬剤師会への支援体制
- 資材の備蓄及び補充
- 交通手段の確保

次に日薬災害対策本部の設置と役割（案）についての説明がありました。

また、日本薬剤師会におけるBCP策定の基本方針（案）として、下記の5つの方針が示されました。

方針1：大規模災害時における医療救護活動並びに医薬品供給公社の観点から、非常時優先業務の抽出と目標復帰時間の設定を行う。

方針2：発災時の実効性を確保する観点から、非常時優先業務の課題と対策を検討する。

方針3：厚生労働省並びに都道府県災害対策本部との連携を重視し対策を検討する。

方針4：被災した支部組織、会員薬局や会員薬剤師を支援する対策を都道府県薬と共同で検討する。

方針5：派遣者の安全確保の観点から、支援のための課題と対策を検討する。

その後、各論として「県薬版BCPの体制作り、連絡手段の確保について」ということで、大澤泰輔日薬災害対策委員長より、東日本大震災時の兵庫県薬の対応についての話がありました。反省点として東京出張中の会長が災害時優先電話不携帯で、連絡が取れなかったこと、会長不在による初動の遅れ、災害対策基本法に基づく指定地方公共機関の指定を受けており、すぐに緊急通行車両確認証明書の発行が可能だったが、認識不足によるタイムロスがあったことなどが挙げられました。

次に丹野佳郎日薬災害対策副委員長より被災した場合の県薬版BCPについて実際の石巻薬剤師会を例に説明がありました。

次の各論として「災害時協定書の締結について（協定書の意義、具体的事例について）」の話があり、田尻泰典日薬担当理事より、災害時協定書の意義について、森田慶子日薬災害対策委員（東京）より、東京における災害時の救護活動に関する協定書についての説明、三浦正人日薬災害対策委員（静岡）より、災害時協定書の締結について静岡県薬の具体事例が示されました。

最後の各論として「高知県における災害薬事コーディネーターの活動について」、山崎隆久高知県健康政策部医事薬務課課長補佐より話がありました。

望ましい災害薬事コーディネーターとして、薬剤師活動と医薬品供給の両方をコーディネートできること、医療現場の状況に詳しいこと、臨機応変な対応ができ、薬剤師会や病院薬剤師会、災害

薬事コーディネーター、市町村……などと連携ができることが挙げられ、薬局薬剤師では県薬役員、支部長など、また病院薬剤師では拠点的な病院の薬剤部長などが適任であることが示されました。

高知県では現在、2日間の災害薬事コーディネーター研修を受け、薬局薬剤師25名、病院薬剤師12名の災害薬事コーディネーターが誕生したこと、今後は薬局・病院薬剤師共に倍の人数に増やし、新たに医薬品卸業者4名程度を委嘱する予定であることや、お薬手帳の普及啓発も、いざという時の備えであることが話されました。

最後に小田利郎日薬担当副会長の閉会挨拶があり終了しました。

昨年「薬剤師のための災害対策マニュアル」（薬事日報社）が、東日本大震災における活動報告を盛り込んで、日薬で編集されましたが、今後は日薬版BCP、県薬版BCPの作成が行われ、将来発生すると予測されている南海トラフ連動の大震災に備えることとなります。

疼痛ナビ TO-TSU-Navi

「患者様が本当に満足する疼痛管理」を
先生とともに考える
詳しくはウェブサイトへ

医療従事者向け会員サイト

<http://www.e-paincontrol.com/>

登録・
利用は
無料

《新規会員募集中!》

疼痛ナビ 検索

日本標準商品分類番号 871141

アセトアミノフェン製剤

カロナール®

解熱鎮痛剤

原末 / 細粒20%・50% / 錠200・300

日本薬局方 アセトアミノフェン 薬価基準収載

小児用解熱鎮痛剤

シロップ2% / 坐剤小児用50・坐剤100・200

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。

■ カロナール®の学術情報に関するお問い合わせ先: 0120-050-763 ■ その他に関するお問い合わせ先: 0120-369-873

〈受付時間〉月～金曜日 9:00～17:30 (祝祭日・当社休日を除く)

製造販売元 (資料請求先)

昭和薬品化工株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-11

<http://www.showayakuhinkako.co.jp>

2011年1月(AC)

広島県災害時公衆衛生チーム研修会

常務理事 中川 潤子

日 時：平成25年3月22日（金）13:00～16:30

場 所：県庁本館

湯崎英彦広島県知事の開会あいさつの後、佐々木昌弘広島県健康福祉局長の「広島県災害時公衆衛生チームの設置について」趣旨説明があり、研修会は始まりました。広島県災害時公衆衛生チームは東日本大震災における被災者支援活動を踏まえ設置したもので、県内外の地震等による災害発

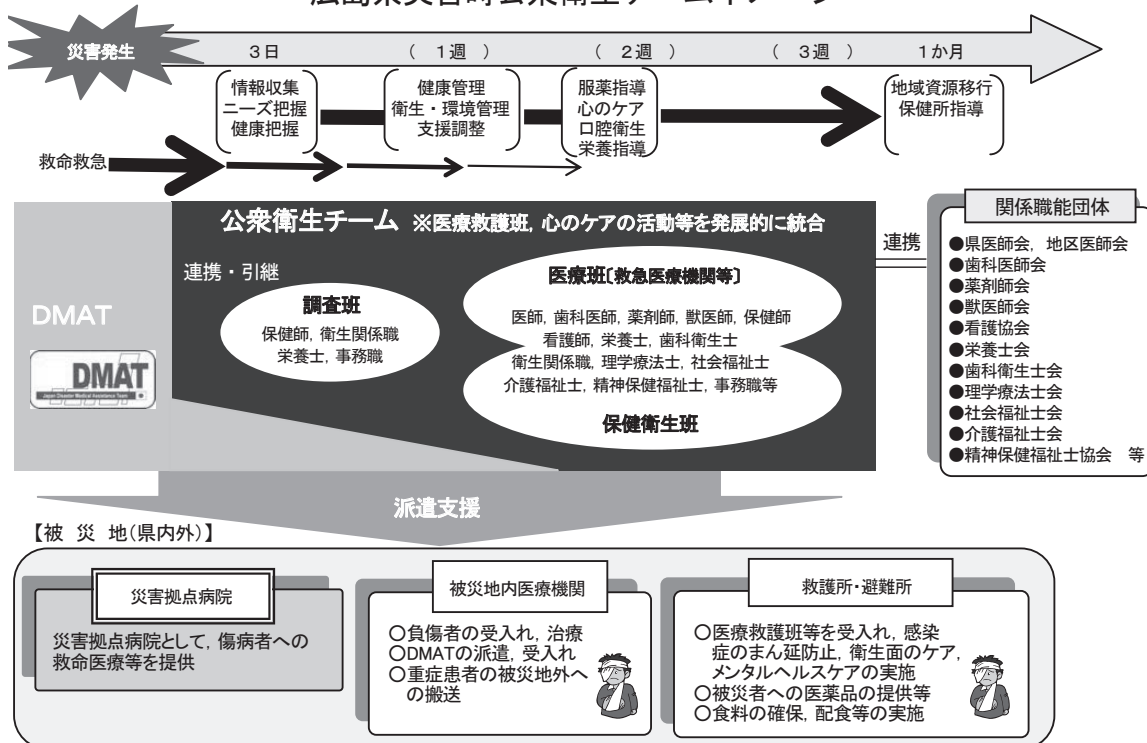
生時に迅速かつ適切な公衆衛生支援を行うため、医師や歯科医師、薬剤師など複数の職種で編成します。また、行政職員に加え、各種職能団体の協力を含めた組織的な災害支援チームの設置は全国初であり、今回約160名が参加しました。

【具体的な流れ】

調査班、医療班、保健衛生班の3班でチームを構成

1. 災害発生時、保健所職員で構成される「調査班」が現地ニーズ調査を実施
2. 調査結果に基づいて、ニーズに対応した医師等専門職で編成する「医療班」や「保健衛生班」を派遣

広島県災害時公衆衛生チームイメージ



調査班は、広島県内4か所の保健所ごとに編成することとしています。これにより、例えば1か所で壊滅的な被害を受けた場合でも他地域で補完をしながら対応できます。このような取組により、災害発生時の避難所や自宅にいる被災者に対する、多様で長期にわたる医療や健康ニーズに幅広く対応することが可能になります。

「H22. 7. 16庄原ゲリラ豪雨災害における公衆衛生活動を考える（報告）～北部保健所の保健活動記録から～」広島県北部厚生環境事務所・保健所清本久子保健課長から事例報告がありました。災害発生後の活動内容を時系列で示され、特にこころのケアチームについて詳しく話されました。これからの課題として、保健所の支援としては、緊急時支援体制の手続きの簡略化、災害が広範囲で他保健所応援を要する場合の体制、即活動できる「こころのケアチーム」体制など、体制整備の検討、また、被災者のこころのケアとしては、こころの健康調査、被災者への関わり、被災地全体への活動など、支援方法の検討を挙げられました。こころのケア活動を広域的・専門的支援するためには、早期に現場の支援要請に応じられる平常時からの体制整備が必要であり、その為には災害時の保健活動に関する研修会や管内市町とのコミュニケーションづくりが大切だそうです。

「大規模災害時の活動シミュレーション」県立広島病院救命救急センター山野上敬夫センター長（統括DMAT）による机上演習が行われました。参加者が7～8人のグループに分かれて、大規模災害を想定し、調査班、医療班、保健衛生班がどのような活動ができるかをワークショップ形式で話し合い、発表がありました。

- 1 初動体制の確立と緊急対策（フェーズ0～1）
＜出動準備＞＜調査班の活動＞＜医療班、保健衛生班の準備＞
- 2 避難所を中心とした応急対策（フェーズ2～3）
＜避難所での活動＞＜地区での活動＞＜医療救護班等との連携＞

- 3 仮設住宅移行に向けた復旧・復興対策（フェーズ4）
＜避難所での活動＞＜地区での活動＞＜仮設住宅へ移動後の支援＞



「広島県感染症・疾病管理センターの設立について」県立広島病院桑原正雄院長がご講演されました。地域医療では、感染症対策は重要な課題であり、感染症の早期発見、早期治療が求められます。新型インフルエンザのパンデミックの経験や、近年の感染症発生状況（多剤耐性菌の院内感染、感染性胃腸炎の蔓延、亜熱帯性感染症の北上など）から見えてきた課題に対応するため、「判断機能」「検査機能」「調査機能」を統合した感染症の司令塔機能を果たす「広島県感染症・疾病管理センター（広島版CDC）」が整備され、平成25年4月1日から移動開始されます。

東日本大震災において薬剤師の活動やお薬手帳の有用性が認められたことから、今回の研修会にも参加することが出来ましたが、あらためて責任の重さを感じました。今後、県の内外における災害に迅速に対応できるチームの一員になるためには、このような研修や訓練などを積み重ねることが必要だと思いました。



日本薬剤師会 平成24年度 社会保険指導者研修会



副会長 村上 信行

日 時：平成25年3月22日（金）12:30～16:00

場 所：東京・アルカディア市ヶ谷（私学会館）

標記研修会が下記次第にて開催されました。

東京では、例年よりやや早めの「桜満開宣言」がなされ、本研修会会場は外堀近くにあり、その土手に有る桜も、咲き誇っていましたので、すこし浮かれ気分で入場し、他県出席者と旧交を温め、の着席でしたが、研修内容は非常に厳しいもの

でした。年度末の保険薬局関連の日薬レベル研修会は、本会と「医薬分業指導者協議会」があり、本会で、「調剤報酬」「保険行政」「指導監査」に関して、厚生労働省保険局からの講師が講演されました。

次 第

1. 開会挨拶

日本薬剤師会 会長 児玉 孝

2. 議 事

（1）最近の保険行政の動向について

～平成24年度診療報酬改定等の概要と今後の展望～

厚生労働省保険局 医療課薬剤管理官 近澤 和彦

（2）最近の指導監査の状況について

～保険薬局、保険医療機関（薬剤部関係）の主な指摘事項～

厚生労働省保険局 医療課医療指導監査室 医療指導監査官 秋元 朝行

（3）調剤報酬に係る諸課題について

日本薬剤師会 副 会 長 三浦 洋嗣

日本薬剤師会 常務理事 森 昌平

『座長』日本薬剤師会医療保険委員会 委 員 長 有澤 賢二

副委員長 萩野 構一

3. 閉会挨拶

日本薬剤師会 副 会 長 三浦 洋嗣

まず、近澤薬剤管理官から講演冒頭に「調剤報酬バッシング」に触れられ、中医協委員内においても、起きつつある風潮を厳しく語られました。

演題目次としましては、

1. 平成24年度診療報酬改定の概要

①病棟薬剤業務

②調剤報酬改定の概要

- ・在宅薬剤管理指導業務の一層の推進
- ・薬局における薬学的管理及び指導の充実
- ・調剤報酬における適正化・合理化

③後発医薬品の使用促進

2. 平成24年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成24年度速報）

であり、近年の病院勤務薬剤師の日薬加入増を意識してか、①病棟薬剤業務にも時間を割かれてお話されました。24年度改訂で新設された「病棟薬剤業務実施加算」は既に評価されている「薬剤管理指導料」「医薬品安全性情報等管理体制加算」に加え、従来評価されていなかった（入院時の持参薬の確認及び服薬計画）（2種以上の注射薬及び内服薬を1種以上含む薬剤の同時投与する場合の相互作用確認）（ハイリスク薬等に係る詳細な説明）（投与量の計算等の必要な薬剤投与の計算実施）の4業務が加味されたものとされているが、そもそもは「勤務医への負担軽減」施策の一旦としての意味合いが強く、「薬物療法における医師と薬剤師の協働」を推進している。「平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」によれば、負担軽減策として（薬剤師の病棟配置）（医師業務の薬剤師との分担）が60%以上の医師で軽減効果があったと評価されていた。それを受けての新加算ではあるが、一方では（具体的な分担方法が分からない）とか（薬剤師の業務量が多く分担できない）等の意見もあり後者については新たな医薬分業の推進と薬剤師員数増も対策として上げられていた。先の22年度特別調査時点において

も（薬物関連情報への貢献）とともに（薬剤関連インシデントの減少）（患者に応じた薬物療法が可能となり、QOL向上への貢献があった）との評価を得ていた。24年度改定に伴う特別調査は25年度実施予定となっているので結果を期待されている。②調剤報酬改定の概要では目次の3点についてお話されました。「在宅薬剤管理業務の一層の推進」では（在宅業務に対する新規評価）として在宅患者調剤加算（15点）の新設、（サポート薬局対応）（無菌調剤に関する施設基準の見直し）（在宅訪問可能な距離の目安を設定）の4項目について話され、最後の距離制限については、在宅医療に対する相談・依頼を引き受けなかった理由に人員と距離が大きな要因となっていたことにも関連していたようです。さて、近澤薬剤管理官の語調が厳しくなったのは「薬局における薬学的管理及び指導の充実」に関してからでした。なかでも「お薬手帳の形骸化」「シールの誤用」において厚労省職員関係だけでなく中医協委員の中からも「帰って見たら薬袋にシールが入っていた」とか「残薬なんて聞かれなかった」とか、お薬手帳を提示し、他科での処方変更が有ったことが記載されていたのに「変わったことはありませんか？」と聞いてくる事実を指摘されているようですし、事実、管理官のお子様の調剤にして同様な事象があったとのこと。中医協総会議事録にも「医薬分業のデメリット」「国民医療費の約6分の1が営利企業の多い【保険薬局】で使われている」「【保険薬局】の数はコンビニよりも1万軒も多い」「【保険薬局】1軒の収入の方が診療所の平均より多い」などの現状を踏まえた議論の必要性を説く委員もでています。平成22年において処方箋枚数7億6千万枚、で調剤医療費（薬剤料以外）1兆6千億円、調剤医療費（薬剤料）4兆5千億円の計6兆1千億円は国民医療費の37兆4千億円の6分の1となり、看過出来ない数値となっている状況を示唆されています。最後に③後発医薬品の使用促進に関しても非常に厳しく指摘されまし

た。薬剤服用歴管理指導料の算定要件として文書によつての（ジェネリックの有無）（価格差等）の記載、説明が求められているのに実施されていないか、説明がなされてないので患者に理解されていない。調剤報酬加算を新設、改変した時のみ、その割合は向上するが、その後には横ばい傾向となり「薬局、薬剤師は報酬がなければ何もしない！」評価になってきている、との辛口も出ました。薬（後発品）がない、説明がないなどの批判がある中、後発医薬品に変更した最大のきっかけで「71%」が薬剤師からの説明です。社会保障制度、国民皆保険、の維持のためには新たな財源を望むだけでなく、薬剤管理官の説くところは、いま自らが出来る努力をしていかなければ、既にスタートしている「平成26年度調剤報酬改定」においてのプラス評価は望むべくもない状況です。

いま、レセプトのオンライン化により調剤報酬の動向をあらゆる角度から検証できます。通称「調剤メディアス（MDIAS：Medical Information Analysis System）」と言われ、後発医薬品関連でも使用割合においての都道府県間の「ばらつき」「分業率と比較」「調剤医療費の規模」等の動向をより早く、より正確に、把握できます。「調剤医療費（薬剤料）規模」などは上位の都道府県に対しての使用促進施策が全体への影響を大きく出来、広島県は全国11位の薬剤料規模ですが、後発医薬品使用割合は全国平均28.7%より2ポイントほど低く、重点施策対象となるでしょう。近澤薬剤管理官が最後に「調剤報酬の方向性」について「表、裏」で語られました。「表：かかりつけ薬局としての機能 裏：門前薬局によるイチゲンさんの調剤がなくなるよう、本質的機能に応じた報酬の導入」「表：報酬にみあった情報提供、指導、残薬確認 裏：患者に理解を得られない薬歴料の見直し」「表：医薬品のスペシャリストとしての後発医薬品使用促進への貢献 裏：新なる使用促進を評価する報酬の導入」具体には、薬局としての「調剤基本料」、薬剤師としての「薬剤服用歴

管理指導料」が国民、患者から問われることになるという示唆でした。続いて、秋元医療指導監査官から「指導監査の状況」についてのお話があり、ここでも「病院勤務薬剤師」の加入増を意識されてか珍しく、診療報酬における「薬剤部（科）」に係る事例も話されました。薬局に関わる事例は「用法の未記入」「承認外用法」「承認外用量」「過量、重複、相互作用」「投与期間」などの調剤全般に関わるものについて調剤技術料、薬学管理料に係る事項が挙げられました。なかでも留意すべきは「基準調剤加算：インターネットを通じて常に最新の情報収集を行っていない」「一包化加算：飲み忘れ、飲み誤りの防止や被包からの取り出し困難などの患者特性に配慮したものでない一包化とその認識」「自家製剤加算：調剤録への製造工程記載がない」「薬歴：算定要件の記録に不備や、記録の一部が別管理となっている」「乳幼児服薬指導加算：体重の記録がない」などと感じました。秋元氏は最後にやや強めの口調で「（健康保険法などの規定を）知りませんでした！、勉強不足でした！は通用しません」とくくられました。日本薬剤師会のプログラムでは、三浦副会長からの中医協での苦境が語られ、近澤管理官からの厳しい指摘に追従されました。25年度は24年度の調剤報酬改定の結果検証と並行して26年度報酬改定が進められます。困窮する医療費の中で、薬剤師による「コストパフォーマンス」が強く求められている感じがいたしました。

平成24年度 第4回広島県医療審議会

常務理事 吉田 亜賀子

日 時：平成25年3月22日（金）19:00～

場 所：県庁・北館

「広島県医療審議委員の任期2年に伴う委員変更と5年毎の保健医療計画が重なる。10年に1度の会議となります。」との佐々木昌弘広島県健康福祉局長の挨拶より会議が開始されました。委員変更に伴い会長不在の状況のため、佐々木昌弘広島県健康福祉局長を会長代理とし下記の議案についての審議が行われました。

議案 第1号 広島県医療審議会会長の選出

平松恵一広島県医師会会長の推薦のもと碓井亜広島大学名誉教授が満場一致にて会長と決定いたしました。

碓井亜会長進行のもと下記の議案についての審議・報告が行われました。

議案 第2号 広島県医療審議会運営規程の一部改正

保健医療計画部会の委員数の変更

（理由）従来の4疾病・5事業に精神疾患及び在宅医療を追加した5疾病・5事業及び在宅医療に係る医療体制の構築に向けて取り組むため委員に精神疾患の専門家を追加

議案 第3号 広島県医療審議会医療法人部会及び保健医療計画部会委員の指名（会長一任）

議案 第4号 広島県地域再生計画の変更

医療審議会を中断後に保健医療計画部会が開催されました。前回までの部会にて検討されていた

「基準病床数に係る検討の経緯」等の報告、計画案の調整が行われました。精神疾患に関する計画は新しい領域でもあるため「経過見直しを行う」を追加し調整を終了しました。

議案 第5号 広島県保健医療計画（第6次）（案）について審議

報告 第1号 広島県がん対策推進計画（第2次）（案）の報告

報告 第2号 平成25年度健康福祉局執行体制の報告

新たに委員となられた石井知行広島県精神科病院協会会長より「高齢化に伴い、精神疾患がありながら身体の慢性的な合併症をもつ患者が増加すると推測されます。身体合併症に対応できる医療機関の機能情報の集約を行う必要がある。」とのコメントで終了となりました。

第6次広島県保健医療計画が案より実行される25年度、薬剤師会も昨年より引き続き「がん検診サポート薬剤師」の育成を行い、さらに計画の中で県民の一人ひとりの健康を支え、提供される医療の一員として担うべきものを考えそして行動できる薬剤師であろうと考えさせられた会議となりました。

21世紀、県民の健康とくらしを考える会



常務理事 渡邊 英晶
(現副会長)

日 時：平成25年3月27日（水）13:00～
場 所：広島医師会館

広島県社会福祉協議会山下三郎会長の挨拶にはじまり、広島県医師会平松恵一会長をはじめ21人の出席者の紹介の後、協議に移りました。



協議事項

(1) 県民フォーラム開催にむけてのスケジュールと今後のあり方について

平成13年より概ね毎年、年末に開催されている県民フォーラムについて一昨年度より開催されていませんでしたが、今年度は開催する方向で決定されました。

因みに前回の県民フォーラムは平成23年1月22日、広島県民フォーラム「安心してくらすために」—ご存知ですか「命の宝箱」—「講演者加藤茶氏」アステールプラザ、参加者1,200人でした。今後講演者の選定などを行う予定です。

(2) 医療・福祉・介護政策に関する決議文（案）について

医師会による決議文の案が示され、協議されました。この案に対して前文については、概ね了解されましたが、TPP及び消費税の文言に対して各団体にはそれぞれの意見があり、21世紀、県民の健康とくらしをかんがえる会として決議するには違和感があるとの意見も出され、文章を訂正する事を含めあらためて協議する事で決定しました。

決議（案）原文

国民の原点は健康にある。

国民皆保険制度は、日本が世界に誇る制度である。これにより国民は、安心安全な医療を平等に受けてきた。国民皆保険制度の堅持は国民すべての願いである。

また、われわれはTPP参加により医療の営利産業化や医療への市場原理主義に繋がる政策に断固反対する。

政府は消費税についてこれまで医療・福祉・介護関係機関等に不合理かつ不透明な負担を強いてきた。消費税の導入が決定された現在、われわれは医療・福祉・介護における消費税問題の解決を強く要望する。

以上、決議する。

平成25年3月27日

21世紀、県民の健康とくらしを考える会

(3) その他

21世紀、県民の健康とくらしを考える会の予算について、医師会の比重が大変多いということで、ある程度各団体も負担をする方向で進むことが決定しました。

日本薬剤師会

平成24年度 医薬分業指導者協議会

常務理事 青野 拓郎

日 時：平成25年3月28日（木）13:00～17:00

場 所：中央合同庁舎5号館（厚生労働省）

標記の会議が下記の次第に沿って開催されました。在宅医療含め様々な話がありましたが、永田日薬常務理事の「医薬分業に関して一定の評価があるが、一方で医薬分業（薬剤師）に対する批判

もある。薬剤師が高い評価を受けるために薬局が持つべき機能を確認し、地域貢献の為に薬剤師を養成し、そして経営基盤を強化して医薬分業の原点へ復帰しましょう」と言う話が印象的でした。

次 第

1. 開会のあいさつ 厚生労働省大臣官房審議官（医薬担当） 平山 佳伸

2. 日本薬剤師会の活動について

日本薬剤師会の活動と今後の展望—日本薬剤師会を巡る課題—

公益社団法人日本薬剤師会専務理事 寺山 善彦

3. 最近の薬事行政について

（1）最近の薬事行政の話題

厚生労働省医薬食品局総務課 江田美沙子

（2）在宅医療推進の背景と施策について

厚生労働省医政局指導課課長補佐 益山 光一

4. 地域医療における薬剤師の取り組みについて

（1）地域医療における薬剤師会の取り組み

《日本薬剤師会の取り組み》

公益社団法人日本薬剤師会常務理事 永田 泰造

（2）サポート薬局制度を活用した小規模薬局の在宅医療への参加

～地区薬剤師会を中心としたネットワーク作り～

一般社団法人北部地区薬剤師会会長 大橋 得二

（3）地域医療連携についての取り組み状況について

～基幹病院との薬業連携を中心に～

不二薬局 一瀬 信介

（4）退院後のアフターケアを見据えた取り組み

社団法人八幡薬剤師会理事 成重 賢司

（5）全体質問

5. 閉会のあいさつ

公益社団法人日本薬剤師会会長 児玉 孝

中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関 評議員会および運営委員会合同会議



副会長 木平 健治

日 時：平成25年3月30日（土）14:00～

場 所：岡山県総合福祉会館

前田評議員会会長の挨拶の後、報告事項、協議事項について協議された。

平成24年度の事業報告として、平成24年度の中国・四国地区での薬局実務実習の受け入れ依頼状況について、認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催について、各県薬剤師会の6年制への対応について報告された。薬学部のある県については、実習がⅠ・Ⅱ期と、市内中心部に学生が集中してしまうので、調整が難しいこと、受入の意思表示をしてWSにも参加をしても、受け入れ直前になって辞退する薬局があるので、対処に困ってしまうケースがあること、などが報告された。

協議事項では、平成25年度事業計画（案）および予算（案）、各県の負担額について協議され、原案通り承認された。出石WS委員長会委員長より開催計画と、県別参加者数案の説明があり、会場の都合上、福山大学での開催分の増員は不可能だが、安田・就実開催分に関しては、可能であるとの説明があり、実施計画について承認された。また、他地区（特に山口県）からの参加について協議され、参加枠・参加費等に関してはWS委員会で検討してもらうこととなった。

その他として、手嶋病院・薬局実務実習中国四国地区調整機構委員長の代理として木平より、中央調整機構会議からの情報提供として、認定指導薬剤師の更新、近畿地区の年間4期の実習、一部大学で地元の薬剤師を特任教員としていること、などについて協議されていること、また、26年度の実習日程がⅠ期5/13～7/28・Ⅱ期9/2～11/17・Ⅲ期1/6～3/23となることなどを報告した。

次に、各大学運営委員より、平成25年度の薬局実務実習の依頼について、ふるさと実習の状況等についての報告があった。また、今年の入学者数が非常に多く、国際大:158名、安田大:100名以上、福山大:172名、松山大:120名、文理大:定員の8割程度となっており、4年後の実習配属について、今後検討する必要があることが報告された。

最後に、今年度の国家試験合格率が低かったこと、原因は試験問題の傾向が変わったため、などが話された。

「がん検診サポート薬剤師」養成研修会



大竹支部 竹下 武伸

日 時：平成25年3月31日（日）10:00～12:00

場 所：広島県薬剤師会館

3月31日（日）24年度の最終日そして、桜の一番きれいな日の10時から行われました。当日は、桜の誘惑に負けない薬剤師がたくさん参加されていました。

野村副会長のあいさつの後、広島県がん対策課課長武田直也先生が、広島県のがん対策の現状についてと題して、広島県薬剤師会と広島県が事業の推進に関する協定を結んだことから始まり、がんによる死亡、診療についての話そして、検診がいかに大切であるかを説明されました。

2 題目は、健康づくり推進部健康企画課課長藤井紀子先生のがん検診受診率向上に向けての講演がありました。がん検診によって、早期発見、早期治療することで助かる命があること、がんは怖い、私は大丈夫などの理由で検診を受けない人を一掃するためにも私たち薬剤師に協力してもらいたいとのことでした。

3 題目に、広島市からの情報提供がありました。

4 題目は、肝炎ウイルス検査受検勧奨について肝がんになる前に早期発見、早期治療につなげることが重要で、肝疾患、診療ネットワーク、肝疾

患相談室、肝炎ウイルス検査事業実施医療機関など説明がありました。

最後に、広島大学がん認定薬剤師佐伯康之先生のがん検診・治療に関わる上で知っておきたい知識と題して、男性は肺がんが1位、女性は大腸がんが1位の説明から始まり、がん検診ついて詳しく説明がありました。推奨されている検診、感度と特異度、バイアスについて、メリット、デメリット、各種の腫瘍マーカーについて、支持療法、副作用の悪心・嘔吐、血液毒性、そして分子標的治療薬についても説明があり、知らないことばかりで大変勉強になりました。

現在では、がん検診が最も推奨されており、死亡率を下げるための目的とされています。

前は、平日の19時からでしたので出席できませんでした。大竹市からも協力の要請がありましたが、出席していない自分が恥ずかしく今回出席しました。

私たち薬剤師の存在感を表す一つとして力を入れていきたいと思います。



日本薬剤師会

第1回都道府県会長協議会(会長会)

会長 前田 泰則

日 時：平成25年4月10日（水）13:00～16:45

場 所：東京・公益社団法人日本薬剤師会

新会長紹介：石野千葉県薬剤師会会長

児玉会長挨拶

座長：藤野福岡県薬会長

議題：会務報告、日薬を巡る最近の動きについて

中央社会保険医療協議会において後発品置き換え率の推計によると、薬価基準収載品目の分類別の数量シェアは、平成23年9月現在39.9%（欧米との比較の観点からも、後発品置き換え可能な市場における後発品の割合をもとに後発医薬品への置き換え状況を評価する方が合理的）従って、此のたびの数量シェアは置き換え不能な部分を外しています。

新指標は $\{ 34.3\% \times 100 / (22.8\% + 34.3\%) = 60.1\% \}$

平成25年度より実施（予定）として、後発医薬品の使用を原則とすることの考え方について意見が噴出しました。

○医師が後発医薬品の使用が可能であると判断した（一般処方名を含む）場合は、後発医薬品を原則として使用する。その場合、薬局は、原則として後発医薬品を調剤する。

その際、先発医薬品の使用を希望する受給者に対しては、

- ・薬局は、先発医薬品を希望する理由を確認したうえで、先発医薬品を一旦調剤する。

その理由が「先発医薬品の方が高額だから」「理由を言わない」等の場合については、必要に応じて福祉事務所の健康管理指導の対象とする。

即ち、先発医薬品を希望する人は、理由を確認の上その情報を福祉事務所へ伝達する。

後発医薬品を優先的に調剤するためのワンストップとして取り入れ、その後に「医療機関が、受給者に対して後発医薬品の使用を促すことについて法制化を検討中」

法制化される前から半強制的に後発医薬品の使用促進施策に薬局が否応なく協力しなさいと言っているようなもので薬局薬剤師（会員）に密告させるような事を強要できないという発言がありました。

即ち、後発医薬品の使用促進は、医療費の削減のための施策としては良く理解していますがその対応としての福祉事務所への伝達を会員にさせるという事は如何なものかという質問が出ました。協議は、

- ①平成25年度重要課題に関する件
- ②一般用医薬品販売制度関連事項に関する件
- ③日薬学術大会開催地に関する件
- ④その他

日本赤十字社 中四国ブロック血液センター見学



常務理事 井上 映子

日 時：平成25年4月11日（木）14:00～15:30

場 所：日本赤十字社中四国ブロック血液センター

平成24年6月に、日本赤十字社中四国ブロック血液センター・広島県赤十字血液センター 合同社屋が竣工し、中四国9県の統括センターとして同年10月より稼働しています。広島県薬剤師会広報委員として、常務理事の谷川、中川両先生と見学に行ってきました。



まず、6階会議室にて品質部長中橋祥隆様より施設概要、献血の基礎知識の講義を受けました。セキュリティの関係で、部外者はエレベーターにも乗れないので、総務部主事村彩香様にご案内いただきました。

献血の製剤として、輸血用血液製剤と血漿分画製剤（血小板、アルブミンなど）があります。医薬品である血液製剤の原料は献血で賄われ、現在は95%が400mL献血となっているそうです。私は今年、20年ぶりに献血し、始めて400mLにチャレンジ！病気が流行る冬季、花粉症時期には血液が不足し、さらに小児高齢化の影響で10代、20代

の献血者が不足しており、今後ますます在庫が減少することが懸念されます。そこで、1階赤十字プラザで

は、献血バスの中の様子や3D映像で血液の働きを見るコーナーが設けられ、献血ができない子供達にも献血の必要性を感じてもらえるようになっています。ゆるキャラの献血ちゃんやお友達もサポートしています。

次に、見学コースに沿って輸血製剤の製造過程と検査センターを見させていただきました。



3階 製剤部門

中国5県から1日630本の血液が集まります。まず、白血球除去フィルターを通し、遠心分離機で血漿と赤血球に分けます。残った白血球は放射線照射で除去します。白血球を輸血すると、GVHDを起こし、多臓器不全、汎血球減少により3週間以内に死亡することが判明したのは、1990年代のことだそうです。

保存期間は、全血製剤21日、赤血球製剤21日、血小板製剤4日、血漿製剤1年で、輸血後感染症を予防するため、感染血液の追跡ができるよう、全献血者の血液を11年間冷凍保存しています。ウイルス量が少なく検査感度が悪くなるため、血漿製剤はウインドウ・ピリオド（検査で感染を判別できない期間）があるため、6ヶ月間保存され、当該献血者が感染症患者であると判明した場合は、追跡されその製剤を使用されることは免れます。

検査部門では、血液は血液型・感染症・NAT（核酸増幅検査）、保管用に分けられます。感染症の



1階

確認は、血液から感染するHBV、HCV、HIV、梅毒、ヒトパルボウイルスB19（りんご病）が検査されます。

当施設の薬剤師は20名だそうで、施設の管理薬剤師、MR、製造責任者などの立場で勤務されています。製造には他の理系職員もおられるのです

が、医薬品を扱うために専門職である薬剤師が職務について欲しいとのことでした。

お忙しい中、1時間半講習、見学のご案内いただきました担当者、各部署責任者の先生方にお礼申し上げます。



献血ちゃんQ&A

Q. A、B、O、ABの血液型で、日本人が一番多い血液型は？

A. A型です。A：O：B：AB＝約4：3：2：1の割合です。

Q. 献血の血液を検査するって聞いたけどHIV感染は結果を教えてくれるの？

A. No！検査目的で献血され、ウイルス量が少なく検出できなかった場合、その血液を使った人に感染してしまうリスクが増えます。検査目的で来てはいけません。検査結果はお知らせしません。

Q. 薬を服用していると献血できないの？

A. 病気の種類や薬の種類によって献血をできないことがあります。ビタミン剤や胃腸薬などは内服していても特に支障のない薬です。

採血基準（抜粋）

400mL 献血	年齢	男性 17～69 歳 女性 18～69 歳	65 歳以上の方の場合、献血していただく方の健康を考え、60～64 歳の間に献血経験がある方に限ります。
	体重	50kg 以上	
血小板 成分献血	年齢	男性 18～69 歳 女性 18～54 歳	65 歳以上の方の場合、献血していただく方の健康を考え、60～64 歳の間に献血経験がある方に限ります。
	体重	広島県では、男女とも 47kg 以上の方をお願いしています。	
血しょう 成分献血	年齢	18～69 歳	65 歳以上の方の場合、献血していただく方の健康を考え、60～64 歳の間に献血経験がある方に限ります。
	体重	広島県では、男女とも 45kg 以上の方をお願いしています。	

医・薬学部現役合格を目指して



本校卒業生



平成26年度入試 生徒募集 中学校160名・高校40名(新規)

本校は創立以来、毎年輝かしい進学実績をあげています。
特に医学部・歯学部・薬学部への合格率は、全国でトップクラスです。またそのほとんどは現役合格で、予備校にも通わず、学校の授業と補習のみで合格しているのが特徴です。

創立以来の輝かしい合格実績

医学部				薬学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	山梨大学	7	慶應義塾大学	3	京都大学	1
北海道大学	2	富山大学	6	自治医科大学	2	富山大学	3
東北大学	5	金沢大学	1	産業医科大学	2	名古屋市立大学	2
名古屋大学	2	岐阜大学	1	日本医科大学	34	静岡県立大学	1
大阪大学	1	浜松医科大学	3	東京慈恵会医科大学	19	慶應義塾大学	3
九州大学	1	滋賀医科大学	1	順天堂大学	48	東京理科大学	7
東京医科歯科大学	1	鳥根大学	5	昭和大学	56	東邦大学	8
千葉大学	6	徳島大学	1	日本大学	68	北里大学	6
旭川医科大学	4	高知大学	2	東京医科大学	50	昭和大学	13
弘前大学	7	長崎大学	1	東邦大学	76	昭和薬科大学	12
秋田大学	5	大分大学	1	東京女子医科大学	10	東京薬科大学	13
山形大学	7	琉球大学	7	北里大学	70	星薬科大学	3
筑波大学	1	福島県立医科大学	1	杏林大学	71	明治薬科大学	20
群馬大学	4	奈良県立医科大学	2	大阪医科大学	4	京都薬科大学	1
新潟大学	6	防衛医科大学校	8	関西医科大学	6	大阪薬科大学	1
上記以外、私立14大学712名				上記以外、私立30大学315名			

※数字は1982年～2012年度の延べ人数 ※順不同

学校・寮の見学は随時受付します。 入試室までお問合せください。

学校法人 秀明学園

全寮制

英国留学

全人英才教育

秀明中学・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp>

秀明学園

検索

◎広島県薬剤師会会員証(会員カード)◎

新規受付は平成21年8月末をもって
終了しました。

会員カードでWポイントがつかます。

Wポイントカードに (株)和多利広島本社 Wポイントカード事務局
関するお問い合わせは ☎082-830-0230 平日10:00~18:00 ホームページ <http://www.watari.biz/>Wポイント会員サイト OPEN! ケータイも パソコンも <http://www.wpoint.co.jp/>

Wポイントカードシステムでは、2,000ポイント貯まると翌月2,000円分のWポイント金券がお手元に届きます。



広島県Wポイントカード加盟店

平成25年5月1日現在

店舗名の後ろの数字は100円に対するポイント数です。(一部異なる場合があります。) 例)②...100円につき2ポイント加算されます。

店舗名②	TEL.	店舗名②	TEL.	店舗名②	TEL.
広島市安芸区		広島市中区		広島市西区	
Edabiek①	082-822-6667	住吉屋 楽々園店①	082-943-4960	広島風お好み焼き・鉄板居食家 徳兵衛	
ちから 船越店②	082-824-0301	ちから 五日市店②	082-922-8661	紙屋町店②	082-247-2260
ちから 矢野店②	082-888-5246	徳川 五日市店②	082-929-7771	補助タクシー(株) 本社営業所②	
マダムジョイ 矢野店 直営食品売場①		マダムジョイ 楽々園店 直営食品売場①			082-232-3333
	082-889-2441		082-943-8211	ポール国際①	082-244-4151
広島市安佐北区		広島市南区		星ビル2F 知育玩具とオルゴール②	
大野石油店 高陽町SS①	082-842-1890	バー・サード・ウェーブ②	082-247-7753		082-249-3592
大野石油店 可部バイパスSS①		英国式足健康法 リフレックス②		星ビル3F ベビーワールド②	
	082-819-0210		082-248-7722		082-249-6181
キャン・ドウ 可部店②	082-814-7008	えびすの宴②	082-243-6166	星ビル4F アンティークドール②	
山陽礦油 かめ山SS①	082-815-6211	えひめでいあ②	082-545-6677		082-246-0026
ちから 高陽店②	082-841-4377	大野石油店 牛田大橋SS①	082-221-1511	星ビル5F オルゴールティーサロン②	
ちから マルナカ可部店②	082-810-0877	大野石油店 大手町SS①	082-243-8351		082-249-1942
徳川 サンリブ可部店②	082-815-2775	大野石油店 西白鳥SS①	082-221-8834	星ビルB1F メディカルフィットネス②	
広島市安佐南区		大野石油店 八丁堀SS①	082-221-3643		082-242-0011
エコール古市ショールーム①		okashimo②	082-231-3221	マダムジョイ 江波店 直営食品売場①	
	082-830-6161	釜飯酔心 本店②	082-247-4411		082-532-2001
エコール本部①	082-877-1079	寿司道場酔心 支店②	082-247-2331	マダムジョイ 千田店 直営食品売場①	
大野石油店 高取SS①	082-872-7272	惣菜酔心 立町店②	082-247-9581		082-545-5515
大野石油店 緑井SS①	082-877-2008	芸州 胡店②	082-243-6165	焼肉達人の店 寅②	082-234-8929
釜飯酔心 毘沙門店②	082-879-2211	桜井花店 本店①	082-247-1808	横田印房⑩	082-221-0320
カメラのアート写夢 高取店①		山陽礦油 相生橋SS①	082-232-0145		
	082-830-3588	しなとら パセーラ店②	082-502-3382	井口家具百貨店①	082-232-6315
ちから 西原店②	082-832-5520	体育社 本店①	082-246-1212	大野石油店 旭橋SS①	082-272-3766
ちから 八木店②	082-830-0235	ちから 本店②	082-221-7050	大野石油店 井口SS①	082-276-5050
徳川 安古市店②	082-879-9996	ちから 上八丁堀店②	082-211-0122	大野石油店 観音SS①	082-231-6209
広島第一交通 上安営業所②		ちから そごう店②	082-512-7854	大野石油店 商工センターSS①	
	082-872-5410	ちから タカノ橋店②	082-544-0002		082-277-1266
広島風お好み焼き・鉄板居食家		ちから 十日市店②	082-503-1089	大野石油店 横川SS①	082-237-1864
徳兵衛 毘沙門台店②	082-879-0141	ちから 中の棚店②	082-504-6646	釜飯酔心 アルパーク店②	082-501-1005
補助タクシー(株) 古市営業所②		ちから 舟入店②	082-294-7503	サイクルショップカナガキ 横川本店①	
	082-877-0004	ちから 堀川店②	082-241-8230		082-231-2631
広島市佐伯区		ちから 本通4丁目店②	082-245-0118	サイクルショップカナガキ 己斐店①	
阿藻珍味 銘店舎五日市店①		中華そばちから八丁堀店②	082-502-6008		082-272-2631
	082-942-3266	徳川 総本店②	082-241-7100	サカイ引越センター②	0120-06-0747
AUTO GARAGE うえるかむ①		のん太鮎 パセーラ店②	082-502-3383		082-532-1176
	082-927-2510	ピカソ画房 本店①	082-241-3934	車検の速太郎①	082-238-0100
大野石油店 五日市インターSS①		ひろしま国際ホテル 芸州 本店②		車検の速太郎 カーケアプラザ①	
	082-941-5020		082-248-2558		082-238-3939
大野石油店 造幣局前SS①	082-923-6029	ひろしま国際ホテル スペインバル ミ・カーサ②		ちから アルパーク天満屋店②	
カフェ&ダイニング わらうか庭②			082-248-6796		082-501-2701
釜飯酔心 五日市店②	082-922-8663	ひろしま国際ホテル 空庭BISとろくろく②		ちから 井口店②	082-278-3666
サイクルショップカナガキ 五日市店①	082-924-5525		082-240-7556	ちから 観音店②	082-232-5686
		ひろしま国際ホテル 東風②	082-240-0558	ちから 己斐店②	082-507-0505
		広島第一交通(株) 江波営業所②		ちから 商工センター店②	082-270-0390
			082-233-5871	ちから 中広店②	082-532-4004

店舗名⑥	TEL.	店舗名⑥	TEL.	店舗名⑥	TEL.
徳川 南観音店②	082-503-3039	安芸郡府中町		山陽石油 多治米町SS①	084-957-2601
広島第一交通㈱(第一)②	082-278-5511	ちから サンリブ府中店②	082-890-2510	山陽石油 深津SS①	084-922-5750
広島第一交通㈱(平和)②	082-278-5522	ちから 向洋店②	082-581-4321	山陽石油 福山東インターSS①	
ホテルプロヴァンス21 スパラーザ広島②		中華そばちから府中店②	082-287-0933		084-923-7835
	082-235-3930	広島第一交通㈱ 府中営業所②		山陽石油 南本庄SS①	084-922-3181
マダムジョイ アルパーク店 直営食品			082-281-1191	徳川 福山東深津店②	084-929-2015
売場①	082-501-1112	大竹市		とんかつ徳 イトーヨーカドー福山店②	084-971-0050
マダムジョイ 己斐店 直営食品売場①		果子乃季 ゆめタウン大竹店②			
	082-271-3211		08275-7-0757	三原市	
横川 ちから①	082-292-5822	カメラのアート写夢 本店①		ごはんや 広島空港店②	084-860-8215
広島市東区			0827-57-7700	徳川 三原店②	0848-62-8824
アリモト 本店②	082-264-2929	カメラのアート写夢 油見店①		三次市	
大野石油店 広島東インターSS①			0827-53-5911	さざん亭 三次店②	0824-64-0375
	082-508-5030	尾道市		平田観光農園①	0824-69-2346
サイクルショップカナガキ 戸坂店①		瀬戸田すいぐん丸②	08452-7-3003	広島三次ワイナリー 喫茶ヴァイン①	
	082-220-2031	呉市			0824-64-7727
ちから 尾長店②	082-506-3505	大野石油店 熊野団地SS①	0823-30-1042	広島三次ワイナリー パーベキューガーデン①	
ちから 光町店②	082-568-6855	大野石油店 呉SS①	0823-21-4974		0824-64-0202
徳川 戸坂店②	082-220-1818	体育社 呉店①	0823-22-8880	広島三次ワイナリー ワイン物産館①	
広島市南区		ちから 呉駅店②	0823-32-5532		0824-64-0200
大野石油店 エコステーション出島①		徳川 呉中通り店②	0823-23-8889	その他	
	082-254-1015	徳川 広島②	0823-70-0600	リースキン 家庭用事業部	
大野石油店 東雲SS①	082-282-3993	広島風お好み焼き・鉄板居食家 徳兵衛		広島市店②	082-233-1141
大野石油店 皆実町SS①	082-251-9108	呉駅ビル店②	0823-24-0222	広島北営業所②	082-845-2882
釜飯酔心 新幹線店②	082-568-2251	庄原市		広島西営業所②	0829-31-6161
釜飯酔心 広島駅ビル店②	082-568-1120	総商さとう ウィー東城店①③		広島東営業所②	082-824-1411
惣菜酔心 アッセ店②	082-264-6585		08477-2-1188	国内すべて対応	
銀河(えひめでいあ)②	082-253-1212	神石郡神石高原町		アート引越センター①	0120-08-0123
ごはんや 広島店②	082-253-0300	総商さとう 本店①③	08478-2-2011		
サイクルショップカナガキ 東雲店①		廿日市市			
	082-288-9101	大野石油店 廿日市インターSS①			
山陽礦油 大州SS①	082-282-4478		0829-20-1189		
車検の速太郎 向洋店①	082-890-9500	キャン・ドゥ 廿日市店②	0829-32-3387		
ちから 広島駅店②	082-568-9121	ジョイ薬局①	0829-32-3077		
ちから 福屋駅前店②	082-568-2330	徳川 廿日市店②	0829-32-1111		
ちから 本浦店②	082-286-1119	東広島市			
ちから 的場店②	082-262-6594	大野石油店 西条インターSS①			
ちから 皆実4丁目店②	082-250-0804		082-423-3701		
ちから 皆実町店②	082-253-3363	大野石油店 高屋ニュータウンSS①			
ちから ゆめタウンみゆき店②			082-434-4411		
	082-250-2125	大野石油店 東広島SS①	082-423-9197		
中国トラック①	082-251-0110	カギのひゃくとう番⑤	082-424-3110		
豆匠 広島本店②	082-506-1028	髪処 ふくろう②	082-497-3337		
徳川 南区民センター店②	082-505-1620	住吉屋 西条プラザ店①	082-423-7878		
徳川 ジャスコ宇品店②	082-250-0480	体育社 東広島店①	082-422-5050		
徳川 ビックカメラ・ベスト店②		徳川 西条プラザ店②	082-424-0300		
	082-567-2388	八本松タクシー①	082-428-0023		
広島風お好み焼き・鉄板居食家 徳兵衛		福山市			
広島新幹線店②	082-263-0200	一心太助 福山本店②	084-922-5611		
ホテルセンチュリー21広島 京もみじ②		エコール福山ショールーム①			
	082-263-5531		084-981-3733		
ホテルセンチュリー21広島 フィレンツェ②		山陽石油 住吉町SS①	084-922-0939		
	082-568-5270	山陽石油 セルフ神辺SS①	084-962-0693		
安芸郡海田町		山陽石油 セルフ福山平成大学前SS①			
徳川 海田店②	082-824-0111		084-972-7940		

※ご利用額100円に対するポイント額は、加盟店により異なります。 ※換算率は、1ポイント＝1円となります。

※次のとおり扱いにつきましては、予め、ご利用加盟店へ直接お問い合わせください。

1. クレジットカード支払のお取り扱い
2. クレジットカードご利用時のポイント付加の有無
3. ポイント付加対象外商品の有無
4. 団体・パーティーご利用時のポイント付加の有無

指 定 店 一 覧

平成25年5月1日現在

部 門	指 定 店	会 員 価 格	営 業 日 時	定 休 日	所 在 地	電 話 番 号
コム印・ 印鑑 ホテル	㈱入江明正堂	現金25%引、クレジット20%引	9:30～19:00	日曜、祝日、(8月の土曜)	広島市中区新天地1-1	(082)244-1623
	㈱呉阪急ホテル	宿泊20%引、宴会5%引、婚礼5%引、料飲10%引 外優待有	年中無休		呉市中央1-1-1	(0823)20-1111
	ANAクラウンプラザホテル広島	宿泊23%引、料飲5%引、婚礼5%引、宴会5%引	年中無休		広島市中区中町7-20	(082)241-1111
	広島東急イン	宿泊シングル1,500円引・ツイン3,000円引、婚礼10%引、レストラン5%引	年中無休		広島市中区三川町10-1	(082)244-0109
	福山ニューキャッスルホテル	宿泊17%引、レストラン5%引、宴会料理5%引、婚礼、料飲5%引	年中無休		福山市三之丸町8-16	(084)922-2121
リース 会社	日立キャピタル㈱	オートローン3.6%、リフォームローン3.9% 外	年中無休	年末年始、夏期休暇等当社指定 定休日を除く	広島市中区国泰寺町1-8-13 あいおい損保広島T Yビル6F	(082)249-8011
家具	㈱河野家具店	店頭表示価格から5～20%引	9:00～19:00	毎週火曜 (火曜日が祝日の時は営業)	呉市中通4-10-17	(0823)22-2250
	森本木工 西部	25～60%引き 赤札より10～15%	平日 8:30～18:00 年中無休	8/13～15、 12/29～1/4	広島市安佐南区中須2-18-9	(082)879-0131
看板	㈱サインサービス	見積額の10%割引		毎週土・日曜日、 祝日	安芸郡府中町柳ヶ丘77-37	(082)281-4331
警備	ユニオンフォレスト㈱	機械警備10,000円/月～、ホームセキュリティ4,000円/月～、保証金免除	平日 9:00～18:00	無休	呉市中央2-5-15	(0823)32-7171
	㈱全日警広島支店	月額警備料金10,000～15,000円(別途相談)、機器取付工事代20,000～30,000円、保証金免除	(土・日曜及び祝祭日を除く)	土・日・祝日	広島市中区幟町3-1 第3山県ビル5F	(082)222-7780
建物	㈱北川鉄工所 広島支店	特別価格	平日 8:45～17:30	毎週土・日曜日、 祝日	広島市南区東雲本町2-13-21	(082)283-5133
時計・宝石 ・メガネ ・カメラ	㈱ナカオカ	15～20%引(企画品、相場価格商品は除く)		毎週水曜日、夏 期年末年始	広島市中区堀川町5-10	(082)246-7788
	㈱下村時計店	現金のみ店頭表示価格から10～20%引(一部除外品あり)	9:00～19:00	月曜日	広島市中区本通9-33	(082)248-1331
自動車	広島トヨペット㈱ Volkswagen南広島	特別価格			広島市中区吉島西2-2-35	(082)541-3911
書籍	㈱フタバ図書	現金のみ定価5%引(直営店のみ)		定休日不定	広島市西区観音本町2-8-22	(082)294-0187
	㈱紀伊国屋書店 広島店	現金のみ定価の5%引			広島市中区基町6-27	(082)225-3232
	ゆめタウン広島店				広島バスセンター6F 広島市南区皆実町2-8-17 ゆめタウン広島3F	(082)250-6100
食事・ 食品	お好み共和国 ひろしま村	全店全商品5%引			広島市中区新天地5-23	(082)246-2131
	㈱平安堂梅坪 対象店舗(デパートを除く直営店)	5%引	対象店舗(デパートを除く直営店)年中 無休9:30～19:00	日・お盆・年末 年始休業	広島市西区商工センター 7-1-19	(082)277-8181
レジャー	國富㈱広島営業所	Cカード取得コース45,000円、商品購入：店頭価格より5%off、器材オーバーホール：通常価格より5%off	8:30～20:00	なし	広島市西区観音町13-9	(082)293-4125
	Diving Service海蔵	スキューバダイビング体験講習¥8,400 Cカード取得講習会¥5,000引き・器材修理店頭価格より5%引き	11:00～20:00	なし	広島市中区南千田西町1-8-101	(082)209-7422

部 門	指 定 店	会 員 価 格	営業日時	定 休 日	所 在 地	電 話 番 号
進物	㈱進物の大信	5～20％割引(但し弊社特約ホテル式場にての結婚記念品の場合を除く)(個別配送費 広島県内無料(2,000以上の商品))	6～9月 10:00～18:30 10～5月 9:30～18:00 年中無休・24時間営業	毎週火曜	広島市中区堀川町4-14	(082)245-0106
	(有)中山南天堂	5～25％(但し一部ブランド品食品を除く)	年中無休・24時間営業		広島市中区猫屋町8-17	(082)231-9495
総合葬祭	セルモ玉泉院 長束会館	祭壇金額定価2割引、 葬具(柩外)1割引	年中無休		広島市安佐南区長束2-4-9	(082)239-0948
	㈱玉屋	葬儀・花輪20％引、 生花5％引	年中無休		広島市南区段原南1-20-11	(082)261-4949
百貨店・ 婦人服・ 複写機・ ファックス	ひつじやサロン	店頭表示価格より10％引(一部除外品有)	平日 9:00～17:30	不定休	広島市中区本通9-26	(082)248-0516
	ミノルタ販売㈱	特別会員価格	年中無休		広島市中区小町3-25 (ショールーム)	(082)248-4361
仏壇・ 仏具	㈱三村松本社	仏壇平常店頭価格より30～40％ 引、仏具平常店頭価格より10～ 20％引(但し、修理費・工事費等 店頭販売品以外は除外する。)			広島市中区堀川町2-16	(082)243-5321
旅行	ひろでん中国新聞 旅行㈱本社・呉営 業所・三次営業 所・福山営業所	本人のみ 現金のみメーブル・トピック 自社主催商品3％引	平日 10:00～19:00 土・日・祝 10:00～17:00		広島市中区八丁堀16-14 第二広電ビル1F	(082)512-1020
	㈱日本旅行 広島八丁堀支店 (県内各支店)	赤い風船3％引、マッハ5％引、 ベスト3％引			広島市中区堀川町5-1 大内ビル1F	(082)247-1050
装飾	青山装飾㈱	特別価格	8:30～17:30	日・祝日、第2・ 4土曜日	広島市西区商工センター 5-11-1	(082)278-2323
介護用品	坂本製作所㈱ 介護事業部 福山営業所	車いす(アルミ製55％・スチール 製60％)、歩行補助ステッキ40％ 引き	9:30～18:00	日曜・祝日休業	福山市卸町11-1	(084)920-3950
家電	㈱エディオン外商 部	エディオン店頭価格より家電製 品10％引、パソコン関連5％引	9:30～18:30	土・日・祝日	廿日市市木材港南8-22	(0829)34-2508
保険	アリコジャパン 広島第一エージェ ンシーオフィス	無料保険診断サービス実施中	9:00～18:00 (平日)	土・日・祝日	広島市中区紙屋町2-1-22 広島興銀ビル9F	(082)247-3473 担当:小原(オハラ) 丸本(マルモト)
引越	㈱サカイ引越セン ター	通常価格より15％割引	年中無休(但し 11～13は休み)		広島市西区福島町2丁目36-1	0120-06-0747
会員制福 利厚生 サービス (中小企 業向け)	㈱福利厚生倶楽部 中国(中国電力ガ ループ会社)	入会金(一法人)31,500円→無料、 月会費1,050円/人 サービス内容(一例)全10,000アイ テムが会員特別料金◆宿泊施設: 約4,000ヶ所 2,000円～、◆公共の 宿:1泊2,500円/人補助◆バックツ アー:10％OFF、◆フィットネス:1 回500円～、◆映画:1,300円等	9:00～18:00 (平日)		広島市中区国泰寺町1-3-22 E R E 国泰寺ビル6階	(082)543-5855
設備	株式会社クラタ コーポレーション	特別価格	サービスにつ いては24時間 365日受付対応	土日祭休	広島市中区橋本町7-27	(082)511-1110 (代)担当:桑田昭正

ご利用の際は、広島県薬剤師会**会員証**をご提示ください。

広島県立美術館「団体割引会員」について

本会では会員の皆様に割安な団体料金で広島県立美術館の展覧会を観賞していただける「団体割引会員」に登録しました。

会員の皆様には同伴のご家族、ご友人も含めお得な団体料金で展覧会をご覧ください。
是非ご利用ください。

Natsume Soseki and Arts

夏目漱石の美術世界

美術は小説よりも奇なり・・・

平成25年 (2013年) 3月26日(火) ▶ 5月6日(月・振休)

開館時間 9:00 - 17:00 (3月29日は19:00、以後の金曜日は20:00まで開館)

入館料 一般 1,200円(1,000円) 小・中学生 600円(500円)

※団体割引料金 (10人以上) 一般 1,000円(800円) 小・中学生 500円(400円)

※団体割引料金は、団体割引券を提示し、団体割引会員登録番号を記載した申込書に添付していただく必要があります。

※団体割引料金は、団体割引券を提示し、団体割引会員登録番号を記載した申込書に添付していただく必要があります。

広島県立美術館

【割引の対象となる展覧会】

●夏目漱石の美術世界展 美術は小説よりも奇なり・・・

平成25年 3月26日(火) ～ 平成25年 5月6日(月・振休)

一般：1,200円 → 1,000円／高・大学生：900円 → 700円／小・中学生：600円 → 400円

※今後割引対象となる展覧会については改めてご連絡いたします。

〈問合わせ先〉

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

Tel: (082) 221 - 6246

Fax: (082) 223 - 1444

ホームページ:

<http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>

☆美術館受付にて、登録番号と団体名をお伝えください。

広島県立美術館 団体割引会員登録

団体番号：110068

団体名：社団法人 広島県薬剤師会

◆ 県薬だより ◆



県薬より支部長への発簡

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 2月18日 | 支部長・理事合同会議資料の送付について（各支部長） | 3月25日 | 平成25年度検査センター利用契約証明書について（依頼）（各支部長） |
| 2月21日 | 次期医療計画に関する策定状況調査について（報告）（各支部長） | 3月25日 | 平成24年度薬事衛生指導員活動費の助成について（通知）（各支部長） |
| 2月28日 | 在宅医療受け入れ可能薬局の登録について（通知）（各支部長） | 3月25日 | 平成24年度「くすりと健康の相談窓口」啓発事業の助成について（通知）（各支部長） |
| 2月28日 | 健康保険証提示推進ポスター及び後発医薬品使用促進リーフレット、並びに肝炎ウィルス検査啓発ポスターの送付について（通知）（各支部長） | 3月26日 | 平成25年版在宅医療受入可能薬局リストについて（通知）（各支部長） |
| 3月1日 | 薬剤師活動に係るテレビ取材放送について（通知）（各支部長） | 3月27日 | 会費賦課納付規定の一部改正について（通知）（各支部長） |
| 3月7日 | 在宅緩和ケア対応薬局リスト（24時間連絡体制で在宅緩和ケアが対応可能な保険薬局）更新について（通知）（各支部長） | 3月27日 | 平成25年度広島県薬剤師会賞及び同功労賞並びに同有効賞授賞候補者の推薦について（依頼）（各支部長） |
| 3月7日 | 「「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置実施要綱」の一部改正について」等の送付について（各支部長） | 4月5日 | 応需薬局ゴールデンウィーク休業期間調査について（依頼）（各支部長） |
| 3月8日 | 第42回広島県薬剤師会通常代議員会の開催について（通知）（各支部長） | 4月10日 | 会費徴収に係る支部担当者との打合せ会の開催について（通知）（各支部長） |
| 3月8日 | 新聞への広告掲載について（通知）（各支部長） | 4月10日 | 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第8回集計報告について（各支部長） |
| 3月11日 | 平成25年4月からの福祉医療費公費負担制度に係る各市町の対応状況について（通知）（各支部長） | 4月10日 | 医療事故情報収集事業第32回報告書の公表について（通知）（各支部長） |
| 3月12日 | 総会等の日程について（通知）（各支部長） | 4月11日 | 支部長・理事合同会議の開催について（通知）（各支部長） |

◆平成25年1月定例常務理事会議事要旨

日 時：平成25年1月17日（木）午後6時～8時30分

場 所：広島県薬剤師会館

出席者：前田会長、大塚・加藤・野村・村上副会長、
豊見専務理事、青野・有村・小林・重森・谷川・
豊見・中川・二川・政岡・松村・渡邊各常務理事

欠席者：木平副会長、田口常務理事

議事要旨作製責任者：政岡 醇

1. 報告事項

(1) 12月定例常務理事会議事要旨（別紙1）

(2) 諸通知

ア. 来・発簡報告（別紙2）

イ. 会 務 報 告（ 〳 3）

ウ. 会員異動報告（ 〳 4）

(3) 委員会等報告

(前田会長)

ア. 広島銀行本店来会

1月8日（火）広島銀行の不動産担当と二葉の里の件で打ち合わせをした。

イ. 平成25年薬事関係者新年互礼会

1月10日（木）於 広島県薬剤師会館 出席者80名

ウ. 広島都市圏の医療を考える懇話会（第3回）

（資料1）

1月14日（月）於 広島県庁・北館 二葉の里のメガホスITAL建設について、神戸・千葉への施設見学を行ったことについての報告であった。

（メガホスITALの建設は）将来的な構想の話であって、具体的な話にはなっていないと報告された。

エ. 平成25年広島県医師会新年互礼会（資料2）

1月14日（月）於 ANAクラウンプラザホテル広島

オ. 日本薬剤師会第5回都道府県会長協議会

（会長会）（資料3）

1月16日（水）於 東京・日薬 ネット販売について報告があり、日薬・厚労省・ケンコー・コムの見解がそれぞれ違うとのこと。最高裁で棄却され、主文に、薬事法のあり方についてなど細かく書かれているので、大変重い判決である。今後は、ルールを決めて守らせる方向性にするべきであろうと報告された。

（豊見日薬理事）

ア. 日本薬剤師会第11回理事会（資料4）

1月16日（水）於 東京・日薬ネット販売について、仕事に対する制限をすべきではないと主文にあるので、薬事法を変えればよいということではないということ。

学業の会費は、一人1,000円集めることになり、2月に決定する予定であること。

日薬会館を六本木に取得できる予定となったこと。6月9日に日薬の120周年記念式典が帝国ホテルで開催され、広島県薬からは、会長・副会長・専務理事ほか10数名が招待される予定で、参加費・交通費等は、参加者の負担となることが報告された。

（大塚副会長）

ア. ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会

12月19日（水）サンフレの試合で開催した乳がん検診では、参加者が非常に少なかった。次回は、カープ戦のヤクルト・オリックス戦で予定とのこと。県薬としては、学術大会でのグッズ販売しかしていないので、もう少し協力できるように今後検討していきたいと報告された。

イ. 「がん検診サポート薬剤師」養成研修会（資料5）

1月16日（水）に呉市薬剤師会館で開催され、60数名の参加であった。次回福山でも開催する予定だが、参加者が少ない場合は、再度広島でも開催したい。

（加藤副会長）

ア. 第51回中国地方社会保険医療協議会広島部会

12月26日（水）於 中国四国厚生局医科の新規2件 更新8件

歯科の新規4件 更新8件 薬局の新規4件 更新11件が審議され、承認された。

（野村副会長）

ア. 薬事情報センター委員会

12月25日（火）事業計画については、例年どおりとした。中毒119番で利用している富士通が利用できなくなるため、新しい業者を紹介してもらったが、移行代金などあまりにも高いので契約しないことになった。

（村上副会長）

ア. 業務分担③担当理事打合会（資料6）

1月8日（火）学術大会は呉で開催する予定。薬局実務実習の配属の際に、大学によっては、期の指定があるので、配属に困難を来しているという話があったが、受け入れ実行委員会で再度協議することとなった。また、来年度のWS参加希望者を調査したが、それとともに、受け入れ薬局の精査をすることとなった。

イ. 広島県高等学校保健会第2回理事会

1月10日（木）於 広島県立三原高等学校 予算と、学校の報告があった。

ウ. 第771回社会保険診療報酬支払基金広島支部幹事会（資料7）

1月11日（金）於 支払基金広島支部 全国的に、審査の判断基準の統一化を図るため、広島支部においても中央連絡協議会を設置することとなった。

エ. 第35回病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議（資料8）

1月11日（金）於 就実大学 トラブル事例の報告と25年度のWS開催予定について協議された。また、各県の指導薬剤師の状況について報告された。

オ. 日本薬剤師会総会議事運営委員会

1月17日（木）於 東京・日薬

日薬の執行部の考えが、なかなか代議員に話が伝わっていないので、各ブロック理事等から、各地区での周知を徹底していただきたいとなった。木村日薬常務理事が参議院選に立候補することになり、自民党の公認となった。6月で退任されることになるであろう。日薬としては、衛藤氏、はたとこ氏と3名を推薦することになるのではない

かという話になっている。

(青野常務理事)

ア. 広報委員会

1月11日(金)3月号の会誌原稿依頼について検討した。

イ. 広島県緩和ケア支援センター平成24年度緩和ケア人材育成検討会(資料9)

1月15日(火)於 広島県緩和ケア支援センター
薬剤師の参加者が少ないため研修センターの単位を取得できないかという話があった。研修についての理解度は、研修前は、19.4%しか理解していないが、研修後は93.8%であった。

(重森常務理事)

ア. 平成24年度第2回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

10月25日(木)於 広島国際会議場

徳島県における治療の現状について報告、患者の症例発表、広島県からアンケートの報告、患者からの提言と特別講演があったと報告された。

(二川常務理事)

ア. 第8回食育推進全国大会実行委員会(第2回)

12月21日(金)於 県立広島大学広島キャンパス

イ. 第8回食育推進全国大会関係団体協議(資料10)

1月7日(月)於 県庁・本館

(吉田常務理事)

ア. 安田女子大学薬学部OSCE

12月2日(日)於 安田女子大学

特に問題はなく無事終了した。

【指導】

ア. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導

1月16日(水)於 広島合同庁舎(渡邊常務理事)
ビタミン剤・漢方薬の処方についての指導があった。全く薬歴を書いてない薬局があり、返却したところ、どれも、ほぼ同じ内容であったため、厳しく注意があった。

また、薬局内での施設基準に応じた掲示物は、それぞれの薬局に必要なものを掲示するようにとの指導があったと報告された。

イ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導

1月17日(木)於 広島合同庁舎(政岡常務理事)
漢方の服用法についてや、ハイリスク薬の点数はとっているが指導内容の記載がないもの疑義紹介の内容記載のないもの、介護の指示書がない等の指導があったと報告された。→(豊見専務理事より)在宅患者訪問薬剤師管理指導料や、居宅療養管理指導費を算定する場合は、処方医からの口頭による指示でもよいが、必ず薬歴に記録する必要がある。ケアマネからの指示の場合も、必ず医師に確認をすることでよいとの説明があった。

2. その他の委員会等報告事項

(野村副会長事)

(1) 広島県医療審議会保健医療計画部会(資料11)

12月25日(火)於 県庁・本館

3. 審議事項

(1) 2月定例常務理事会開催日の変更について(野村

副会長)

2月21日(木)午後6時~からの開催とする。

(2) 支部長・理事合同会議の提出議題について(野村副会長)

2月16日(土)午後3時~

【2月13日(水)締切】

(3) 全体理事会の提出議題について(野村副会長)

3月2日(土)午後3時

【2月28日(木)締切】

(4) 日薬代議員中国ブロック会議の質問事項について(資料12)(村上副会長)

追加質問があれば、連絡をお願いしたいと報告された。

(5) 健康保険証掲示ポスターの作製について(資料13)(村上副会長)

作製することで、了承された。

(6) 第8回食育推進全国大会ブース出展に係る意向調査について(資料10)(二川常務理事)

中川・吉田・松村各常務理事を加えて、ワーキンググループを作り、原案を作成することとした。

(7) 平成24年度広島県合同輸血療法研修会の開催について(資料14)(野村副会長)

日 時: 2月2日(土)午後3時~6時

場 所: 広島県情報プラザ(広島市中区千田町3-7-47)

谷川・二川各常務理事出席

(8) 後援、助成及び協力依頼等について(野村副会長)

ア. 広島薬物関連問題関係者ネットワーク(ひろしまDネット)について(野村副会長)

ひろしまDネット会費: 30,000円(一口3,000円)送金することとする。

イ. ひろしま健康づくり県民運動推進会議への御協力について(資料15)(野村副会長)

負担金: 100,000円送金することとする。

ウ. 福山大学薬学部卒後教育研修会の共催について(資料16)

日 時: 2月23日(土)午後2時30分~5時30分

場 所: 福山大学宮地茂記念館

(毎回: 共催済)承認された。

エ. 広島国際大学薬学部卒後教育研修会の共催について(資料17)

日 時: 3月9日(土)午後2時~5時

場 所: 広島国際大学呉キャンパス

(前回: 共催済)承認された。

4. その他

(1) 次回常務理事会の開催について(野村副会長)

2月21日(木)午後6時(議事要旨作製責任者【予定】松村智子常務理事)

(2) 広島県医療審議会委員の推薦について(野村副会長)

推薦者: 吉田亜賀子 常務理事

(前任者: 岡本知子氏)

(3) 北方領土返還要求運動広島県民会議について(チラス)(野村副会長)

(4) 広島県立美術館「船田玉樹展」について(チラス)(野村副会長)

◆平成25年2月定例常務理事会議事要旨

日 時：平成25年2月21日（木）午後6時～午後9時05分
場 所：広島県薬剤師会館

出席者：前田会長、木平・大塚・野村・村上副会長、
豊見専務理事、青野・有村・小林・重森・谷川・
豊見・中川・二川・政岡・松村・吉田・渡邊各常
務理事

欠席者：加藤副会長

議事要旨作製責任者：松村智子

1. 報告事項

(1) 1月定例常務理事会議事要旨（別紙1）

(2) 諸通知

ア. 来・発簡報告（別紙2）

イ. 会 務 報 告（ 〃 3）

ウ. 会員異動報告（ 〃 4）

(3) 委員会等報告

(前田会長)

ア. 二葉の里移転問題について

1月18日（金）於 広島県歯科医師会館

イ. 平成24年度広島県医療費適正化計画検討委員会
（資料1）

2月1日（金）於 県庁・北館

ウ. 広島県業務課次年度事前説明（資料2）

2月15日（金）

エ. 広島県医療費適正化計画事業説明

2月21日（木）

(豊見日薬理事)

ア. 日本薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修
会（資料3）

1月25日（金）於 東京・日薬

イ. 日本薬剤師会薬価基準検討委員会（資料4）

1月31日（木）於 東京・日薬

ウ. 厚生労働省医薬品第二部会（資料5）

1月31日（木）於 東京・中央合同庁舎

エ. 厚生労働省医薬品第一部会（資料6）

2月7日（木）於 東京・中央合同庁舎

オ. 日本薬剤師会平成24年度第3回情報システム検討
委員会（資料7）

2月14日（木）於 東京・日薬

電子処方箋の実現については、専門部会において
も3年後ぐらいの実用に向けて諸事検討されている
段階であるが、本物の処方箋（コピーが可能と
なるため）の外部への流通を防ぐといったことから
も、あくまで地域医療の中で進めていく方針
で、今後も実証し、実用に向けて取り組んでいく
と報告された。

カ. 日本薬剤師会年金委員会（資料8）

2月15日（金）於 東京・日薬

(木平副会長)

ア. 第3回地对協 医薬品の適正使用検討特別委員会
1月17日（木）於 広島医師会館

イ. 広島県薬剤師研修協議会（資料9）

1月22日（火）

ウ. 広島県薬剤師会「地对協WG」

12月27日（木）・2月4日（月）

エ. 広島県地域保健対策協議会「医薬品の適正使用
検討特別委員会」講演会

2月13日（水）於 広島医師会館 参加者108名
(大塚副会長)

ア. 公明新聞取材

1月18日（金）

イ. 認定基準薬局新規申請及び更新薬局、保険薬局指
定申請薬局との共同研修会

2月3日（日）於 広島県薬剤師会館参加者83名

ウ. 業務分担④担当役員打合せ

2月8日（金）

エ. 検査センター委員会

2月19日（火）

オ. 「がん検診サポート薬剤師」養成研修会

2月20日（水）於 福山大学宮地記念館参加者70
名

(加藤副会長)

ア. 第52回中国地方社会保険医療協議会広島部会（資
料10）

1月29日（火）於 中国四国厚生局

(野村副会長)

ア. 平成24年度薬事衛生指導員講習会及び県学業研修
会

(西部) 1月19日（土）於 広島県薬剤師会館参加
者103名

(東部) 1月20日（日）於 福山商工会議所参加者
35名

イ. 県民公開講座

1月26日（土）於 広島県薬剤師会館参加者94名

ウ. 富士火災海上保険来会

1月29日（火）

会社主催で企画する講演会に於いての講師依頼が
あり、対象者は一般となり、おおまかな内容につ
いては、健康・薬に関することで依頼をうけた。
今後、具体的に検討されるのであれば報告して
いくこととされた。

エ. 業務分担⑦担当役員打合せ（資料11）

2月7日（木）

オ. 財団法人広島がんセミナー第1回先端的がん薬物
療法研究会（資料12）

2月9日（土）於 グランドプリンスホテル広島
これまで22年間、毎年、シンポジウムや県民公開
講座を開催されてきたが、このたび（財）広島が
んセミナーを立ち上げられ、医療従事者の医師、
看護師、薬剤師等を対象に、先端的がん薬物療法
研究会ということで、抗がん剤の治療について、プ
ラチナ製剤の歴史の講演から始まり、エビデンス
・毒性についてのシンポジウム等、終日開催さ
れた。総勢200名ほどの参加があり、うち薬剤師
は80数名の参加であったと報告された。

カ. 業務分担①担当理事打合せ（資料13）

2月12日（火）

キ. 支部長・理事合同会議

2月16日（土）

(村上副会長)

ア. 日薬代議員中国ブロック会議

1月26日（土）・27日（日）於 山口・東京第一
ホテル下関

イ. 第772回社会保険診療報酬支払基金広島支部幹事
会（資料14）

2月8日（金）於 支払基金広島支部

- ウ. 平成25年度H I V研修会打合せ
2月15日(金)
- エ. 平成24年度広島県高等学校保健研究大会
2月20日(水) 於 三原市ゆめきゅりあセンター
(青野常務理事)
- ア. 広島県がん対策推進協議会(資料15)
2月5日(火) 於 県庁・北館
- イ. 広報委員会
2月6日(水)・20日(水)
(有村常務理事)
- ア. 在宅医療連携拠点事業地域ブロック活動発表会
1月20日(日) 於 ホテルグランヴィア広島
- イ. 平成24年度在宅医療推進医等リーダー育成研修会
I(地域リーダー研修会)(資料16)
2月17日(日) 於 広島県庁
(谷川常務理事)
- ア. 第3回広島国際大学O S C E
1月20日(日) 於 広島国際大学・呉キャンパス
- イ. 会計部打合せ
1月29日(火)
- ウ. 平成24年度広島県合同輸血療法研修会(第4回)
(資料17)
2月2日(土) 於 広島県情報プラザ
- エ. 予算等打合せ
2月21日(木)
- オ. 薬剤師会史積立の取扱いについて
(豊見常務理事)
- ア. 2012年ドーピング防止研修会 参加者47名
1月27日(日) 於 広島県薬剤師会館
- イ. 平成24年度スポーツファーマシスト実務講習会
参加者75名
1月27日(日) 於 広島県薬剤師会館
- ウ. 広島県薬剤師会安芸支部研修会(J P A L S)
2月6日(水) 於 エパルス(南区大州)
- エ. 平成24年度日本薬剤師会生涯学習担当者全国会議
(資料18)
2月10日(日) 於 東京・日薬
(中川常務理事)
- ア. 健康ひろしま21推進協議会(資料19)
2月20日(水) 於 県庁・自治会館
(二川常務理事)
- ア. 平成24年度公益社団法人化勉強会
第4回 1月31日(木)
第5回 2月14日(木)

【指導】

- ア. 中国四国厚生局と広島県による集団指導
1月20日(日) 於 西区民文化センター
- イ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導
1月22日(火) 於 広島合同庁舎(松村常務理事)
- ウ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導
1月23日(水) 於 広島合同庁舎(有村・渡邊各常務理事)
- エ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導
1月28日(月) 於 広島合同庁舎(野村副会長、二川常務理事)

- オ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導
2月7日(木) 於 広島合同庁舎(重森常務理事)
- カ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導
2月13日(水) 於 広島合同庁舎(吉田・青野各常務理事)
- キ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導
2月14日(木) 於 広島合同庁舎(政岡常務理事)
- ク. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導
2月19日(火) 於 広島合同庁舎(村上副会長)
- ケ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導
2月20日(水) 於 広島合同庁舎(松村常務理事)
(石原事務局長)
- ア. 第29回北方領土返還要求広島県民大会(資料20)
2月5日(火) 於 広島県民文化センター
- イ. 平成24年度第2回広島県保険者協議会(資料21)
2月6日(水) 於 国保会館

2. その他の委員会等報告事項

- (野村副会長事)
- (1) 日本薬剤師会「災害対策委員会」(串田理事)
(資料22)
1月21日(月) 於 東京・日薬
- (2) (公益社)日本アンチ・ドーピング機構アジア国際シンポジウム
1月26日(土) 於 海運クラブ(東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル)
- (3) 製薬協くすり相談のあり方に関するシンポジウム
(資料23)
1月26日(土) 於 如水会館
- (4) 平成24年度第3回広島県医療審議会
2月6日(水) 於 県庁・北館

3. 審議事項

- (1) 平成24年度会務及び事業執行状況報告、収支計算書について(別冊)(野村副会長)
平成24年4月から平成25年1月末までの事業執行状況、収支計算書については、各担当に再度、内容について確認をお願いするとされた。
- (2) 平成24年度広島県薬剤師会収支補正予算書(案)について(別冊)(野村副会長)
県業務課からの補助金収入分が増額となり、その内訳は医療関係産業クラスター形成事業に係わる薬事規制上の課題調査業務費支出1,101,807円と、広島県がん検診サポート薬剤師事業費支出1,921,710円を業務部関係費支出として補正予算を立てる案とする。
もう一件として、今年3月末で、薬事情報センター職員1名が定年退職となるため、投資活動収入の中から退職給与引当金取崩収入とし、管理費支出の退職給付支出として補正予算を立てる案とした。

- (3) 会費賦課納付規程の一部改正について (案) (別冊) (野村副会長)

規程第2条では、県薬正会員A'、Bともに日薬会費2,000円減額に合わせて、県薬会費も減額される。規程第3条2の割当額については、これまで会計年度の前年10月31日現在の会員数に会費を乗じた額と定められていたが、3月31日現在とする。また、規程第5条については、会計年度の4月1日から9月30日までに入会した会員の会費は、その年度の全額とし、10月1日以後に入会した会員の会費は、その年度の年額の2分の1額とし、既に納入した会費は返還しないこととする。この規程の一部改正は平成25年4月1日から施行する。これら会費に関する議案については、日薬で会費規程が正式に決定次第、本会の全体理事会に諮り、代議員会において議案を立てることとした。

- (4) 平成25年度事業計画 (案) 及び収支予算書 (案) について (別冊) (野村副会長)

平成25年度の事業計画案及び収支予算案についても、再度、内容について確認することとした。

- (5) 公益社団法人広島県薬剤師会定款 (案) について (別冊) (野村副会長)

第3章の会員については、個人の表現として、著で記すこととする。

第5章の総会の決議については、正会員の除名及び代議員の除名、監事の解任、定款の変更、解散、といった重要事項の決議に於いては、総代議員の半数以上の出席であって、総代議員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行うとする、と記す案とする。また、第14章の補足3の代表理事及び業務執行理事の氏名については、会長、副会長、専務理事、常務理事と記載する案とした。

- (6) 全体理事会について (資料24) (野村副会長)
3月2日 (土) 午後3時～
各資料の変更等は2月28日 (木) までをお願いするとされた。

- (7) 第42回広島県薬剤師会通常代議員会について (資料25) (野村副会長)

3月24日 (日) 午後1時～

・役割分担について

○司会者 吉田亜賀子 常務理事

○開会の辞 大塚 幸三 副会長

○閉会の辞 木平 健治 副会長

○仮議長 大竹支部 竹下武伸氏

○議長 広島支部 河内一仁氏

○副議長 安佐支部 (安佐支部より、後日選任する。)

以上の役割でお願いすることとし、日薬総会報告については玉浦先生にお願いすることとされた。各報告の担当については昨年どおりとされた。

- (8) 第42回広島県薬剤師会通常総会の開催について (野村副会長)

5月25日 (土) 午後15時00分～

【支部長・理事合同会議 同日午後14時00分～】

以上の日時で開催するとされた。

- (9) 広島県災害時公衆衛生チームへの協力に関する協定の締結について (資料26) (野村副会長)

協定を締結することとされた。

- (10) 日本薬剤師会平成24年度全国災害対策担当者会議の出席について (資料27) (野村副会長)

日 時：平成25年3月18日 (月)

場 所：日本薬剤師会 会議室

出席者：都道府県薬剤師会における県地域防災計画の策定に関わる担当役員、または災害薬事コーディネーター養成に関わる主たる責任者 (2名まで)

野村副会長と青野常務理事の2名が出席されることとなった。

- (11) 日本薬剤師会平成24年度学校薬剤師部会全国担当者会議の出席について (資料28)

日 時：3月28日 (木) 午後1時30分～4時30分
(豊見専務理事)

場 所：日本薬剤師会 8階会議室

大塚副会長が出席されることとなった。(広島県学校薬剤師会からは永野会長が出席される。)

- (12) 犯罪情報発信活動への協力について (資料29) (野村副会長)

会誌と一緒に配布することとされた。

- (13) 薬剤師へのアンケート調査の協力について (資料30) (木平副会長)

アンケート調査について協力することとされた。

実施期間が平成25年4月1日から平成26年3月31日までとなっているため、送付・回収方法等の具体的な内容については、今後検討していくこととされた。

- (14) 後援、助成及び協力依頼等について

ア. 「子育て応援団すこやか2013」の後援名義使用について (資料31) (野村副会長)

日 時：6月1日 (土)・2日 (日) 午前10時～午後4時

場 所：広島県立総合体育館

主 催：子育て応援団実行委員会 (広島県、広島県医師会、広島県歯科医師会外)

(毎年後援)

今年度も引き続き後援することとされた。

4. その他

- (1) 次回常務理事会の開催について (野村副会長)

3月21日 (木) 午後6時 (議事要旨作製責任者【予定】吉田亜賀子常務理事)

- (2) 平成25年度「看護の日」広島県大会にかかる後援について (資料32) (野村副会長)

日 時：5月11日 (土) 午後1時15分～

会 場：広島県民文化センター

(承諾済)

- (3) 中国新聞記事について (資料33) (野村副会長)
掲載日：2月18日 (月)

- (4) 広島県立美術館「日本伝統工芸展」について (チラシ) (野村副会長)

- (5) 谷川常務理事より、中国新聞社担当者との話し合いについて報告された。3.11に合わせてもう1回、3月中に広告掲載をすることで了承され、広報委員会の青野チームと谷川チームから役員を選抜し、今後、委員会を開催し具体的な内容を詰めていくこととされた。

県薬日誌

日	付	行 事 内 容
2月21日	木	・予算等打合せ ・広島県医療費適正化計画事業説明 ・常務理事会
22日	金	日本薬剤師会第12回理事会(東京)
23日	土	第36回福山大学薬学部卒後教育 研修会(福山大学宮地記念館)
23日・24日		第80回日本薬剤師会臨時総会 (東京)
24日	日	平成24年度在宅医療推進医等 リーダー育成研修会Ⅰ(地域リー ダー研修会)(広島県庁)
25日	月	・厚生労働省医薬品第二部会 ・薬局実習受け入れ実行委員会
26日	火	・第53回中国地方社会保険医療協 議会広島部会(中国四国厚生局) ・肝炎対策ウィルスについてホー ムテレビ取材(広島南薬局) ・在宅医療・介護対応委員会 ・広報委員会(中国新聞広告対応)
27日	水	・日本薬剤師会DⅠ委員会(東京) ・「がん検診サポート薬剤師」ホーム テレビ取材(安芸ふれあい薬局) ・中国四国厚生局及び広島県によ る社会保険医療担当者の新規個 別指導(広島合同庁舎)
28日	木	第24回広島プライマリ・ケア研究 会(広島医師会館)
3月1日	金	・日本病院薬剤師会インタビュー フォーム検討会(東京) ・平成24年度日本薬剤師会行政薬 剤師部会講演会(大阪府薬剤師 会館)
2日	土	全体理事会
3日	日	日本薬剤師会平成24年度学校薬 剤師研修会(高知)
4日	月	健康ひろしま21推進協議会 (県庁・自治会館会議棟)
5日	火	・広島県立総合精神保健福祉セン ター来会 ・広島県緩和ケア支援センター平 成24年度緩和ケア人材育成検討 会(広島県緩和ケア支援センター) ・広報委員会

日	付	行 事 内 容
6日	水	・ピンクリボンキャンペーンin広 島実行委員会(本通ドムス) ・広島県地域保健対策協議会第4 回医薬品の適正使用検討特別委 員会(広島医師会館)
7日	木	広島大学薬学部・大学院医歯薬学 総合研究科 卒業・修了記念パー ティー(ANAクラウンプラザホテ ル広島)
8日	金	厚生労働省医薬品第一部会(東京)
9日	土	・第458回薬事情報センター定例 研修会お薬手帳広報活動 ・第5回広島国際大学薬学部卒後 研修会(広島国際大学呉キャン パス)
10日	日	平成24年度日本薬剤師会学校薬 剤師部会第2回中国ブロック会 議(岡山)
11日・12日		求人・求職システム事業等紹介の ため大学訪問(京都薬科、大阪薬 科、摂南、神戸学院、兵庫医療、神 戸薬科)
12日	火	広島県健康福祉局高齢者支援課 来会
13日	水	・中国四国厚生局及び広島県によ る社会保険医療担当者の個別指 導(広島合同庁舎) ・厚生労働省医薬品第二部会(東京) ・日本薬剤師会平成24年度地域・在 宅医療等担当者全国会議(東京) ・第2回広島県地域医療再生計画 推進委員会(県庁・北館)
14日	木	中国四国厚生局及び広島県によ る社会保険医療担当者の新規個 別指導(広島合同庁舎)
15日	金	・求人・求職システム事業等紹介 のため大学訪問(福山、広島国 際、安田女子、広島) ・第773回社会保険診療報酬支払 基金広島支部幹事会(支払基金 広島支部) ・第8回食育推進全国会議実行委 員会(第3回)(県立広島大学広 島キャンパス)
16日	土	・第8回広島胃腸と経腸栄養療法 研究会(広島国際会議場) ・第20回核戦争防止国際医師会議 (IPPNW)世界大会報告会(リー ガロイアルホテル広島)

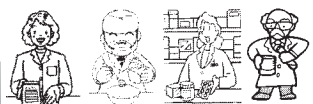
日	付	行事内容
17日	日	日本薬剤師会平成24年度学校薬剤師研修会(長野)
18日	月	日本薬剤師会平成24年度全国災害対策担当者会議(東京)
19日	火	・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導(広島合同庁舎) ・日本薬剤師会第13回理事会(東京) ・広島都市圏の医療を考える懇話会(第4回)(広島県庁・北館) ・認定基準薬局運営協議会
21日	木	・平成24年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会(東京) ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎) ・平成24年度第2回「がん検診へ行こう」推進会議(県庁・本館) ・常務理事会
22日	金	・広島県災害時公衆衛生チーム研修会(県庁・本館) ・日本薬剤師会平成24年度社会保険指導者研修会(アルカディア市ヶ谷(私学会館)) ・第36回病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議(就実大学) ・財団法人広島県地域保健医療推進機構理事会(広島県健康福祉センター) ・平成24年度第4回広島県医療審議会(県庁)
24日	日	第42回広島県薬剤師会通常代議員会
25日	月	「第8回食育推進全国大会」打合会
26日	火	「薬草に親しむ会」打合会
27日	水	・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導(広島合同庁舎) ・21世紀、県民の健康とくらしを考える会(広島医師会館)
28日	木	・日本薬剤師会平成24年度医薬分業指導者協議会(厚生労働省講堂) ・平成24年度第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会(広島県自治会館) ・日本薬剤師会平成24年度学校薬剤師部会全国担当者会議(日本薬剤師会)

日	付	行事内容
30日	土	中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会および運営委員会合同会議(岡山)
31日	日	・呉支部総会(呉阪急ホテル) ・「がん検診サポート薬剤師」養成研修会
4月3日	水	広報委員会
4日	木	・正・副会長会議 ・薬局実務実習受け入れ説明会(呉)(呉市薬剤師会館)
8日	月	広島県薬剤師会学術大会実行委員会
9日	火	日本薬剤師会第1回理事会(東京)
10日	水	日本薬剤師会第1回都道府県会長協議会(会長会)(東京)
11日	木	・日本赤十字社中四国ブロック血液センター見学会(日本赤十字社中四国ブロック血液センター) ・会費徴収検討委員会
12日	金	・二葉の里移転に係る歯科医師会との打合会(広島県歯科医師会館) ・平成25年度第1回広島県地域包括ケア推進センター運営協議会(広島県健康福祉センター)
14日	日	・社団法人島根県薬剤師会館竣工祝賀会(サラポーむらくも) ・安田女子大学薬学部実習成果報告会(安田女子大学9号館)
16日	火	・職業紹介事業に係る定期指導 ・広報委員会 ・広島県学校薬剤師会常務理事会
17日	水	・会員委員会 ・ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会(本通ドムス) ・薬局実務実習受け入れ説明会(東部)(福山大学社会連携研究推進センター)
18日	木	・監査会 ・(財)広島県地域保健医療推進機構来会 ・平成25年度社会保険医療担当者(薬局)指導打合会 ・選考委員会 ・常務理事会

行事予定（平成25年5～7月）

- 5月11日（土） 平成25年度「看護の日」広島県大会（広島県民文化センター）
 // 広島県病院薬剤師会総会（エソール広島）
 // 広島県看護協会創立65周年記念祝賀会（リーガロイヤルホテル広島）
- 5月12日（日） 広島県薬剤師会臨時代議員会
- 5月14日（火） 日本薬剤師会第3回理事会（東京）
- 5月15日（水） 日本薬剤師会議事運営委員会（東京）
- 5月16日（木） 常務理事会
- 5月18日（土） ピンクリボンdeカーブ（対オリックス戦）（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島）
- 5月21日（火） 広島県学校薬剤師会監査会
- 5月23日（木） 広島県学校薬剤師会総会
- 5月25日（土） 支部長・理事合同会議
 // 第42回広島県薬剤師会総会
- 5月26日（日） 安芸支部総会（サンピア・アキ）
- 6月1日（土） } 子育て応援団すこやか2013（広島グリーンアリーナ）
 6月2日（日） } 日薬代議員中国ブロック会議（島根）
- 6月2日（日） 第54回原子爆弾後障害研究会（広島国際会議場）
 // 新薬剤師研修会
- 6月8日（土） 日本薬剤師会第2回都道府県会長協議会（会長会）（東京）
 // 日本薬剤師会第65回共済部総会（東京）
- 6月9日（日） 日本薬剤師会創立120周年記念式典（帝国ホテル）
- 6月11日（火） （財）広島県地域保健医療推進機構定時評議員会
- 6月20日（木） 常務理事会
- 6月21日（金） } 第18回日本緩和医療学会学術大会（パシフィコ横浜）
 6月22日（土） }
- 6月22日（土） } 平成25年度病院診療所薬剤師研修会（広島国際会議場）
 6月23日（日） } 第8回食育推進全国大会（広島市南区民文化センター、県立広島産業会館、県立広島大学広島）
- 6月28日（金） 日本薬剤師会第3回理事会（東京）
- 6月29日（土） } 日本薬剤師会第81回定時総会（東京）
 6月30日（日） }
- 7月9日（火） 日本薬剤師会第4回理事会（東京）

会員紹介 78



広島支部

こう の その こ
河 野 園 子

はじめまして。昨年より船越南どんぐり薬局で働かせて頂いております。明るいスタッフと共に地域医療の一端を担えるよう、日々励んでおります。どうぞよろしくお願い致します。

会員紹介

原稿募集中

「会員紹介」への投稿を
お待ちしております。



「Pharmacist's Holiday ～薬剤師の休日～」の募集で～す

広島県薬剤師会誌をもっともっと充実させようと、楽しい企画を掲載しています。

タイトルは「Pharmacist's Holiday ～薬剤師の休日～」で、テーマはあなたが自由に描いてください。

どのような企画かと申しますと、趣味や特技があってもそれをなかなか披露したり発表したりする場所がありません。そこで会誌の1ページを使い、絵画・写真・書道・得意料理のレシピ（お菓子も可）・俳句・サークル活動・休日の過ごし方など紹介して会員同士の交流に役立てていただき、また2カ月に1度の会誌を少しでも首を長く待っていただこうと考えてみました。趣味や特技は問いませんので、ドシドシ応募をお待ちしております。（できれば思い出やエピソードを添えてください。）

応募数を見て少しでも多く掲載させていただこうと思っておりますので宜しくお願いいたします。

作品は広島県薬剤師会事務局までお願いいたします。（とにかくなんでも応募してみてください。）

— 謹んでお悔やみ申し上げます —



徳山 房男 氏 逝去

去る3月10日（日）ご逝去されました。

堂面 祝雄 氏 逝去

去る3月27日（水）ご逝去されました。

告別式は竹原市竹原町の竹原葬祭会館において執行されました。

喪主：堂面 暢久 氏



薬務課の人事異動

平成25年4月1日

現 職	転 出	
	氏 名	異動先
健康福祉局薬務課長	仲本 典正	東部厚生環境事務所長
健康福祉局薬務課参事	應和 卓治	健康福祉局食品生活衛生課食品衛生担当監
健康福祉局薬務課主幹	角田 静香	東部厚生環境事務所福山支所衛生環境課長
健康福祉局薬務課専門員	小田佐知子	北部厚生環境事務所監視指導専門員
健康福祉局薬務課専門員	種本 康成	県立広島病院事務局専門員
健康福祉局薬務課専門員	岡田 史恵	健康福祉局薬務課主査
健康福祉局薬務課主任	新元 芳彦	健康福祉局健康福祉総務課主任
健康福祉局薬務課主任（エルダースタッフ）	中村 能治	東部厚生環境事務所主任（エルダースタッフ）
健康福祉局薬務課技師	多武保泰治	健康福祉局健康対策課主任

新 職	転 入	
	氏 名	現 職
健康福祉局薬務課長	海嶋 照美	健康福祉局食品生活衛生課食品衛生担当監
健康福祉局薬務課参事	松岡 俊彦	健康福祉局健康対策課主幹
健康福祉局薬務課主査	岡田 史恵	健康福祉局薬務課専門員
健康福祉局薬務課事業推進員	片平 尚貴	健康福祉局健康福祉総務課主任
健康福祉局薬務課主任	三村 武士	健康福祉局被爆者支援課主任
健康福祉局薬務課主任（エルダースタッフ）	城本 隆昭	採 用
健康福祉局薬務課技師	水谷 誠	西部厚生環境事務所技師
健康福祉局薬務課技師	河野 弥恵	西部厚生環境事務所広島支所技師
健康福祉局薬務課技師	細川 知穂	東部厚生環境事務所技師
健康福祉局薬務課技師	平本 春絵	採 用

平成25年3月11日

社団法人広島県薬剤師会会長 様

広島県健康福祉局長
 〒730-8511 広島市中区基町10-52
 薬 務 課

医薬品と健康食品の相互作用に対する注意喚起について（通知）

このことについて、厚生労働省医薬食品局総務課長から別紙（写）のとおり通知がありました。ついては、貴会会員へ周知をお願いします。

担当 薬事グループ
 電話 082-513-3222（ダイヤルイン）
 （担当者 角田）

別紙

薬食総発0228第2号
平成25年2月28日

各〔都道府県
保健所設置市
特別区〕衛生主管部（局）薬務主管課長 殿

厚生労働省医薬食品局総務課長

医薬品と健康食品の相互作用に対する注意喚起等について（依頼）

平成25年1月29日付けで内閣府消費者委員会において「「健康食品」の表示等の在り方に関する建議」（別添1・省略）が取りまとめられました。当該建議において、薬局における医薬品の調剤及び販売の機会に薬剤師等が患者より健康食品の摂取状況を聴取し、過剰摂取や医薬品との相互作用等について、患者に対し適切な注意喚起を行うことの重要性が指摘されています。

貴職におかれましては、当該建議の内容を踏まえ、貴管下の薬局・薬店等に対して下記の事項を周知徹底していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、関係団体に対しても別添2（省略）のとおり協力要請を行っていることを申し添えます。

記

1. 薬局における調剤及び薬局・薬店等における医薬品の販売又は授与の際に、患者等からの聞き取りやお薬手帳の活用等により、当該患者等の健康食品摂取状況を確認し、医薬品との相互作用のおそれや健康食品の過剰摂取の疑いがある場合は、患者等に対して必要な注意喚起を行うこと。
2. 独立行政法人国立健康・栄養研究所の「「健康食品」の安全性・有効性情報」及び厚生労働省医薬食品局食品安全部より発出される健康食品に関する通知等の内容を踏まえて、薬局・薬店等において患者等へ情報提供と注意喚起を行うこと。

（参考情報）

- 「健康食品」の安全性・有効性情報（独立行政法人国立健康・栄養研究所）
<https://hfnet.nih.go.jp/>
- 「健康食品の正しい利用法」（平成23年3月作成）
：一般の方を対象とした健康食品に関する情報提供用パンフレット
http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/dl/kenkou_shokuhin00.pdf
- 「健康食品による健康被害の未然防止と拡大防止に向けて」（平成22年3月作成）
：医師を対象とした健康食品に関する情報提供用パンフレット
http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/dl/pamph_healthfood_a.pdf
- 「健康食品」の表示等の在り方に関する調査報告
http://www.cao.go.jp/consumer/iinkai/2013/111/doc/111_130129_shiryou3-2.pdf

平成25年度 支部役員名簿

福 山 支 部			支部理事	西 谷 啓	県薬代議員	山 岡 恵美子
			〃	井 上 真	〃	山 口 恵 徳
支 部 長	村 上 信 行		〃	萩 原 謙 二	〃	小松谷 宣 文
副 支 部 長	小 林 啓 二		〃	小松谷 宣 文	〃	河 田 邦 貴
〃	大 方 十代治	監 事	〃	橋 弥 宏 子	県薬予備代議員	相 方 貢
〃	山 岡 恵美子	〃	〃	藤 井 芳 美	〃	江 木 ひとみ
支 部 理 事	田 村 豊	総務・庶務	〃	吉 田 稔	〃	緒 方 京 子
〃	原 景 子	会 計	〃	小 林 啓 二	〃	大 町 温 子
〃	相 方 貢	〃	〃	有 木 美 恵	〃	小 谷 強 志
〃	松 本 久二子	県薬代議員	〃	井 上 真	〃	児 玉 真 市
〃	河 田 邦 貴	〃	〃	大 方 十代治	〃	高 橋 富 夫
〃	来 山 早智子	〃	〃	清 原 一 樹	〃	堀 裕 子
〃	有 木 美 恵	〃	〃	作 田 利 一	〃	松 本 久二子
〃	吉 田 稔	〃	〃	鍋 島 睦 枝	〃	真 庭 啓 悟
〃	堀 裕 子	〃	〃	萩 原 謙 二	〃	村 上 範 行
〃	美 野 博 則	〃	〃	美 野 博 則		

支部だより

廿日市支部／福山支部



<廿日市支部>



平成24年度
第3回廿日市市五師士会研修会

会長 渡邊 英晶

2月8日（金）に今年度3回目の五師士会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師協会、理学及び作業療法士、ケアマネジャー）合同の研修講演会がありました。演題は「我が国における骨粗鬆症の問題点に対する栄養・運動・薬物を柱とした治療戦略」、講師は沖本クリニック院長沖本信和先生（平成18年まで産業医科大学整形外科、現在ハンドボール全日本男子チームドクター、今日の治療指針2006整形外科ランニング障害ほか、骨粗鬆症関連もしくはスポーツ医学関連など執筆）。今年度



は薬剤師会が当番会長ということもあり、最新の薬物治療を中心として、他の団体と共通出来る内容にこだわりました。特にインプラント治療中の患者には禁忌であるビスホスホネート系製剤を服用し顎骨壊死を起こした症例など、歯科医にも興味ある内容になったと思います。

[骨吸収抑制薬ビスホスホネート系]

ゾレドロン酸水和物（ゾメタ）

インカドロン酸2ナトリウム（ビスフォナール）

アレンドロン酸ナトリウム水和物（テイロック）

パミドロン酸2ナトリウム（アレディア）

リセドロン酸ナトリウム水和物（フォサマック錠、ボナロン錠、ベネット錠、アクトネル錠）

[重要な基本的注意]

ビスホスホネート系薬剤による治療を受けている患者において、顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわ

れることがあります。報告された症例のほとんどが抜歯等の歯科処置や局所感染に関連して発現しており、また、静脈内投与された癌患者がほとんどでありましたが、経口投与された骨粗鬆症患者等においても報告されております。リスク因子としては、悪性腫瘍、化学療法、コルチコステロイド治療、放射線療法、口腔の不衛生、歯科処置の既往等が知られています。

<廿日市支部>

日本薬学会第133年會に参加して



理事 中谷 有吾

日本薬学会第133年會が平成25年3月26日～30日にパシフィコ横浜で開催されました。私は業務の都合上、ポスター発表日の30日のみ参加しました。

当日は寒気が日本列島を覆い非常に寒い日でしたが、会場は多くのポスターと発表者や質問者で非常ににぎわっており、熱い討論が交わされていました。

ポスター発表は、平成24年11月4日の「廿日市市あいプラザまつり」において実施した「指先から健康チェック」の検査結果やアンケートをふまえて、広島大学薬学部臨床薬物治療学森川則文教授のご協力のもと、「広島県廿日市市五師士会での連携チーム医療に貢献する薬剤師の新たな試み～マイクロTDMの実践：指先生化学検査による生活習慣のチェック～」の表題で行いました。

発表ではたくさんの質問や意見を頂きました。薬学生からは、「多職種連携に興味がある。どのように連携しているのか？」や「医師からはどのように思われているのか？」などの質問や、「調剤薬局の薬剤師も研究発表できる事に驚いた。自分もぜひ発表したい!」、「指先穿刺の健康チェックがあたりまえのように薬局でもできたら地域に貢献できる!」といった前向きな意見を頂きました。

また大学教員からは、「こういった取り組みが全国で行われて、薬剤師の職能が認知されるように頑張りましょう!」といった心強いご意見を頂きました。

臨床薬学分野では、保険薬局の薬剤師からの発表がみられ、各薬局の取り組みやなど非常に興味深いものがありました。

学会に参加して、最新の研究発表に触れたり、自ら発表することはとても刺激になりますし、勉強になると感じました。また、これからも薬局薬剤師は各薬局で取り組んだことなどを、積極的に様々な場でアピールしていかなければならないと感じました。

最後に発表に際して、ご指導くださった広島大学薬学部臨床薬物治療学研究室の森川則文教授をはじめ研究室の皆様、廿日市市薬剤師会の皆様、廿日市市五師士会の皆様に御礼申し上げます。

<福山支部>

第41回福山市薬剤師会通常総会

理事 井上 真



3月29日（金）19時30分より「広島県民文化センターふくやま」にて通常総会が行われました。

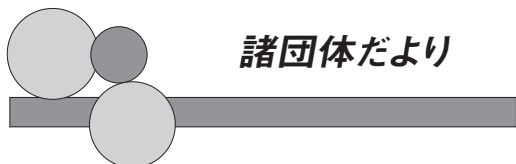
西谷啓先生の軽妙な司会で開会し、まず物故者への黙祷を捧げました。その中でも田口勝英先生のご逝去は福山支部のみならず広島県薬にとって、大きな痛手とともに悲しみだったのではないのでしょうか？改めて田口先生が今まで我々を支え続けて下さった事に感謝し、ご冥福を祈りたいと思います。

さて総会の方ですが、平成24年度の事業報告、会計報告が行われ、引き続き平成24年度の収支補正（案）、平成25年度の事業計画（案）、収支予算（案）等が無事全会一致で承認されました。

今年度の福山支部は一般社団法人への移行が控えており、それに向けての準備もあるほかに、5月末開始予定の成人夜間診療所への対応という大きな課題がありますので理事一同気を引き締めて

臨まなければなりません。

最後に一言。最近だけの事ではないかもしれませんが、総会に限らず様々な研修会にも若い人たちの参加が少ないように感じます。ぜひとも自身の視野を拓げるためでもあると思うので、周りの方々がもっと積極的に参加できるように後押ししていただけるよう期待しています。



諸団体だより

広島県青年薬剤師会



副会長 小川 弘太

すっかり、春の香りが香る季節となりました。花粉症の私にとっては、ただ辛い時期です。

さて、今回の広島県青年薬剤師会の定例勉強会は、3月17日（日）に、日経DI「患者の訴えから考える OTCセレクトガイド」の連載でもお馴染みの株式会社A.M.C代表取締役社長・三上彰貴子先生をお迎えし、「三上彰貴子のOTCベーシックセミナー～OTCを選び、患者さんに選ばれる薬剤師になろう～」のテーマでご講演いただきました。



日頃病院に勤務し、まだまだ薬剤師としてのキャリアが乏しいこともあり、どのような薬剤がOTCとして販売されているかについてはあまり詳しく知りませんでしたので、今回の勉強会は新たなことをいっぱい知られる機会でもあり、とても楽しみにしておりました。三上先生がサンプルとして持参してくださった製品の中には、普段テ

レビコマーシャルで見慣れている薬剤から、普段の業務でこんな薬剤があったら良いのにと感じていた薬剤に至るまで、多種多様にありました。



ご講演では、OTCの種類や成分、OTCにおける国内外の副作用報告、海外の薬局事情、普段私があまり実感せずに働いているお金の話など、様々な興味深い話をさせていただきました。その中でも、私が興味を惹かれたものは、患者さんから寄せられた副作用報告でした。現在、薬局も多く存在し、そのうえインターネットが発達して、様々な場所・方法で、患者さんやお客さんはOTCを含めた薬剤やサプリメントの入手が安易に可能となりました。一方で、購入時に医療従事者の目が届きにくくなり、その結果、正しくない使用法や副作用が引き起こされています。また今後、スイッチOTCがますます増え、薬剤師による、より重要な薬剤の選択が求められ、薬剤師としての資質や重要性が問われていく時代に突入していくことが安易に予測できます。

そこで、薬剤師としての基本である医薬品の適正使用の面からも、患者さんやお客さんには、お薬手帳を所持していただき、医療用医薬品の記載だけでなく、OTCやサプリメントの購入時についても確認し、記載することが必要だと痛感しました。また、かかりつけ薬局では、様々な薬剤の購入歴や家族構成・生活環境が把握でき、その薬剤を販売するのが本当に適切かどうかの判断ができることの必要性・重要性を再認識できました。

これからもOTCの重要性をしっかりと認識したうえで、日常業務を行っていこうと感じ、刺激を受けた勉強会でした。

最後に、次回の知っピン月イチ勉強会のご案内をさせていただきます。次回の勉強会は、5月8

日（水）に、五日市記念病院の荒川先生をお招きして、「市中でみられる感染症の予防と治療」のテーマでご講演いただきます。19時半より、広島県薬剤師会館での開催です。日常業務において、感染症予防の指導によりヒントが得られればと思います、私も非常に楽しみにしています。当日、多くの方のご参加をお待ちしております。

広島県女性薬剤師会



会長 松村 智子

2月23日（土）第20回女性薬剤師会研修会がありました。今回のテーマは「乳がんの疫学・診断・治療について」で、講師は日本化薬㈱大阪学術部上野幸一先生です。乳がんの初発と再発での治療を詳しく学びました。乳がん治療はどんどん進歩していますが、再発がんへの治療は複雑です。初期がんを見つけ、早く治療を開始することが最大かつ最良の治療と再確認しました。がん検診サポート薬剤師として、がん検診の大切さを広く伝えなければと思いました。

3月14日（土）の役員会では、これからの女性薬剤師会の行事について日程などを決めました。5月19日（日）救急救命実習をします。6月15日（土）第21回女性薬剤師会研修会を開催します。いずれも、広報しますが、詳しくはお問い合わせ下さい。役員会の後、すずめ勉強会をしました。すずめ勉強会では、いつもは自分たちでテーマを立て、本の読み合わせなどをして勉強していますが、今回は特別に、薬務課の先生に講師をお願いして、違法ハーブについて勉強しました。合法ハーブとか脱法ハーブとか法律を意識した名称は「やばいぞ」と感じるからこそその単語と理解しました。興味本位や遊び半分が命取りです。良くない団体の資金源となること、どんなに言い訳しても人間を壊すものということを強く訴え、身近なところからきちんと伝えていくことが大切です。

広島漢方研究会

大好評！ 3月月例会 “漢方初級講座”（2回目）

理事長 鉄村 努



広島漢方研究会では、2月月例会より『漢方入門以前～初歩から始める漢方講座』と題して“漢方初級講座”

を23回シリーズで開講致しました。

講師は漢方薬局誠宏堂（三原市・開局24年）の小林宏先生で、福山大学薬学部非常勤講師であり、数々の研究会などで長年講師を務めておられる実績のある先生です。3月10日（日）の月例会では55名の参加があり、会員以外に26名の方がオープン参加されました。



3月のテーマは『漢方医学による便秘の治療は便の硬さがキーポイント』で、東洋医学からみた便秘の考え方や繁用される大黃剤について漢方初心者の方にも解り易く情熱的に語っていただきました。毎月テーマが違うので途中から参加されても十分に役に立つ漢方知識が身につくと思いますのでぜひお気軽にご出席ください。

【4月以降の講座予定】 1時限目 9：30～11：00

4月 小柴胡湯はもともと風邪の薬だったのです（柴胡剤）

5月 胃腸のパワー不足で起こる諸症状（人參剤）～代表処方・六君子湯

6月 水の巡りが引き起こす諸症状（茯苓剤）～代表処方・五苓散

月例会2時限目は『大塚敬節著 漢方診療三十年』講義。講師は当会誌の表紙の薬草写真を撮影



されている吉本悟先生（薬王堂漢方薬局）で薬草に大変詳しく、毎月生の薬草を採取してきて参加者を楽しませてくれます。

3月には釣藤散や抑肝散の中心生薬であるカギカズラ（釣藤）を持ってきていただきました。

3時限目は勝谷英夫先生（勝谷漢方薬局）で『漢方診療医典』の講義。



最後の4時限目は川中武司先生（川中医院・院長）に『小児と漢方』についての講義を頂き、漢方三昧な1日となりました。



また5月の月例会では、薬局製剤「五苓散」「散剤」の製剤実習を予定しています。

月例会にはオープン参加も可能です。（参加費3,000円・漢方薬・生薬認定薬剤師シール3点）ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。

詳細は広島漢方研究会ホームページ、広島県薬剤師会ホームページ研修会カレンダー、または事務局までお問い合わせください。

広島漢方研究会事務局：薬王堂漢方薬局

TEL：082-285-3395

広島県学校薬剤師会

会長 永野 孝夫



1. 平成25年度県学薬総会の開催について

広島県学校薬剤師会総会を役員、支部長、代表者の参加によって5月23日(木)午後7時より薬剤師会館で開催致します。

本年は、他の会議、大会等によって土日に開催することが出来ず木曜日の夜になりましたことをお詫びいたします。

2. 平成25年度学校薬剤師関係 大会、研修会

- ・くすり(仮称)教育研修会
7月3日 東京・都市センターホテル
- ・日本薬剤師会学術大会
9月22・23日 大阪市
- ・学校環境衛生・薬事衛生研究協議会
9月5・6日 徳島市あわぎんホール
- ・学校薬剤師研修会
10月6日 千葉市
10月20日 山口市
- ・全国学校保健研究大会
11月7・8日 秋田市
- ・全国学校薬剤師大会
11月7日秋田市秋田ビューホテル
- ・全国学校薬剤師担当者会議、学校環境衛生研究協議会等は未定

3. 日学薬ホームページについて

日学薬が日薬と一体化された事によって日薬のホームページへ学校薬剤師部会として会員向け情報、情報提供、通知として掲載されています。

- ・DVD「医薬品とは一高等学校医薬品教育用教材」学校薬剤師用手引き
- ・平成24年度学校薬剤師研修会資料
- ・学校薬剤師のための災害対策小冊子
- ・「くすりの正しい使い方教育」及び「薬物乱

用防止教育」の手引き書

- 平成23年度全国学校保健調査報告書
- 学校環境衛生臨時検査表

等々が会員情報として掲載されていますので一度ご覧下さい。

広島県医薬品卸協同組合 ＜日本医薬品卸勤務薬剤師会広島県支部＞



株式会社セイエル

呉営業所 土井 啓介

私が医薬品卸に勤務してから今年の4月で18年になりました。勤務先も合併・統合等で2回変わり、転勤で営業所も数回変わりました。現在勤務している呉営業所はセイエルになってからの勤務で3年目になります。卸の仕事については、多くの方が今まで投稿されていますので、ちょうど今年の1月に、広島国際大学の薬学生（5年生）3名の方が薬局実習の一環で、卸の仕事についてもどのようなものかということで見学に来られたので、そのことについて少し書いてみたいと思います。

まず、卸の仕事については、簡単に卸の役割、商品の流れ（流通業について）、法的なこと（薬事関連法規について）、管理薬剤師の業務につい

てなどを会社が作成した資料を用いて簡単に説明しました。話だけではわかりにくいので実際に倉庫に行き、見学・体験してもらいました。倉庫では商品の流れ（入庫・出庫・検品等）や陳列方法、保冷库・倉庫内の温度管理のことなど品質管理の状況についても見てもらいました。体験として、商品の出庫・検品（バーコード検品）を、実際に体験してもらいました。特に商品については、同一の商品名においてもmg数、包装規格によりいろいろな規格があるので1つの商品名でも十数種類の規格があることを実際に陳列棚の商品を手に取り確認してもらいました。また、ジェネリック医薬品についてもジェネリック医薬品メーカーの棚を見てもらい種類や商品名等や商品を確認してもらいました。管理薬剤師の仕事についても、DIのことや管理業務について、時間が限られていましたが、簡単に体験してもらいました。

最後に、この度薬学生を迎え感じたことは、今の薬学生はこのような機会があり、いろいろ体験し学ぶことができるので、将来、薬剤師として仕事を選ぶときとても参考になるのではないかと思います。またこのような機会があったときは、卸の仕事・管理薬剤師の業務が少しでも参考になれば良いと思います。



◆◆◆◆◆ 研 修 だ よ り ◆◆◆◆◆

薬剤師を・対象とした各種研修会の開催情報をまとめました。

他支部や他団体、薬事情報センターの研修会については、準備の都合もありますので事前にお問い合わせください。詳しくは研修会カレンダー（<http://www.hiroyaku.or.jp/sche/schedule.cgi>）をごらんください。

広島県の研修認定薬剤師申請状況

平成25年3月末日現在 1,240名(内更新415名)

開催日時 研修内容・講師	開催場所	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
5月7日(火) 19:30～21:00 福山支部シリーズ研修会 テーマ:「医薬品の適正使用に役立つ薬剤学・製剤学の知識」(全3回) 医薬品添付文書を読み解き、最善の薬物治療を展開するには、副作用や薬物相互作用の発現機構を理解しておく必要があります。また、医薬品の効果を上手に引き出すには、製剤の仕組みをよく理解しておく必要があります。薬剤学・製剤学は最前線で活躍する薬剤師を支える重要な学問・知識体系です。 演 題:「インタビューフォーム・重要な情報源」 要 旨:添付文書、そしてインタビューフォーム、私たち薬剤師にとって見慣れた文書ですが、そこには、ふだんあまり気に留めていなかった重要な情報も隠されています。薬物動態学・製剤学の観点からもう一度整理してさらに利用度アップを目指します。	福山大学社会連携研究推進センター	(社)福山市薬剤師会 084-926-0588	1	研修費:一般1,000円 【JPALS研修会コード 34-2013-0019-101】
5月8日(水) 19:30～21:00 知っピン月イチ勉強会 テーマ:「市中でみられる感染症の予防と治療」 講 師:医療法人社団清風会 五日市記念病院 荒川隆之先生 5月には、感染制御認定薬剤師と抗菌化学療法認定薬剤師の資格をお持ちの、五日市記念病院 荒川隆之先生をお迎えします。高齢者で多くみられる感染症である尿路感染症や呼吸器感染などを中心に、抗菌薬の選び方や、耐性菌を増やさないための取り組みなどについてお話いただく予定です。 ※青年薬剤師会の勉強会は会員・非会員を問わずご参加頂けます。 また、参加に年齢制限はございません。ご興味ある方は是非ご参加ください。	広島県薬剤師会館 2階研修室	広島県青年薬剤師会 学術委員会	1	参加費:青年薬剤師会 会員500円、非会員1000 円、学生無料 【JPALS研修会コード 34-2013-0014-101】
5月10日(金) 19:30～21:00 福山大学宮地茂記念館 9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会 一明日の治療に役立つ分かり易い漢方一 演 題:漢方医学による便秘の治療(大黃剤) ※4～6月は初級者の入門編 講 師:小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト:病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店) ※どの時期から参加しても非常に分かり易いユーモラスな研修会で す。漢方を全く知らない人でも気軽にご参加下さい。	福山大学宮地茂記念館 9階プレゼンテーションルーム	福山大学薬学部 084-936-2112 (5165) 福山大学薬学部 岡村	1	受講料500円 ※事前予約は不要。 アクセス:福山駅北口徒 歩1分 ※駐車場はございませ ん。最寄りの駐車場を ご利用下さい。 【JPALS研修会コード 34-2013-0011-101】
5月11日(土) 14:00～ エソール広島 県病薬総会 第57回広島県病院薬剤師会総会 薬剤管理指導研修会	エソール広島	広島県病院薬剤師会 事務局 082-257-5572	1	
5月12日(日) 9:30～16:30 広島県薬剤師会館 第573回広島漢方研究会月例会 9:30～11:00 『漢方入門以前～初歩から始める漢方講座』(第4回)小林宏 一胃腸のパワー不足で起こる諸症状(人参剤)～代表方剤・六君子湯一 11:00～12:30 『大塚敬節著・漢方診療30年』解説 吉本悟 13:30～15:00 『勿誤薬室方函口訣』解説 山崎正寿 15:00～16:00 『薬局製剤実習』一五苓散一 木原敦司	広島県薬剤師会館	広島漢方研究会 テツムラ漢方薬局 082-232-7756	3	会員無料、会員外の当 日参加:3,000円 予約不要
5月15日(水) 19:00～21:00 三原医薬分業支援センター 三原薬剤師会館 平成25年度第2回三原支部研修会 「心不全チームにおける病棟業務の新たな役割」 トアエイヨー株式会社	三原医薬分業支援センター 三原薬剤師会館	三原薬剤師会 0848-61-5571	1	会費 非会員¥1,000

開催日時 研修内容・講師	開催場所	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
5月16日(木) 19:30~21:00 尾道漢方研究会 「消化器疾患の漢方治療」 講師：小太郎漢方(株)学術情報課 野崎智聡 「柴胡剤の運用」 講師：田辺クリニック 院長 田辺泰登先生	しまなみ交流館 2階大会議室	尾道薬剤師会 小太郎漢方製薬株式会社 0848-44-7760	1	尾道支部会員無料、非会員500円 【JPALS研修会コード 34-2013-0023-101】
5月18日(土) 15:00~17:00 第460回薬事情報センター定例研修会 1)薬事情報センターだより 2)情報提供「ニュープロパッチについて」 大塚製薬株式会社 学術・応用開発課 大谷美佐子 3)特別講演「パーキンソン病の診断と治療」 広島大学病院 脳神経内科診療准教授 高橋哲也先生	広島県薬剤師会館 4階	(社)広島県薬剤師会 薬事情報センター 082-243-6660	1	参加費：1,000円 できれば事前申し込みをお願いいたします。 【JPALS研修会コード 34-2013-0012-101】
5月19日(日) 13:00~16:00 ひろしま桔梗研修会 「薬剤師が知っておきたい糖尿病 ～経口糖尿病薬を中心に症例を交えて～」 講師：大西順子先生(水島協同病院 薬剤部主任 糖尿病指導士) 申込み：下記メールアドレスへ、氏名、連絡先、出身校、勤務先を記載して下さい。(締切り：5月7日) d-hiro@kobepharmaceutical-u.ac.jp ※今回はグループ学習のため、勤務先(病院、調剤薬局等)を必ず記載して下さい。医薬品集と電卓があれば持参下さい。	広島県薬剤師会館 4階ホール	神戸薬科大学広島生涯研修企画委員会 090-7507-3902	2	参加費：1,000円
5月22日(水) 18:45~21:00 尾道市立市民病院新館 4階大会議室 第5回尾道在宅支援講習会Vol.2 「三原薬剤師会の在宅への取り組み」 三原薬剤師会センター薬局 薬剤師 森広亜紀 「がん性疼痛」 三原赤十字病院 がん性疼痛看護認定看護師 伊藤美有紀 「せん妄、不穏症状」 三原市医師会病院 緩和ケア認定看護師 助信かな 「口腔ケア」 尾道総合病院 緩和ケア認定看護師 藤原ちえみ 「呼吸困難感」 尾道市立市民病院 緩和ケア認定看護師 黒河香織 「消化器症状」 みつぎ総合病院 緩和ケア認定看護師 後藤直美	尾道市立市民病院新館 4階大会議室	三原薬剤師会 尾道薬剤師会 尾道三原地区緩和ケア薬学研究会 塩野義製薬(株) 0848-44-7760	1	兼 第10回尾道三原地区緩和ケア薬学研究会 参加費 100円 【JPALS研修会コード 34-2013-0025-101】
5月23日(木) 19:20~21:00 第148回広島佐伯支部集合研修会 19:20~19:30 薬剤師会から報告事項 会長 樽谷嘉久 19:30~21:00 演 題：「地域における医薬品適正使用を目的とした住民啓発活動について」「薬物乱用防止教室の進め方と話すポイント」 講師：広島佐伯薬剤師会理事八幡アゼリア薬局 池田和彦先生 ※第148回研修会は、「地域における医薬品適正使用を目的とした住民啓発活動について」という演題で、八幡アゼリア薬局の池田先生にご講演いただきます。また、併せて学校薬剤師による薬物乱用防止教室の進め方についても話していただく予定です。	佐伯区民文化センター	広島佐伯薬剤師会 事務局 TEL・FAX 082-924-5957	1	【JPALS研修会コード 34-2013-0015-101】
5月29日(水) 19:00~20:45 尾道 生活習慣病関連講演会 「糖尿病の病態機序と治療Update」 徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター特任教授 松久宗秀先生	尾道国際ホテル 2階「慶安の間」	尾道市医師会 尾道薬剤師会 小野薬品工業(株) 0848-44-7760	1	参加費：尾道薬剤師会 会員無料、非会員500円 事前申込不要 【JPALS研修会コード 34-2013-0022-101】
6月5日(水) 19:00~20:45 尾道 生活習慣病関連講演会 「生活習慣病合併骨粗鬆症について」 帝京大学ちば総合医療センター第三内科 教授 岡崎亮 先生	尾道国際ホテル 2階「慶安の間」	尾道市医師会 尾道薬剤師会 MSD株式会社 0848-44-7760	1	事前申込不要 会費：尾道支部会員無料、非会員500円 【JPALS研修会コード 34-2013-0026-101】

開催日時 研修内容・講師	開催場所	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
6月8日(土) 15:00~17:00 広島県薬剤師会館4階 第461回薬事情報センター定例研修会 1)薬事情報センターだより 2)情報提供「シムジア皮下注200mgシリンジ」 アステラス製薬株式会社 3)特別講演「関節リウマチにおける最新の治療戦(仮)」 県立広島病院 呼吸器内科・リウマチ科 部長 前田裕行 先生		(社)広島県薬剤師会 薬事情報センター 082-243-6660	1	参加費:1,000円 できれば事前申し込み をお願いいたします。
6月9日(日) 9:30~16:30 広島県薬剤師会館 第574回広島漢方研究会月例会 9:30~11:00 『漢方入門以前〜初歩から始める漢方講座』(第5 回) 小林宏 一水の巡りが引き起こす諸症状(苓 朮剤) 一五苓散 11:00~12:30 『大塚敬節著・漢方診療30年』 解説 吉本悟 13:30~15:00 『小児の漢方治療』 講義 川中武司 15:00~16:00 『漢方薬局の店頭経験』 講師 鉄村努		広島漢方研究会 テツムラ漢方薬局 082-232-7756	3	会員無料、会員外の当 日参加:3,000円 予約不要
6月14日(金) 19:30~21:00 福山大学宮地茂記念館9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会 一明日の治療に役立つ分かり易い漢方一 演 題:小柴胡湯をめぐる諸問題(柴胡剤) ※4~6月は初級者の入門編 講 師:小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト:病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店) ※どの時期から参加しても非常に分かり易いユーモラスな研修会です。漢 方を全く知らない人でも気軽にご参加下さい。		福山大学薬学部 084-936-2112(5165) 福山大学薬学部 岡村	1	受講料500円 ※事前予約は不要。 アクセス:福山駅北口 徒歩1分 ※駐車場はございませ ん。最寄りの駐車場を ご利用下さい。 【JPALS研修会コード 34-2013-0020-101】
6月22日(土) 14:00~16:10 広島大学薬学部2階 第3講義室 第129回 日本薬学会中国四国支部例会 ■講演会(参加費無料) 14:00~14:30『コアカリに準拠した臨床実習を終えて』広島大学 薬学部薬学科 6年次生 14:30~15:20『薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について』 広島大学医歯薬保健学研究院教授 太田茂 15:20~16:10『実践的能力を備えた薬剤師養成を目指して〜学部 から卒業まで〜』 広島大学医歯薬保健学研究院教授 小澤光一郎 ■懇親会:16:30~ 会 場:広島大学霞会館食堂 参加費:3,000円 世話人代表:広島大学医歯薬保健学研究院教授広島大学薬学部長 杉山政則		日本薬学会 中国四国支部 広島大学医歯薬保健 学研究院教授 松浪 勝義 (082)257-5335	1	
6月22日(土)・23日(日) 広島国際会議場 病診研修会 広島会場 平成25年度病院診療所薬剤師研修会 詳細、申し込みは以下のページをご確認ください。 http://www.hshp.jp/modules/member_i/details.php?bid=290		広島県病院薬剤師会 研修会係 広島大学病院薬剤部 木村 082-257-5574	6	
6月30日(日) 13:00~16:00 廣仁会館(広島大学霞キャンパス内) 平成25年度ヒロシマ薬剤師研修会 講演1(90分) 「歯周病を取り巻く最近のトピックスと糖尿病の新たな薬の発見 にまつわる話」 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野 教 授 西村 英紀 講演2(90分) 「乳酸菌の保健機能研究と未病改善への挑戦」 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授 杉山政則		広島県薬剤師 研修協議会 共催:広島大学薬学 部、広島県薬剤師会、 広島県病院薬剤師 木下(082-246-4317)	2	会費:1,000円 (学生:無料)

第2回急性増悪・終末期での 医療選択をめぐる討論会

テーマ

「手術から終末期までの臨床経過からみた
医療選択と医療連携」



概 要

医療資源が限られている中での医療選択や医療連携では、その時の病態をどのように理解し、それに対してどのような対応が可能であるかという点に医療者の立場は大きく左右される。また患者の立場からは身体的な課題だけでなく不安をはじめとする精神的な側面や家族関係にも注意をしなければならぬ。その上で在宅医療システム、医療費など患者や医療者を取り巻く多くの解決しなければならない点もあるだろう。そこでは患者と医療者の関係を急性期病院と地域の間でどのようにつなげていくかも解決を迫られる課題である。

今回は肺癌患者の臨床像を追いながら、その節目で我々は何を考えなければならないのかについて考えてみたいと思う。呼吸器専門医、緩和ケア専門医、急性期病院並びに訪問看護ステーションの看護師、医療を専門とするマスコミ関係者に加えて患者代表の方にも発言をお願いするつもりである。

次 第 (案)

症例提示：「肺癌例における医療選択と医療連携」池上靖彦：広島赤十字・原爆病院 呼吸器科

司 会：有 田 健 一

(広島県医師会常任理事、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会中国四国支長)

討 論 者：土 井 美帆子 (県立広島病院臨床腫瘍科)
北 口 聡 一 (広島市立安佐市民病院臨床腫瘍科)
大 橋 信 之 (大橋内科)
古 谷 和 久 (コールメデイカルクリニック広島)
小早川 誠 (広島大学精神科、緩和ケアチーム)
武 藤 純 (広島市立広島市民病院緩和ケア科)
札 埜 和 美 (がん看護専門看護師)
松 井 富 子 (訪問看護ステーション看護師)
山 内 雅 弥 (中国新聞客員論説委員、広島大学)
佐々木 佐久子 (がん体験者の会「とま〜れ」)

日 時：平成25年5月9日(木)午後6時30分～

場 所：広島医師会館講堂(広島市西区観音本町1-1-1)

参加者：この領域に興味を持つ医療者

参加費：無 料

問合先：広島県医師会地域医療課

TEL(082)-232-7211

共 催：広島県医師会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会中国四国支部会

後 援：広島県(予定)



ひろしま桔梗研修会のご案内

“糖尿病のグループ学習第3弾！”

前回のインスリン・自己血糖測定に続いての、“糖尿病”のグループ学習です。血液検査、患者背景情報等より、診断から処方まで、グループで検討してみましよう。初心者の方も、日頃の業務に役立つ研修です。是非、ご参加ください。

日 時： 平成25年5月19日（日） 13：00～16：00
受付 12：30～

場 所： 広島県薬剤師会館4Fホール
広島市中区富士見町11-42 TEL(082)246-4317

テーマ：『**薬剤師が知っておきたい糖尿病**
～経口糖尿病薬を中心に症例を交えて～』

講師： 水島協同病院 薬剤部主任 糖尿病療養指導士
大西 順子先生

参加費： 1,000円

申込み： 下記のメールアドレスへ、氏名、連絡先、出身校、勤務先を記載してください。
d-hiro@kobepharma-u.ac.jp

- ※ 締切 5月7日
- ※ 尚、今回はグループ学習のため、勤務先（病院、調剤薬局等）を必ず記載してください。
- ※ また、当日使用しますので医薬品集と電卓があればご持参ください。
- ※ 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定2単位

主 催： 神戸薬科大学
広島生涯研修企画委員会

問合せ： 倉田 薫 090-7507-3902
森川薬局対巖山店 0829-56-1913

次回7月研修会のお知らせ！

今回は、広島市民病院 乳腺外科の大谷先生と、その患者さんへの薬剤師外来を実施されている薬剤部の先生をお呼びしています。

日時：平成25年7月7日（日）13：00～16：00

場所：広島県薬剤師会館4F

演題：「服薬指導に役立つ乳癌薬物療法」

講師：広島市民病院 乳腺外科
大谷 彰一郎先生 （認定2単位）

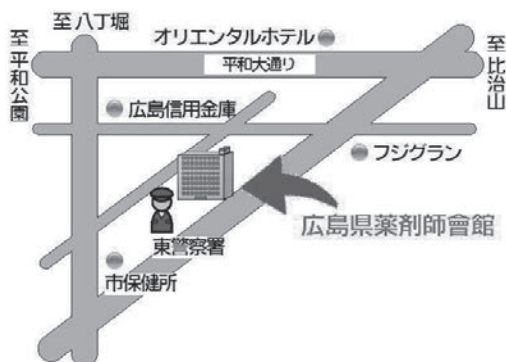


新薬剤師研修会2013

共催：広島県薬剤師会 広島県薬剤師研修協議会

平成 23 年～25 年に国家試験を合格された皆さまに送る、職場を越えた新しい仲間との交流が
グッと深まる研修会のご案内です。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 6 月 2 日(日) 14 時より
会場 広島県薬剤師会館 4 階ホール
(中区富士見町 11-42)
(フジグラン広島近く)
八丁堀から徒歩 10 分)



内容

14:00 第一部

「色で変わる・色で変える！色から考えるあなたの身だしなみ」

講師：カラーアナリスト 中浜 祐子さん

自分が元気に見える色、相手に好感を持ていただける色を知ること、もっと素敵に、もっとカッコいい薬剤師になってみませんか？簡単なコツを楽しく教えていただく予定です♪

※13:00～14:00 にイベントとして、メイク講座(女性限定)を行います。あわせてご参加ください。

15:30 第二部「薬剤師の職能・薬剤師会のはたらき」

16:30 第三部「若手薬剤師対抗・広がる薬剤師の世界プレゼンショー」

様々な職能や資格を持つ若手薬剤師が、日常業務のここだけトークを当日限定で公開！

17:30 懇親会

日本薬剤師研修センター研修認定制度による認定研修会です

参加希望の方は 5 月 20 日(月) 17 時まで にお申し込みください。

申込先：(社)広島県薬剤師会事務局 木下

TEL：082-246-4317 FAX：082-249-4589

Mail：kinoshita@hiroiyaku.or.jp

新薬剤師研修会に参加希望 ☐ 研修会のみ ☐ 研修会・懇親会とも (☑印をつけてください)

お名前 _____ 性別 男性 ・ 女性 (○をつけてください)

勤務先 _____

☆会員外の方でも OK です、お友達とお誘い合わせの上、是非ご参加ください☆

第129回 日本薬学会中国四国支部例会

日時：平成 25年 6月 22日（土）14:00～16:10

場所：広島大学薬学部 2階 第3講義室

主催：日本薬学会 中国四国支部

■ 講演会（参加費無料）

14:00～14:30 『コアカリに準拠した臨床実習を終えて』
広島大学薬学部薬学科 6年次生

14:30～15:20 『薬学教育モデル・コアカリキュラムの
改訂について』
広島大学医歯薬保健学研究院教授 太田 茂

15:20～16:10 『実践的能力を備えた薬剤師養成を目指して
～学部から卒後まで～』
広島大学医歯薬保健学研究院教授 小澤 光一郎

*薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度 1 単位です

■ 懇親会: 16:30～

会場：広島大学霞会館食堂
参加費：3,000円

世話人代表：広島大学医歯薬保健学研究院教授
広島大学薬学部長 杉山 政則

連絡先：広島大学医歯薬保健学研究院教授 松浪 勝義
〒734-8553 広島市南区霞 1 - 2 - 3
TEL: 082-257-5335
E-mail: matunami@hiroshima-u.ac.jp

平成25年度 ヒロシマ薬剤師研修会

広島県薬剤師研修協議会では、薬剤師としてご活躍の皆様の生涯研修として役立つ話題・情報の提供のため、下記の通り平成25年度ヒロシマ薬剤師研修会を開催致します。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

主 催：広島県薬剤師研修協議会

共 催：広島大学薬学部、広島県薬剤師会、広島県病院薬剤師会

日 時：平成25年6月30日（日）13：00～16：00

会 場：廣仁会館（広島大学霞キャンパス内）

参加費：1,000円（学生：無料）

研修会プログラム

講演1（90分）

「歯周病を取り巻く最近のトピックスと 糖尿病の新たな薬の発見にまつわる話」

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野

教授 西村 英紀

講演2（90分）

「乳酸菌の保健機能研究と未病改善への挑戦」

広島大学大学院医歯薬保健学研究院

教授 杉山 政則

- ・ 日本薬剤師研修センターの生涯研修単位を申請中です。
- ・ 日本及び広島県病院薬剤師会の生涯学習2単位です。

問い合わせ先 木平 健治 広島大学病院薬剤部
電話：082-257-5570

会員発表支援について

広島県薬剤師会では、例年、学術大会における本会会員の研修発表に対して旅費等の支援を行っています。発表される方は、次の要領でご応募下さい。

1. 支援対象学術大会

- 1) 第46回日本薬剤師会学術大会（大阪市）

会期：平成25年9月22日（日）・23日（祝・月）

会場：グランキューブ大阪（大阪市北区中之島5-3-51）ほか

- 2) 第52回日本薬学会日本薬剤師会日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会（松江市）

会期：平成25年10月26日（土）・27日（日）

会場：松山大学文京キャンパス（愛媛県松山市文京町4-2）

2. 支援対象者数：各学術大会5名以内（但し、支援は発表者のみとし、二重支援はいたしません。）

3. 応募方法：応募者は、発表予定学術大会名、発表題名、発表者名、演題要旨を、県薬事務局（担当：木下 kinoshita@hiroyaku.or.jp）までメールにて送付して下さい。

4. 応募締切：平成25年7月31日（水）

5. 採否について：採否は、学術・研修および保険薬局部会研修担当者から選任された先行委員により決定し、応募者にご連絡いたします。

6. 附記：採択された研究発表は、本年呉市で開催する第34回広島県薬剤師会学術大会（11月10日）において発表（口頭のみ）していただきます。

問い合わせ先：広島県薬剤師会事務局

〒730-8601

広島市中区富士見町11-42 広島県薬剤師会館内

TEL：（082）246-4317（代）

E-mail：kinoshita@hiroyaku.or.jp

第34回広島県薬剤師会学術大会 演 題 募 集

テーマ：「**Toward the most reliable Profession !**」

会 期：平成**25**年**11**月**10**日（日）

会 場：広島国際大学呉キャンパス

〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1

主 催：社団法人広島県薬剤師会

共 催：広島国際大学薬学部

参加費：予約 **2,000**円 当日 **3,000**円 学生（社会人を除く）は**無料**
（参加の振込用紙は次回県薬会誌9月号に折り込みます）

* 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定対象研修会の予定です。

～ 会 員 発 表 の 募 集 ～

1. 発表の形式について

- 1) 口答発表：1 演題12分（発表10分・質疑2分）
- 2) アイデアプレゼンテーション：1 演題5分（発表5分・質疑なし）
今年からの新企画です。薬局・病院等で取り組んでいる業務上のアイディアを5分間で紹介してください。
- 3) ポスター発表

2. 発表の内容について

- 1) 薬局・病院等における薬剤師の日常業務と今後のあり方
- 2) 保健・医療・福祉分野での地域との関わり
- 3) 患者への情報提供活動や情報収集
- 4) 医薬品に関する調査・研究
- 5) 学生実習の受け入れ
- 6) 災害時の対応
- 7) その他、日常業務に参考となるもの

3. 申込期限：平成25年8月30日（金）まで

発表要旨は9月20日（金）必着

4. 申込方法：

ホームページより申込書をダウンロードして、ご記入の上、お申し込みください。

ホームページ：<http://www.hiroyaku.or.jp>

5. 申込先：社団法人広島県薬剤師会

第34回広島県薬剤師会学術大会実行委員会

広島県薬剤師会会員の皆様へ

中途加入用

所得補償制度(団体総合生活保険)のご案内

手続きカンタン。

割安な保険料であなたの暮らしを補償します。

※この保険は病気やケガで働けなくなった場合に給与の一部を補償する保険です。
生活費の実費を補償するものではありません。

1口当りの月払保険料

保険期間:2012年8月1日から2013年8月1日まで

中途加入の場合:申込手続きの日の翌月1日より補償開始

■基本級別1年

(型:本人型、団体割引5%、保険期間1年、てん補期間1年)

補償月額		10万円	
タイプ		Aタイプ 免責期間4日	Bタイプ 免責期間4日 入院のみ免責0日特約
月 払 保 険 料	15歳～19歳	750円	600円
	20歳～24歳	1,100円	880円
	25歳～29歳	1,210円	980円
	30歳～34歳	1,410円	1,210円
	35歳～39歳	1,700円	1,490円
	40歳～44歳	2,050円	1,850円
	45歳～49歳	2,430円	2,170円
	50歳～54歳	2,840円	2,510円
	55歳～59歳	3,050円	2,680円
	60歳～64歳	3,210円	2,790円

おすすめ!

入院による就業不能には1日目から保険金をお支払い

免責期間(保険金をお支払いしない期間)を定めたプランに加えて、入院による就業不能となった場合に1日目から保険金をお支払いする「入院による就業不能時追加担保特約」(特約免責期間0日)をセットしたプランも選べいただきます。

保険期間開始前に既にかかっている病気・ケガにより就業不能になった場合には、本契約の支払い対象とはなりません。(ただし、新規ご加入時の保険期間(保険のご契約期間)開始後1年を経過した後に開始した就業不能については、保険金お支払いの対象となります。)

入院とは、治療が必要であり、かつ自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。

(社団法人)広島県薬剤師会会員のみなさまに補償をご用意。
会員やご家族のみなさまの福利厚生に、ご加入をご検討ください。

このチラシは団体生活総合保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
ご不明な点がある場合には、パンフレット記載にお問合せ先までお問合せ下さい。

引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社

制度の特徴

1

24時間ガード！

業務中はもちろん業務外、国内および海外での病気、ケガによる休業を補償



2

5%の割引が適用されます！

※団体割引：5%



3

天災危険担保特約セット！

地震・噴火またはこれらによる津波によって被ったケガによる休業も補償します。



4

ご加入の際、医師の診査は不要です！

別紙の加入依頼書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。
※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受条件によってご加入いただくことがあります。



5

充実したサービスにより安心をお届けします！（自動セット）

「メディカルアシスト」「デイリーサポート」サービスの詳細は後記「サービスのご案内」をご参照ください。

サービスのご案内

「日頃の様々な悩み」から「もしも」のときまでバックアップ！
東京海上日動のサービス体制なら安心です。

・メディカルアシスト

お電話にて各種医療に関する相談に応じます。
また、夜間の緊急医療機関や最寄りの医療機関をご案内します。



・デイリーサポート

介護・法律・税務に関するお電話でのご相談や暮らしのインフォメーション等、役立つ情報をご提供します。



ご加入手続きについて

代理店 広医欄までご連絡ください。追って加入依頼書をお送りします。

(TEL:082-232-8800 FAX:082-294-1868)

●健康状態等の告知だけの簡単な手続きです。(医師による診査は原則不要)

●1か月の補償額とプラン(※1)をお決めください。

(原則50万円補償まで。「入院のみ免責0日タイプ」もお選びいただけます。)

※1 所得補償保険金額が事故直前12か月間の平均月間所得額よりも高いときは平均月間所得額を限度に保険金をお支払いいたしますのでご注意ください。(他の保険契約または共済契約から保険金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。)

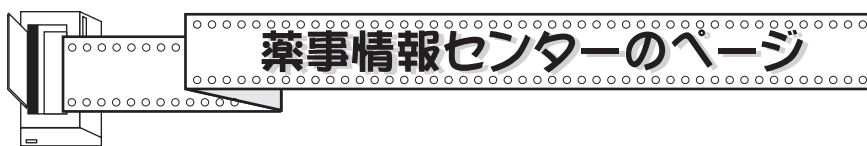
●薬剤師会会員ご本人様のほか、会員のご家族(※2)も加入することができます。

(個別に加入依頼書をご記入願います)

※2 ご家族とは、会員の方の配偶者、子供、両親、兄弟および会員の方と同居している親族をいいます。

●保険料の払い込みは加入翌月より毎月27日にご指定口座からの自動引き落としで便利です。

●残高不足等により2ヶ月続けて口座振替不能が発生した場合等には、そのご加入者の残りの保険料を一括して払込み頂くことがありますので、あらかじめご了承下さい。



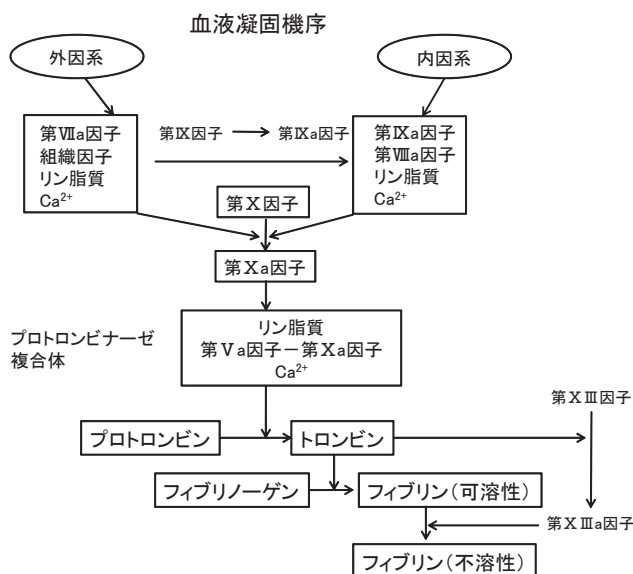
原田 修江

新規経口抗凝固薬について

抗凝固薬は血漿中の凝固カスケードの構成酵素に作用する薬剤です。長年に亘り、ワルファリンが唯一の経口抗凝固薬でしたが、2011年から現在までにワルファリンとは作用機序の異なる4種類の経口抗凝固薬が次々と発売され、治療の選択肢が一気に広がりました。

◆血液凝固カスケードと新規経口抗凝固薬の作用部位

ワルファリンは複数の凝固因子（Ⅱ、Ⅶ、Ⅸ、Ⅹ）の働きを阻害するのに対し、新規抗凝固薬は活性化第Ⅱ因子（トロンビン）や活性化第Ⅹ因子（第Ⅹa因子）など単一の凝固因子を標的としてこれらを阻害します。トロンビンは凝固カスケードの最下位に位置し、フィブリノゲンをフィブリンに変換する酵素で、血栓形成の中心的な凝固因子です。また、第Ⅹa因子は内因系凝固反応と外因系凝固反応との合流点に位置しており、凝固カスケードのゲートキーパーと呼ばれる重要な凝固因子です。



◆新規経口抗凝固薬の適応と体内動態について

現在国内で市販されている新規経口抗凝固薬は、ダビガトラン（プラザキサ®）、エドキサバン（リクシアナ®）、リバーロキサバン（イグザレルト®）、アピキサバン（エリキュース®）の4種類です。それぞれの薬剤の適応と体内動態は表1のとおりです。

ダビガトランはプロドラッグのダビガトランエテキシラートとして体内に吸収され、体内でダビガトランに変換され血中のトロンビンに結合します。フリーのトロンビン（可溶性トロンビン）だけでなくフィブリンに結合したトロンビンも不活性化するため、効率よく血栓形成を阻害します。トロンビンへの結合は可逆的であり、ダビガトランが血中から消失すると抗凝固作用も速やかに消失します。脳梗塞

リスクを有する非弁膜症性心房細動(NVAF)患者を対象として脳卒中、全身性塞栓症の発生予防について検討したRE-LY試験において、ワルファリンと比べて150mgで優越性が、100mgで非劣性が示されました。また、頭蓋内出血がワルファリンよりも有意に少ないことも示されました。一方で、下部消化管出血とデイスペプシアはワルファリンよりも発現頻度が高く、デイスペプシアは製剤中の酒石酸が一因として考えられています。

エドキサバン、リバーロキサバン、アピキサバンは第Xa因子を直接的、選択的、可逆的に阻害します。この中でエドキサバンのみ適応が異なります。エドキサバンは、股関節全置換術後の静脈血栓塞栓症(VTE)予防についてダルテパリンと比較した第Ⅲ相試験において、ダルテパリンに対する相対リスクの低下が示されました。一方で、出血症状の出現率は同程度に低値であることが示されたことから、国内で最初に膝/股関節術後のVTE発症抑制の適応を取得しました。なお、現在、心房細動に伴う血栓塞栓症の予防についての試験(ENGAGE AF-TIMI48)と、深部静脈血栓症、肺塞栓症患者におけるVTE予防についての試験(HOKUSAI VTE)が実施中です。

リバーロキサバンとアピキサバンは、ダビガトランと同様にNVAF患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制の適応を有しています。リバーロキサバンはバイオアベイラビリティがほぼ100%のため、薬剤の曝露量の個体差が小さい(そのため期待値より血中濃度が高値になるおそれも少ない)と考えられています。NVAF患者の脳卒中、非中枢神経系塞栓症予防について検討したROCKET-AFおよびJ-ROCKET-AF試験において、ワルファリンに対する非劣性が示されています。また、頭蓋内出血と致死性出血もリバーロキサバンのほうが少ないことが示されています。

アピキサバンはNVAF患者を対象としたARISTOTLE試験において、ワルファリンよりも脳卒中や非中枢神経系塞栓症を有意に抑制し、かつ大出血、全死亡も有意に少ないことが示されています。

ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバンは、海外では膝/股関節術後のVTE発症抑制の適応も取得しています。

◆新規経口抗凝固薬の腎機能障害者あるいは肝機能障害患者への投与について

新規経口抗凝固薬の腎機能障害者あるいは肝機能障害患者への投与については表2に示すとおりです。いずれの薬剤も腎機能の低下とともにAUCが増加するため、過量投与による出血に注意が必要です。ダビガトランについては2011年に安全性速報(ブルレター)が出され、投与前に必ず腎機能を確認するように注意が呼びかけられています。

◆新規経口抗凝固薬の投与禁忌、慎重投与、妊娠婦・授乳婦等への投与について

新規経口抗凝固薬の投与禁忌、慎重投与については表3に、妊娠婦・授乳婦等への投与については表4に示すとおりです。

◆新規経口抗凝固薬の薬物相互作用について

各新規経口抗凝固薬の薬物相互作用について表5に示します。いずれも凝固能に影響を及ぼす薬剤との併用には注意が必要です。また、いずれもP-糖蛋白の基質であるため、P-糖蛋白阻害・誘導作用のある薬剤との併用には注意が必要です。その他に、ダビガトランはCYPで代謝されませんが、エドキサバンは一部CYP3A4で代謝され、リバーロキサバンはCYP3A4とCYP2J2により、アピキサバンは主に

CYP3A4/5により代謝されるため、リバーロキサバンとアピキサバンはCYP3A4の誘導・阻害作用を持つ薬剤との併用にも注意が必要です。

表 1 新規経口抗凝固薬の適応と体内動態について

一般名		ダビガトランエテキシラート メタンスルホン酸塩		エドキサバントシル酸 塩水和物		リバーロキサバン		アピキサバン	
商品名		プラザキサ		リクシアナ		イグザレルト		エリキュース	
会社名		日本ベーリンガーインゲル ハイム		第一三共		バイエル薬品		ブリistol・マイヤーズ、 -ファイザー	
発売日		2011年3月14日		2011年7月19日		2012年4月18日		2013年2月26日	
剤形		カプセル		フィルムコーティング錠 (30mg錠は割線入)		フィルムコーティング錠		フィルムコーティング錠	
規格	薬価	75mg	132.6	15mg	397.4	10mg	372.4	2.5mg	144.9
		110mg	232.7	30mg	727.3	15mg	530.4	5mg	265.2
標的因子		トロンビン		X a因子		X a因子		X a因子	
効能・効果		非弁膜症性心房細動患者 における虚血性脳卒中及 び全身性塞栓症の発症抑 制		下記の下肢整形外科 手術施行患者におけ る静脈血栓塞栓症の 発症抑制 膝関節全置換術、股 関節全置換術、股関節 骨折手術		非弁膜症性心房細動 患者における虚血性 脳卒中及び全身性塞 栓症の発症抑制		非弁膜症性心房細動 患者における虚血性脳 卒中及び全身性塞栓症 の発症抑制	
用法・用量		1回150mg1日2回。 必要に応じて、1回110mg1 日2回投与に減量。		30mg1日1回。 注)原則、術後の入院 中に限って使用。中等 度の腎機能障害者で は、15mg1日1回に減 量を考慮。		15mg1日1回食後。 腎機能の程度に応じ て、10mg1日1回に減 量。		1回5mg1日2回。 年齢、体重、腎機能に 応じて、1回2.5mg 1日2回投与に減量。	
薬物体内動態	AUC [ng・h/mL]	110mg: 485 150mg: 623		1,187		10mg: 1,564 20mg: 2,777		2.5mg: 466 10mg: 1,628	
	tmax [h]	食後投与(注1) 110mg:4.0(3.0-4.0) 150mg:4.0(2.0-6.0) 空腹時投与 0.5～2		1.0(0.5-3.0)(注1)		0.5～4		3～4	
	Cmax [ng/mL]	110mg: 94.4 150mg: 116		218.9		10mg: 226.9 20mg:341.7		2.5mg: 52.5 10mg: 175.7	
	t1/2 [h]	食後投与 (注2) 110mg: 10.7 150mg: 11.8		8～10(注2)		5～13		12	
	蛋白結合率	34-35%		40.0～58.9% (外国人データ)		約92～95%		約87%	
	バイオアベ イラビリティ	約6.5% (健康成人男性)		(カニクイザル) 53.6%～55.6%		ほぼ100%		約50%	

注1: 中央値(最小値-最大値) 注2: 反復投与 (各インタビューフォームおよびメーカー資料より)

表2 新規経口抗凝固薬の代謝と腎機能障害者あるいは肝機能障害者への投与について

一般名		ダビガトラン	エドキサバン	リバーロキサバン	アピキサバン
代謝		グルクロン酸抱合。 肝薬物代謝酵素P-450 による代謝を受けない。 P-糖蛋白の基質。	一部CYP3A4で代謝される。 P-糖蛋白の基質。	CYP3A4、CYP2J2で代謝される。 P-糖蛋白及びBCRP(乳癌耐性蛋白)の基質。	主にCYP3A4/5で代謝される。 P-糖蛋白及びBCRPの基質。
尿中排泄		85% (投与168時間後まで)	32.9~35.0% (投与48時間後まで)	投与量の約2/3 が不活性代謝物として尿中及び糞中に排泄され、残りの約1/3 が未変化体のまま腎排泄される。	未変化体尿中排泄は全身クリアランスの約27%。
通常投与量		1回150mg、1日2回。	1回30mg、1日1回。	15mg1日1回(食後)	1回5mg、1日2回。
腎機能低下時の用量調節	中等度低下	1回110mg、1日2回を考慮。	15mg1日1回を考慮。	10mg1日1回に減量。	年齢、体重、腎機能に応じて、1回2.5mg、1日2回
	高度低下	禁忌	禁忌	10mg1日1回(適否を慎重に検討)	
	透析患者	禁忌	禁忌	禁忌	
腎機能低下時のAUC _{0-∞} (正常者との比較)	中等度低下	3.2倍	1.8倍	1.5倍	1.3倍
	高度低下	6.3倍	1.9倍	1.6倍	1.4倍
肝機能低下時のAUC _{0-∞} (正常者との比較)	軽度低下		健康被験者と同程度	健康被験者と同程度	健康被験者と同程度
	中等度低下	健康被験者と同程度	健康被験者と同程度	2.3倍	健康被験者と同程度

(各インタビューフォームより)

表3 新規経口抗凝固薬の妊産婦・授乳婦等への投与について

一般名	ダビガトラン	エドキサバン	リバーロキサバン	アピキサバン
妊婦、産婦への投与	有益性投与。 (ラット)胎児組織中濃度は血液や胎盤と比べて低く、胎盤を通過するものはごく少量。	有益性投与。 (ラット)胎盤を通過し、胎児へ分布。	投与しないこと。(注1)	有益性投与。(注2)
授乳婦への投与	投与を避け、やむを得ず投与する場合には授乳を中止させる。 (ラット)母乳中に分泌された総放射能は投与量の0.08~0.13%。	投与中は授乳を避けさせる。 (ラット)投与48時間までのいずれの時点においても乳汁中濃度は母体血漿中濃度よりも高かった。	投与を避け、やむを得ず投与する場合は授乳を中止させること。 (ラット)単回経口投与時、32時間後までの乳汁中への移行量は投与量の2.1%。	投与を避け、やむを得ず投与する場合は授乳を中止させること。 (ラット)乳汁中への移行が認められている。 (注3)

注1：動物実験で胎盤通過性(ラット)、子宮内出血、母動物に毒性があらわれる用量で総奇形発生率の増加(ウサギ)、死産の増加等の胚・胎児毒性、出生児の生存率低下及び一般状態の悪化(ラット)が報告されている。

注2：母動物の血漿中濃度に対する胎児中濃度(C_{max})は、マウスで10%、ラットで9~36%であった。ウサギでは1検体(2.9ng/mL)以外、定量下限(2ng/mL)未満であった。

注3：5mg/kg単回経口投与、投与後6時間でC_{max}。乳汁中濃度は血漿中濃度より高く、C_{max}およびAUCの乳汁対血漿比はそれぞれ8.6と30であった。
(各インタビューフォームおよびメーカー資料より)

表4 新規経口抗凝固薬の投与禁忌および慎重投与について

一般名		ダビガトラン	エドキサバン	リバーロキサバン	アピキサバン
投与禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	○	○	○	○
	透析患者を含む高度の腎障害（クレアチニンクリアランス30mL/min未満）のある患者	○	○		
	腎不全（クレアチニンクリアランス15mL/min未満）の患者			○	○
	出血症状のある患者、出血性素因のある患者及び止血障害のある患者	○	○	○	○（注1）
	臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変（6ヶ月以内の出血性脳卒中を含む）の患者	○			
	血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者			○	○
	脊椎・硬膜外カテーテルを留置している患者及び抜去後1時間以内の患者	○			
	中等度以上の肝障害（Child-Pugh分類B又はCに相当）のある患者			○	
	急性細菌性心内膜炎の患者		○	○	
	妊婦又は妊娠している可能性のある女性			○	
	HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル、アタザナビル、インジナビル等）を投与中の患者			○	
	アゾール系抗真菌剤（フルコナゾールを除く、イトラコナゾール、ボリコナゾール、ケトコナゾール等）の経口又は注射剤を投与中の患者			○	
	イトラコナゾール（経口剤）を投与中の患者	○			
慎重投与	中等度の腎障害（クレアチニンクリアランス30～50mL/min）のある患者	○	○（注2）		
	腎障害のある患者（クレアチニンクリアランス15～49mL/min）			○	○（注3）
	P-糖蛋白阻害剤（経口剤）を併用している患者	○			
	消化管出血の既往を有する患者及び上部消化管の潰瘍の既往のある患者	○	○		
	出血の危険性が高い患者	○	○	○	○
	高度の肝機能障害のある患者		○		○
	高齢者	○	○	○	○
	低体重の患者			○	○
	体重40kg未満の患者		○		

注1：臨床的に問題となる出血症状。 注2：腎機能障害のある患者とのみ記載。 注3：15～50mL/minと記載。
（各インタビューフォームより）

表5 新規経口抗凝固薬の薬物相互作用について

一般名		ダビガトラン	エドキサバン	リバーロキサバン	アピキサバン
併用禁忌	P-糖蛋白阻害剤(経口剤)(注1)	○			
	アゾール系抗真菌剤(経口又は注射剤、フルコナゾールを除く)			○(注2)	
	HIV-プロテアーゼ阻害剤			○(注3)	
併用注意	血小板凝集抑制作用を有する薬剤(注4)	○	○	○	○
	抗凝固剤(注5)	○	○	○	○
	血栓溶解剤(注6)	○	○	○	○
	非ステロイド性消炎鎮痛剤(注7)	○	○	○	○
	P-糖蛋白阻害剤	○(注8)	○(注9)		
	P-糖蛋白誘導剤	○(注10)			
	CYP3A4阻害剤			○(注11)	
	CYP3A4およびP-糖蛋白阻害剤			○(注12)	○(注13)
	CYP3A4およびP-糖蛋白誘導剤(注14)			○	○
	SSRI、SNRI	○			

注1: イトラコナゾール

注2: イトラコナゾール、ボリコナゾール等

注3: リトナビル、アタザナビル、インジナビル等

注4: アスピリン、ジピリダモール、チクロピジン塩酸塩、クロピドグレル硫酸塩等

注5: ワルファリンカリウム、ヘパリン、ヘパリン誘導体、フォンダパリヌクスナトリウム等

注6: ウロキナーゼ、t-PA 製剤等

注7: ジクロフェナク、ナプロキセン等

注8: (経口剤)ペラパミル塩酸塩、アミオダロン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、タクロリムス、シクロスポリン、リトナビル、ネルフィナビル、サキナビル、クラリスロマイシン等

注9: キニジン硫酸塩水和物、ペラパミル塩酸塩、アミオダロン塩酸塩、エリスロマイシン、イトラコナゾール等

注10: リファンピシン、カルバマゼピン、セイヨウオトギリソウ含有食品等

注11: フルコナゾール

注12: クラリスロマイシン、エリスロマイシン

注13: アゾール系抗真菌剤、マクロライド系抗菌薬(クラリスロマイシン、エリスロマイシン等)、ナプロキセン、ジルチアゼム

注14: リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ含有食品等
(各インタビューフォームより)

◆おわりに

ワルファリンは複数の凝固因子を阻害するため強力な抗凝固作用を示しますが、治療用量域が狭く、食物中のビタミンKや種々の薬剤との相互作用、ワルファリンの薬物代謝における遺伝的個人差などがあるため、凝固能をモニタリングしながら投与量を慎重に調節する必要があります。一方、新規経口抗凝固薬は単一の凝固因子を標的とするため治療用量域が広く、さらに食事制限やモニタリングを必要としません。ただし、経済的負担はワルファリンよりも大きくなります。また、過量投与で出血症状が現れた場合、ワルファリンにはビタミンKという中和剤がありますが、新規経口抗凝固薬にはなく重篤な出血症状への対応は確立されていません。新規経口抗凝固薬の登場により血栓症の治療・予防の選択肢は広がりましたが、さまざまな病態に合わせた使い方については今後の検討課題といえます。

<参考資料>・薬局、64(2)、2013

・各製品資料

お薬相談電話 事例集 No.82

甲状腺疾患と妊娠・授乳

妊娠に伴う甲状腺疾患として比較的多くみられるのは、バセドウ病と甲状腺機能低下症です。まれにヒト絨毛性ゴナドトロピン（hCG）の甲状腺刺激作用により、一過性の甲状腺機能亢進症状を呈する場合があります。

バセドウ病は妊娠中に軽快することが多いのですが、未治療やコントロール不良の場合は流産、死産、低出生体重児、妊娠高血圧症候群、心不全などの発症リスクが高くなります。抗甲状腺薬で甲状腺機能が改善されていれば、これらのリスクを軽減あるいは回避することができます。甲状腺刺激ホルモン（TSH）や甲状腺ホルモンは胎盤通過性が限られていますが、TSH受容体抗体は、母体から胎児に移行するため、胎児が甲状腺機能亢進症に罹患することがあります。しかし抗甲状腺薬にも胎盤通過性があるため、母体を抗甲状腺薬で治療すると胎児の甲状腺機能亢進症を防ぐことができます。抗甲状腺薬にはチアマゾール（MMI）とプロピルチオウラシル（PTU）の2種類があり、一般的にはMMIのほうが効果、副作用、コンプライアンスの面で優れています。しかし妊娠初期のMMI使用により、新生児の頭皮欠損、臍帯ヘルニア、臍腸管遺残、気管食道瘻、食道閉鎖、後鼻孔閉鎖などの特殊な奇形がみられたとの報告があるため、器官形成期（少なくとも妊娠4～7週末）には可能な限りMMIを避けるべきです。なお奇奇性を考慮してMMIを中止する場合はPTU、状況によっては無機コード、あるいは無治療を選択します。

一方、妊娠前より甲状腺機能低下症である場合は、妊娠判明後に甲状腺ホルモン剤の増量が必要となり、TSH値を指標に投与量を決定します。妊娠12週から胎児甲状腺が動き始めますが、それ以前の胎児甲状腺機能は母体から移行してくるホルモンに依存しており、甲状腺ホルモン低値状態では胎児の神経発達に障害されるため、治療が大切です。甲状腺機能低下症と奇形発生についての報告はありません。

授乳に関して、バセドウ病治療ガイドライン2011（日本甲状腺学会編）ではPTU300mg/日以下、MMI10mg/日以下の服用であれば、母乳で哺育しても乳児の甲状腺機能に影響はないとされています。また甲状腺ホルモン剤は、母体の不足を補充する量で過剰な分泌が起らず、安全に授乳できます。

表. 甲状腺疾患合併妊娠の原因・治療など

	原因	妊婦への影響	胎児への影響	治療
妊娠甲状腺中毒症	絨毛性疾患による大量のhCG分泌	なし	なし	特になし
甲状腺機能亢進症	・バセドウ病 ・機能性腺腫（中毒性結節性甲状腺腫） ・甲状腺炎 ・甲状腺ホルモン過剰摂取	流産↑ うっ血性心不全↑ 甲状腺クリーゼ↑ 早産↑ 妊娠高血圧腎症↑	胎児発育不全↑ 周産期罹患率↑ 周産期死亡率↑	抗甲状腺薬
甲状腺機能低下症	<div>原発性</div> ・慢性自己免疫性甲状腺炎（橋本病） ・慢性ヨード摂取不足 ・放射線ヨード治療 ・甲状腺摘出手術既往 <div>続発性</div> ・Sheehan症候群 ・リンパ球性下垂体炎 ・下垂体摘出手術既往	妊娠高血圧症候群↑ 胎盤早期剥離↑ 早産↑ 死産↑ 心機能低下↑ 分娩後出血↑	胎児発育不全↑	《顕性》T ₄ 補充療法 初回2μg/kg/日。 TSH<10mIU/Lの時は、 0.1mg/日でよい。妊 娠前の30%増量が必要。

【参考資料】 バセドウ病治療ガイドライン2011（日本甲状腺学会）、外来でどう診る？甲状腺疾患（日本医事新報社）、月刊薬事48（2）2006、www.jsog.or.jp/

医薬品・医療機器等 安全性情報

Pharmaceuticals
and
Medical Devices
Safety Information
No.299・300

厚生労働省医薬食品局

No.299 目次

1. PMDA医療安全情報の活用について 3
2. 重要な副作用等に関する情報 7

1	ザナミビル水和物	7
2	ジョサマイシン, ジョサマイシンプロピオン酸エステル	9
3	スニチニブリンゴ酸塩	10
4	竜胆瀉肝湯（医療用）	13
3. 使用上の注意の改訂について（その243）
グリメピリド, ピオグリタゾン塩酸塩・グリメピリド 他（4件）… 15
4. 市販直後調査の対象品目一覧 18
- （参考資料）副作用名「アナフィラキシー」について 21

No.300 目次

1. 「医薬品リスク管理計画」の実施について… 3
2. 使用上の注意の改訂について（その244）
エストラジオール（エストラーナ, ジュリナ,
ディビゲル, フェミエスト）他（4件）… 8
3. 市販直後調査の対象品目一覧..... 11

この医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省において収集された副作用等の情報をもとに、医薬品・医療機器等のより安全な使用に役立てていただくために、医療関係者に対して情報提供されるものです。
医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

平成25年(2013年) 2月・3月

厚生労働省医薬食品局

◎連絡先

☎100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省医薬食品局安全対策課

☎ { 03-3595-2435（直通）
03-5253-1111（内線）2755、2753、2751
（Fax）03-3508-4364

検 査 セ ン タ ー だ よ り



後藤 佳恵

微小粒子状物質

気候も良くなり窓を開けて外の風を取り入れたり、洗濯物もよく乾くと思っていたら…。スギやヒノキの花粉に始まり、黄砂そして、PM2.5。気持ちのいい空気はどこへやら、トリプルパンチとなりつつある今日この頃ですが、昨今国際的にも大気中の粒子状物質、特に微小粒子の健康影響に関する関心が高まっています。日本でも今年に入りPM2.5の話題が大きくニュースになりました。午後2時半!?と言った人がいたとかいないとか。

それはさておき、PMとは「Particulate Matter」の略で日本語では「粒子状物質」といい、PM2.5とは大気中に浮遊する粒子状物質の中で、粒径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質をいいます。また、粒径が $10\mu\text{m}$ 以下の粒子は、浮遊粒子状物質（Suspended Particulate Matter：SPM）と定義されています。

一般的に髪の毛の太さは約 $70\mu\text{m}$ 、スギやヒノキの花粉の直径は約 $30\mu\text{m}$ と比べると、非常に小さいPM2.5は、口や鼻から、気管、気管支を経て、肺の奥深く肺胞まで入りやすく、呼吸器系への影響に加え、循環器系への影響が心配されています。

その成分としては炭素成分、硝酸塩、硫酸塩、アンモニウム塩のほか、ケイ素、ナトリウム、アルミニウムなどの無機元素などが含まれます。

粒子状物質には、物の燃焼などによって直接排出されるものと、主として環境大気中での化学反応により、硫黄酸化物（SOx）、窒素酸化物（NOx）、揮発性有機化合物（VOC）等のガス状大気汚染物質が、粒子化したものとがあります。発生源としては、ボイラー、焼却炉などのばい煙を発生する施設、鉱物の堆積場等の粉じんを発生する施設、自動車、船舶、航空機等、化石燃料の燃焼などの人為起源のもの、さらには、火山の噴出物や波しぶきなどによる海塩の飛散等の自然界由来のものもあります。中国からの影響が懸念されていますが、これに限らず通常の生活でも発生しており、煙草の煙やストーブの使用、そしてハウスダストのうち粒径の小さなものもこれに該当します。

日本ではSPMについては、1975年から環境基準が設定され大気中のSPM濃度を監視しています。PM2.5については国（環境省）において「1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること」として平成21年9月に環境基準が設定されました。この基準は「人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準」で、超えた場合でも直ちに人の健康に影響が現れるというものではありません。しかし中国における深刻な大気汚染の発生を受け、国（環境省）が平成25年2月に開いた専門家会合で、原因物質の一つであるPM2.5について注意喚起のための暫定的な指針となる値を日平均値 $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ と設定しました。

これを受け広島県では午前5時から7時の各1時間値の平均値が、 $85\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した場合に、日平均値が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えると予測し、高濃度予報を発表し注意喚起を行うこととし、周知については各報道機関へ協力を依頼するとともに、各市町、教育委員会等関係機関へ連絡することとなっています。また平成24年10月からPM2.5濃度の測定を始め、現在は県内10ヶ所で常時測定を行い、毎時間ごとの結果を広島県環境情報サイト「ecoひろしま」でリアルタイムに情報提供しています。現在のところ県内のPM2.5濃度は通常 $10\sim 20\mu\text{g}/\text{m}^3$ 程度で推移していますが、4月から5月の黄砂の時期に高い値となることも懸念され、引き続き注視されています。

また先の会合の結果を踏まえ広島県のPM2.5に関するQ&Aもこの4月に大幅に改正され、とても詳しく記述してあります。

全国では大気汚染防止法に基づき、560カ所以上でPM2.5の常時監視が実施されており、環境省の大気汚染物質広域監視システム【そらまめ君】のサイトで速報値を見ることができます。気になった方はぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。

社団法人広島県薬剤師会 検査センター

H i r o s h i m a P h a r m a c e u t i c a l A s s o c i a t i o n



こぼれ話

今年は例年になくノロウィルス感染が流行し、当会検査センターにも検査依頼が多くありました。

はじめのうちはお断りしておりましたが、お客様からの熱心な問い合わせに一念発起し準備を進めることにしました。

そして、残るは価格を決めるだけと言うとき、ふと施設上の問題が気になり管轄の保健所へ問い合わせをしたところ、検査室の面積が不足していることがわかり断腸の思いで中止致しました。

最初に気づけば良かったと後悔しましたが、今となっては良い勉強になったと思い、いつの日か検査体制を整えたいと思っています。

責 務

私たちは、広島県民の公衆衛生の向上及び増進に寄与し健康な生活を確保することを目的としています。特に学校環境衛生におきましては、学校薬剤師の協力を得て、子どもたちの安心、安全な学校生活をサポートいたします。

検査項目

医薬品検査、水質検査、腸内細菌検査などを主に行っております。そのほか家庭用品検査、寄生虫卵検査、シックハウス検査なども行っておりますので、ご相談ください。

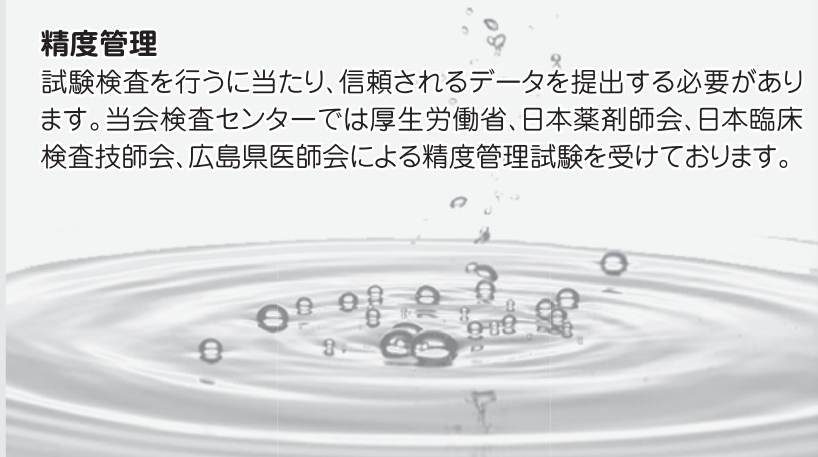
登 録

検査を行うには、国、県、市の登録が必要です。当会検査センターでは次の登録を受けております。

- 医薬品試験検査機関(厚生労働省 第167号)
- 建築物飲料水水質検査登録機関(広島市17水 第41004号)
- 衛生検査所(広島市 第30370号)
- 食品営業者の営業に係る水の検査業(広島県福祉保健部長)

精度管理

試験検査を行うに当たり、信頼されるデータを提出する必要があります。当会検査センターでは厚生労働省、日本薬剤師会、日本臨床検査技師会、広島県医師会による精度管理試験を受けております。

**社団法人広島県薬剤師会 検査センター**

TEL 082-243-2153 FAX 082-243-2188

HP <http://www.hiroyaku.or.jp/kensa/index.htm>

ひろしま桔梗研修会 平成24年度 第4回研修会報告



神戸薬科大学同窓会広島支部 守谷 聖子

日 時：平成25年2月24日（日）

場 所：広島県薬剤師会館

まず演題1は、サノフィ株式会社営業統括本部中国営業部の梶田昌志先生による「抗血小板薬の最新的话题～全身管理の重要性～」について、御講演いただきました。

日常的に処方されている抗血小板薬、抗凝固剤の使い方、アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞の説明、抗血小板薬、抗凝固剤を服用中の患者様の抜歯、白内障手術時の服用方法など分かりやすく説明していただきました。



演題2は、元独立行政法人国立病院機構岩国医療センター薬剤科・科長寺谷一信先生による「処方を読む～循環器疾患の処方の見方～」の題で御講演いただきました。

循環器の薬は色々な症例で使われるので、医師の意図することを処方箋を見ただけでは読み取りにくいですが、抗血小板薬・降圧剤の種類や組み合わせ等で病名をある程度予測出来る様になる為、症例別に1つ1つ丁寧に処方薬を見ていきました。



第1に、抗血小板薬があるか、抗凝固剤があるかを確認し、心原性か非心原性かを見極めること、次に抗血小板薬に降圧剤の種類（Ca拮抗剤）の組み合わせで狭心症の種類を予測します。また、退院時処方を持って来られたとき、ステント装着術が施行されたかどうか、また急性心筋梗塞かどうかで、ステントの種類まで想定できることがわかりました。

以上の事により、服薬指導の際に心筋梗塞、脳梗塞にならないために薬を服用することが大切であることを説明し、その原因である動脈硬化を進行させないために、スタチン剤等の服用の必要性も伝えていきたいと思いました。そのほかにも色々なお話を聞く事ができ、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

このひろしま桔梗研修会への会員外の方のご出席も、とても多くなりました。これからも、みなさんのお役にたてる研修会を目指したいと思いますので、よろしくお願いします。

シリーズ

薬局紹介③



長谷川薬局

広島市佐伯区五日市

5丁目10-25

Tel.082-921-3049

造幣局広島支局前を走る通称コイン通り（正式名／広島県道290号原田五日市線）にある薬局で、創立者である長谷川哲二先生が昭和41年に開局され、佐伯区で50年近くの歴史を持つ老舗です。



薬局外観

処方せんの受付（保険調剤）は勿論、一般用医薬品、化粧品、健康食品、日用雑貨なども多く取り扱われています。



店内にはさまざまな商品が並ぶ

周囲には飲食店が多く、二日酔い予防のドリンクなどもよく売れており、いわゆる街の相談薬局です。



開設者の長谷川項一先生

現開設者の長谷川項一先生は、広島佐伯薬剤師会副会長、広島佐伯学校薬剤師会会長を兼任されており、地域の保健衛生のみならず商店街の活性化に長年にわたり貢献されています。



「かわいい！」と評判、コイン通り商店街のゆるキャラ“うちでのこぶちちゃん”

毎年4月には「～佐伯区八重桜 in 広島～花のまわりみち」と題して、さえき桜まつりやさくらパレードなど薬局前のコイン通り・造幣局周辺は賑わいをみせます。

（文責／取材 広報委員 池田和彦）

次回は、安佐支部 相田薬局さんです。

書籍等の紹介

「改訂版 一般用医薬品添付文書記載要領ガイドブック」

発 行：株式会社 薬事日報社
判 型：B 5 判、873頁
価 格：定 価 8,400円
 会員価格 7,500円
送 料：1 部 450円

「保険薬事典プラス 平成25年4月版」

編 著：薬業研究会
発 行：株式会社 じほう
判 型：A 5 判、950頁
価 格：定 価 4,830円
 会員価格 4,350円
送 料：1 部 500円

「OTC 薬ハンドブック2013」

監 修：堀 美智子
編 集：医薬情報研究所、
 株式会社エス・アイ・シー
発 行：株式会社 じほう
判 型：B 5 判、1,620頁
価 格：定 価 13,650円
 会員価格 12,600円
送 料：1 部 500円

「薬剤師が知っておきたい法律・制度 第2版」

編 集：白神 誠氏（日本大学薬学部教授）
執 筆：大室弘美氏（武蔵野大学薬学部
 医薬品情報学教授）
亀井美和子氏（日本大学薬学部
 薬学科教授）
志村紀子氏（奥羽大学薬学部
 物理化学講師）
早瀬幸俊氏（北海道薬科大学薬学部
 薬事管理学分野教授）
藤原英俊氏（新潟薬科大学薬学教育
 研究センター教授）
八木直美氏（北海道医療大学薬剤学
 講座准教授）

発 行：株式会社 じほう
判 型：B 5 判、304頁
価 格：定 価 2,520円
 会員価格 2,200円
送 料：1 部 500円

※価格はすべて税込みです。



幹旋書籍について「お知らせ・お願い」

日薬幹旋図書の新刊書籍につきましては、県薬会誌でお知らせしておりますが、日薬雑誌の「日薬刊行物等のご案内」ページにつきましても、随時、会員価格にて幹旋しておりますのでご参照ください。

また、書籍は受注後の発注となりますので、キャンセルされますと不用在庫になって困ります。ご注文の場合は、書籍名（出版社名）・冊数等ご注意くださいようお願い申し上げます。

申込先：広島県薬剤師会事務局

TEL (082) 246-4317 FAX (082) 249-4589

担 当：吉 田 E-mail: yoshida@hiroyaku.or.jp

急 告**『今日の治療薬 2013』に関する重大な記載間違いのお知らせ**

謹啓

日頃より弊社書籍をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「今日の治療薬 2013」に下記のとおり重大な誤記載が判明いたしました。ここに周知させていただくとともに、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

■書籍名：『今日の治療薬 2013』 第1刷

*奥付表記：2013年1月25日 第35版発行

■該当頁：177頁

■該当薬剤：エンドキサン

■適 応：⑧治療抵抗性の次のリウマチ性疾患：SLE、全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、ヴェグナ肉芽腫症、結節性多発動脈炎、Churg-Strauss 症候群、大動脈炎症候群等）、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び血管炎を伴う難治性リウマチ性疾患

（誤）[用量] ⑧1日1回 500～1000 mg/m² 静注を4週間

（正）[用量] ⑧1日1回 500～1000 mg/m² 静注。投与間隔は4週間

当薬剤使用に際しましては、上記内容とともに添付文書をご確認いただき、処方や投与に細心の注意をいただけますようお願い申し上げます。

このような事態が再び発生しないよう、記載のチェック体制を更に厳しくシステム化し、ご迷惑をおかけしないよう対処いたす所存でございます。今後ともお引き立てのほど何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

2013年4月

株式会社 南江堂

【書籍の回収・交換にご協力をお願い申し上げます】

お手元の「今日の治療薬 2013」の回収・交換にご協力いただきたくお願い申し上げます。訂正版は5月出来予定となっております。交換方法等詳細につきましては下記フリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。大変お手数をお掛けして恐縮でございますが何卒よろしくお願い申し上げます。

●お問い合わせ フリーダイヤル：0120-582076（9時～18時）

告 知 板

第42回 広島県薬剤師会通常総会開催通知

標記の会議を次により開催しますので、定款第25条の規定により通知します。

日 時：平成25年 5月25日（土）午後 3時～

場 所：広島県薬剤師会館 4階ホール

議 事：（報 告）

- 報告第1号 公益社団法人日本薬剤師会臨時総会報告
- 報告第2号 社団法人広島県薬剤師会通常代議員会報告
- 報告第3号 社団法人広島県薬剤師会臨時代議員会報告
- 報告第4号 平成24年度広島県薬剤師会会務及び事業報告
- 報告第5号 平成24年度薬事情報センター事業報告
- 報告第6号 平成24年度広島県薬剤師会収支計算書
- 報告第7号 平成24年度保険薬局部会事業報告
- 報告第8号 平成24年度保険薬局部会収支計算書
- 報告第9号 平成24年度会館運営事業報告
- 報告第10号 平成24年度会館運営事業特別会計収支計算書
- 報告第11号 平成24年度検査センター事業報告
- 報告第12号 平成24年度検査センター特別会計収支計算書

（議 案）

議案第1号 公益社団法人広島県薬剤師会定款（案）
（資 料）

1. 平成24年度広島県薬剤師会収支補正予算書
2. 会費賦課納付規程の一部改正について
3. 平成25年度広島県薬剤師会事業計画
4. 平成25年度薬事情報センター事業計画
5. 平成25年度広島県薬剤師会収支予算書
6. 平成25年度保険薬局部会事業計画
7. 平成25年度保険薬局部会収支予算書
8. 平成25年度会館運営事業計画
9. 平成25年度会館運営事業特別会計収支予算書
10. 平成25年度検査センター事業計画
11. 平成25年度検査センター特別会計収支予算書

ふるってご参加ください。また、**ご欠席の場合は、委任状**に所要事項をご記入の上、**5月22日（水）**までに必ずご返送くださいますよう併せてお願い申し上げます。

なお、**駐車場の用意がありませんので、ご承知ください。**

第57回 広島県病院薬剤師会総会

日 時：平成25年 5月11日（土）

場 所：エソール広島

広島県学校薬剤師会総会

日 時：平成25年 5月23日（木）

場 所：広島県薬剤師会館

安芸支部総会

日 時：平成25年 5月26日（日）

場 所：サンピア・アキ

廿日市支部総総会

日 時：平成25年 5月26日（日）

場 所：ホテルグランヴィア広島





「国試 受かりました～(^ ^)」と学生さんからの嬉しいメール、娘からは「育ててくれてありがとう(*'▽')」と幸せいっぱい
のメールが届きました。卒業、そして旅立ちの春ですね

<もい鳥>

部屋の乱れは心の乱れにつながるそうです。
片付けることで空間が整い、心も整理できる
ので良いエネルギーが部屋に充満します。部
屋を片付けると心が落ち着き、物事がうまく
いくそうです。

次の休日には、家族で大掃除しま～す!!

<ムーミンママ>

先日「平常心のレッスン」という本を買いま
した。作者は異色の僧侶、小池龍之介さんで
す。25期も若い方なので全く接点はないので
すが、高校の同窓生とのこと。「ま、いっか」
の精神を学びました。実践は?

<打ち出の小槌>

先日宮島に行ってきました。最近のもみじ饅頭は色々な中身があり、知らない味が多くありま
した。今回はカレーもみじに挑戦してみました、甘口と激辛と種類があるのでぜひ皆さんにも
挑戦してみて頂きたいです。

<まめごま>

ケータイ電話を水没させてしまいました。
さて、次はスマホにしようか、今まで通
りケータイ電話にしようか、只今、思案
中です。

……スマホ! 使いこなせるかしら???

時代の流れに、なかなかついていけない
私です。

<ゆったり>

平成25年度がスタートしました。

コアラジュニア1号は高校の英語教師として
社会に出て行きました。

一方2号は、まだスネを嚙ってる。

でも、嚙られている内が花なのかも・・・

<By コアラChanズ>



<タブレッツ 18 番>

輸血をたびたび使う現場にいます。輸血製剤、血液製剤がどのよ
うに作られるのか、広島で始めて知りました。特に、白血球を除
去するところですが、輸血製剤にリンパ球が残っていると
GVHD (移植片対宿主病) を起こし、死亡するらしいのです。

(!!°Д°ノ) 知らなかった。。。まだまだ知らないことだらけです。

<メリッサ>

編 集 委 員

加藤 哲也	谷川 正之	豊見 敦	中川 潤子
渡邊 英晶	西谷 啓	林 真理子	井上 映子
平田智加子	松井 聡政	神田千都子	有助美奈子

犯罪情報官 速報



火災報知器の売り付け事案

～広島市内で連続発生～

3月22日(金)から23日(土)にかけ、広島市内のアパートに作業着姿の男が訪れ、

「前の道路のガス工事を行うので、●●●(アパート名)から火災報知器の設置を依頼されている。」

「設置に5万円かかる。」

などと、アパート管理会社から委託をうけているかのように装って、火災報知器を法外な金額で売り付ける事案が連続発生しています。

火災報知器のほか、

「●●●(アパート名)はガス、水道工事が必要である。」

「入居者が負担しなければならない。」

「退去時に返金する。」

などと嘘を言い、現金を騙し取る手口も発生しています。



被害に遭わないために

①相手に身分証明書の
提示を求める

②管理会社に事実確認
をする

平成23年-平成27年
「なくそう犯罪」
ひろしま 新 アクション・プラン
～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

メールマガジンで会員の皆さんにいち早く犯罪発生情報等をお知らせします。
携帯電話のバーコード読取機能を使って右のQRコードを読み取ってください。

27警察署のうち、特定の警察署のメールだけを受信するように設定することができます。

また、情報種別については、「子ども・女性対象の事件、不審者情報」「防犯情報」「県警からのお知らせ」の3つから、受信するメールを自由に選択できます。



メールマガジン
会員登録

保険薬局ニュース

平成 25 年 5 月 1 日

広島県薬剤師会保険薬局部会

Vol.21 No. 3 (No.115)

事務連絡

平成25年3月1日

広島県薬剤師会 御中

社会保険診療報酬支払基金広島支部

平成25年度における受付対応について（連絡）

平素、支払基金の業務運営に対しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成25年度における調剤報酬請求書等の受付日につきまして、別紙のとおり対応することといたしました。

つきましては、支払基金広島支部の広報誌に掲載し、保険薬局へお知らせすることといたしますのでご連絡いたします。

別紙

平成25年度 診療(調剤)報酬請求書等の受付日について

診療(調剤)報酬請求書等の平成25年度における受付につきましては、下記のとおり開所のうえ対応しますので、お知らせいたします。

記

提出月	受付締切日	開所日
平成25年4月	10日(水)	
5月	10日(金)	
6月	10日(月)	8日(土)
7月	10日(水)	
8月	10日(土)	10日(土)
9月	10日(火)	
10月	10日(木)	
11月	10日(日)	9日(土)、10日(日)
12月	10日(火)	
平成26年1月	10日(金)	
2月	10日(月)	8日(土)
3月	10日(月)	8日(土)

※受付時間については、9時から17時30分の時間帯でご協力をお願いします。

—社会保険診療報酬支払基金広島支部—

広島県薬剤師会会長 様

広島県国民健康保険団体連合会理事長

〒730-8503 広島市中区東白島町19-49

審査管理課

平成25年度診療報酬（調剤）請求書等の請求に係る 受付日程について（依頼）

本会の事業運営については、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、このことについては、別紙のとおり受付を行いますので、貴会会員への周知方について御協力を願います。

別紙

平成25年度診療報酬請求書等受付日程

区分	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平成25年	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
4月	受付	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○
5月	曜日	水	木	金(祝)	土(祝)	日(祝)	月(振)	火	水	木	金
	受付	○	○	—	—	—	—	○	○	○	○
6月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	受付	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○
7月	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	受付	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○
8月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	受付	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○
9月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	受付	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○
10月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	受付	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○
11月	曜日	金	土	日(祝)	月(振)	火	水	木	金	土	日
	受付	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○
12月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	受付	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○
平成26年	曜日	水(祝)	木(休)	金(休)	土	日	月	火	水	木	金
1月	受付	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○
2月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	受付	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○
3月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	受付	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○

注1 「○」は受付日、「—」は閉所日、網掛けは休日の受付日を表す。

注2 受付時間については、8時30分～17時15分の間でご協力をお願いします。

注3 6月・2月・3月の9日(日)は、閉所しておりますのでご注意ください。

—広島県国民健康保険団体連合会—


薬価基準収載医薬品（平成25年2月22日付）

（17成分25品目）

【内用薬】

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
コレアジン錠12.5mg (アルフレッサファーマ) CL 12・5	テトラベナジン ハンチントン病に伴う舞踏運動	12.5mg1錠	385.40	<ul style="list-style-type: none"> 国内初の「ハンチントン病に伴う舞踏運動」に対する適応を持つ。 初期～中期のハンチントン病患者において12週間投与の結果、有効性と効果の持続性が確認されている。 中枢神経系におけるモノアミン小胞トランスポーター 2 (VMAT2) の特異的阻害剤であり、モノアミン（ドパミン、ノルアドレナリン、セロトニン等）のシナプス前小胞への取り込みを阻害し、神経終末のモノアミンを枯渇させる。 1日量12.5mgから開始し、漸増投与（1日最高投与量：100mg、1回最高投与量：37.5mg）。
ミニリンメルトOD錠60μg (フェリング・ファーマ) 	デスマプレシン酢酸塩水和物 中枢性尿崩症	60μg1錠	117.30	<ul style="list-style-type: none"> ペプチド系抗利尿ホルモン用剤。 既存のミニリニメントOD錠120μg/同OD錠240μgに、新用量製剤を追加。120μgおよび240μg製剤には、「中枢性尿崩症」以外に、「尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症」の適応がある。 ミニリンメルトOD錠120μgの体内薬物動態は、経鼻製剤10μgにほぼ相当する。
トビエース錠4mg (ファイザー) FS	フェソテロジンフマル酸塩 過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	4 mg1錠	190.90	<ul style="list-style-type: none"> デトルシールの活性代謝物のプロドラッグであり、切迫性尿失禁に対して高い効果を示す。 新規の過活動膀胱治療薬（抗コリン薬）。1日1回投与の徐放性製剤。
トビエース錠8mg (ファイザー) FT		8 mg1錠	286.40	
ホスリボン配合顆粒 (ゼリア新薬工業) ZP85	リン酸二水素ナトリウム一水和物 ／無水リン酸水素二ナトリウム 低リン血症	100mg1包 (リンとして)	68.70	<ul style="list-style-type: none"> 国内初の、低リン血症の適応を有する経口リン酸製剤。 低リン血症の治療法としては、経口リン酸製剤と活性型ビタミンD製剤の併用療法が一般的。

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
エリキュース錠2.5mg (プリストル・マイヤーズ) 893 	アピキサパン 非弁膜症性心房細動患者における 虚血性脳卒中及び全身性 塞栓症の発症抑制	2.5mg1錠	144.90	<ul style="list-style-type: none"> 活性化血液凝固第X因子 (FXa)を可逆的に阻害する新規経口抗凝固薬。 エリキュースは、有効性（脳卒中または全身性塞栓症の初回発現までの期間、全死亡までの期間）及び安全性（大出血発現率及び全死亡率）の双方で、対照薬（ワルファリン）に対する優越性が示された。 次の基準の2つ以上に該当する患者は、出血のリスクが高く、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため、1回2.5mg1日2回経口投与する。80歳以上、体重60kg以下、血清クレアチニン1.5mg/dL以上
エリキュース錠5mg (プリストル・マイヤーズ) 894 		5 mg1錠	265.20	
エルカルチンFF内用液 10% (大塚製薬)	レボカルニチン カルニチン欠乏症	10%1mL	70.40	<ul style="list-style-type: none"> 錠剤が服用困難な乳幼児や高齢者等でも服用しやすい液剤。 エルカルチン錠と活性本体として同量を含む。
アクトネル錠75mg (味の素製薬) アクトネル75	リセドロン酸ナトリウム水和物 骨粗鬆症	75mg1錠	2,945.50	<ul style="list-style-type: none"> 既存のアクトネル錠およびベネット錠（1日1回および週1回投与製剤）に新用法・用量の製剤（月1回投与）を追加。
ベネット錠75mg (武田薬品工業) 上面：  312、 下面：75		75mg1錠	2,945.50	
アフィニートール分散錠2mg (ノバルティスファーマ) NVR D2	エベロリムス 結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫	2 mg1錠	5,376.30	<ul style="list-style-type: none"> 既存のアフィニートール錠に新剤形（分散錠）を追加。 用時、水に分散して経口投与する。 原則として、アフィニートール錠の服用ができない場合に投与する。 食後又は空腹時のいずれか一定の条件で投与する。 トラフ濃度が5 ～ 15ng/mLとなるように投与量を調節する。
アフィニートール分散錠3mg (ノバルティスファーマ) NVR D3		3 mg1錠	7,867.70	

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ディレグラ配合錠 (サノフィ) 	フェキソフェナジン塩酸塩／塩酸 プソイドエフェドリン アレルギー性鼻炎	1錠	62.00	<ul style="list-style-type: none"> 本邦初の、第2世代抗ヒスタミン薬のフェキソフェナジン塩酸塩とα交感神経刺激薬の塩酸プソイドエフェドリンの経口配合剤。 アレルギー性鼻炎の症状改善は、投与後45分で認められた。 鼻閉症状が中等症以上の場合に本剤の使用を検討すること。 腎機能障害のある患者では適宜減量（塩酸プソイドエフェドリンは主として腎排泄型）。
アメパロモカプセル 250mg (ファイザー) PARKE DAVIS	パロモマイシン硫酸塩 腸管アメーバ症	250mg 1カプセル	431.90	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のガイドライン等において腸管アメーバ症の標準治療薬のひとつとして位置づけられている。 腸管から吸収されにくい。
マラロン配合錠 (グラクソ・スミスクライン) GX CM3	アトバコン／プログアニル塩酸塩 マラリア	1錠	484.30	<ul style="list-style-type: none"> 予防目的で投与する場合、重度の腎障害のある患者は禁忌。 ヒブノゾイト（マラリア原虫の休眠体）には効果がないため、マラリア原虫の休眠体が形成される三日熱マラリア及び卵形マラリアの治療に用いる場合は、再発に注意する。

[注射薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ナーブロック筋注 2500単位 (エーザイ)	B型ボツリヌス毒素 痙性斜頸	2,500単位 0.5mL1瓶	28,902	<ul style="list-style-type: none"> B型ボツリヌス毒素製剤。 末梢神経筋接合部における神経終末内で、アセチルコリン放出に関与する蛋白質（シナプトブレビン）を切断することにより神経筋伝達を阻害し、筋弛緩作用を示す。

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
トレシーバ注 フレックスタッチ (ノボノルディスクファーマ)	インスリンデグルデク（遺伝子組換え） インスリン療法が適応となる糖尿病	300単位 1 キット	2,546	<ul style="list-style-type: none"> 1日1回投与の持効型インスリンアナログ製剤（安定した可溶性のダイヘキサマー製剤）。 皮下投与後、長く安定したマルチヘキサマーを形成（血管壁は通過できない）する。マルチヘキサマーの端からインスリンモノマーが徐々に解離し、ゆっくりかつ持続的に血中へ移行することにより、持続的に効果を発現する。 ペンフィル製剤は、専用のインスリンペン型注入器にセットして使用する。
トレシーバ注 ペンフィル (ノボノルディスクファーマ)		300単位 1 筒	1,796	
ビデュリオン皮下注用 2 mg (アストラゼネカ)	エキセナチド 2 型糖尿病 ただし、食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤、ビッグアナイド系薬剤及びチアゾリジン系薬剤（各薬剤単独療法又は併用療法を含む）による治療で十分な効果が得られない場合に限る。	2 mg1キット (懸濁用液付)	3,486	<ul style="list-style-type: none"> GLP-1受容体作動薬であるエキセナチドを有効成分とする持続性の注射剤（1 週間に1 回 皮下注）。 同じ有効成分のバイエッタ皮下注は、1日2回投与製剤。
エルカルチンFF静注 1000mg (大塚製薬)	レボカルニチン カルニチン欠乏症	1,000mg 5 mL 1 管	934	<ul style="list-style-type: none"> 経口摂取や嚥下が困難な方、急性期の治療に投与可能。 透析患者では、透析終了時に透析回路静脈側より投与可能なため、服薬管理が容易。
シムジア皮下注200mg シリンジ (ユーシービージャパン)	セルトリズマブ ペゴル（遺伝子組換え） 既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）	200mg1mL 1 筒	71,297	<ul style="list-style-type: none"> 世界初のペグ化抗TNF抗体医薬品（プレフィルドシリンジ製剤）。 関節リウマチなどの炎症性疾患の発症や悪化に関与するTNF-αに強い親和性を示す。 2 週間の間隔での皮下注射（症状安定後は、4 週間間隔が可能）。 在宅自己注射も可能。

[外用薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ニュープロパッチ 2.25mg (大塚製薬)	ロチゴチン パーキンソン病	2.25mg1枚	270.30	<ul style="list-style-type: none"> 世界初の経皮吸収型ドーパミンアゴニスト製剤（非麦角系）。 貼付後、20～30秒間手のひらでしっかり押し付けて、皮膚面に完全に接着させること。 1日1回貼付。貼付箇所は毎回変更すること（肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部）。 1週間毎に増量し維持量を定める。 主に抱合酵素（硫酸抱合酵素及びグルクロン酸抱合酵素）とCYP（CYP2C19、CYP1A2等）で代謝される。CYPの寄与はわずかであり、他の薬剤との薬物相互作用が生じる可能性は低い。 食事および他の併用薬剤の服薬時間の影響を受けない。 妊婦又は妊娠している可能性のある方は投与禁忌。
ニュープロパッチ4.5mg (大塚製薬)	中等度から高度の特発性レスレックス症候群（下肢静止不能症候群）	4.5mg1枚	416.50	
ニュープロパッチ9mg (大塚製薬)	ロチゴチン	9mg1枚	641.80	
ニュープロパッチ 13.5mg (大塚製薬)	パーキンソン病	13.5mg1枚	826.50	

薬価基準収載医薬品（平成25年4月16日付）

[内用薬]

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
スタリビルド配合錠 (日本たばこ産業) 上面：GSI 下面：□ (割線なし)	エルビテグラビル/コビスタット/ エムトリシタビン/テノホビル ジソブ ロキシルフマル酸塩 HIV-1感染症	1錠	6,749.30	<ul style="list-style-type: none"> HIV-1感染症を効能・効果とする新有効成分含有医薬品・新医療用配合剤。 他のクラスの抗HIV薬に対して高い耐性を獲得したHIV変異株にも極めて強力な抗HIV活性を示す。 1日1回1錠経口投与。

役員の異動（平成25年4月1日から）

幹事長 加藤 哲也 → 幹事長 渡邊 英晶

日本薬剤師連盟評議員も同様に交代となる。

平成25年度 日本薬剤師連盟 定時評議員会

会 長 前田 泰則

日 時：平成25年3月27日（水）13:30～

場 所：東京都（スクワール麹町）

平成24年度事業計画実行状況報告及び決算報告、平成25年度事業計画案及び予算案の報告・説明があり、また、今年7月施行予定の第23回参議院議員通常選挙の取り組み等が報告された。

帰路飛行機の関係で途中退席となったが、会費請求について、少々紛糾する場面があったようだが、概ね了承され閉会されたと日本薬剤師連盟事務局より報告を受けた。

今回、加藤幹事長が諸事情により、任期途中の交代となってしまったが、最後の仕事として評議員会へ出席していただいた。

この場を借りて感謝申し上げると共に、今後も良きアドバイザーとして助言を賜りたいと思っております。

第23回参議院議員通常選挙 日本薬剤師連盟 推薦候補者

◎ え とう せい いち 氏（現職・全国比例区）
衛 藤 晟 一

き むら りゅう じ 氏（新人・全国比例区・薬剤師）
木 村 隆 次

◎は日本薬剤師連盟重点候補者

医薬品インターネット販売の規制緩和による薬害の危機 日本薬剤師連盟全国会長幹事長拡大会議が開催



幹事長 渡邊 英晶

日 時：平成25年4月11日（木）10:30～

場 所：東京都杉並区 スクワール麴町

平成25年4月11日（金）東京都杉並区スクワール麴町にて日本薬剤師連盟全国会長幹事長拡大会議が開催された。前日には「自由民主党薬剤師問題議員懇談会・日本薬剤師連盟合同懇親会」も合わせて開催された。

社会保障制度と税の一体改革や、また、在宅医療やチーム医療の推進、一般用医薬品のネット販売など、薬事、医療制度に関わる議論が進む中で、薬剤師の職能を確立して行くためには、この国の場合、政治活動の強化が不可欠である。場合によっては薬剤師の存在価値まで危ぶまれる。

会議では医薬品のインターネット販売の規制緩和問題等、当面の政治課題及びその他の連盟活動について報告された。また、協議では、今夏の第23回参議院通常選挙への対応についての報告がされた後、組織強化と各都道府県の連盟の現状について資料が提示された。

一般用医薬品のインターネット販売を原則禁じた厚労省の省令を違法とした最高裁判決が下されたことを受け、医薬品のネット販売に関する議員連盟（議長 尾辻秀久参議院議員、事務局長 橋本岳衆議院議員）らは各方面からのヒアリングを行いながら、これまで7回にわたる総会を開催し、医薬品のネット販売は利便性の為に安全が損なわれてはならないという主旨のもと、ネット販売のルール作りに関する協議を続けている。過日の最高裁判決は安全性を重視した現行の薬事法を否定したわけではない。従って法律的手続きに基づいて、ネット販売によって薬害被害者が発生しない法改正が急務である。厚労省研究班によると国際的に問題となっている偽造薬により健康被害を起こした人はここ5～6年で世界1,300人以上にのぼり死者も400人以上いるとのこと。

すべてがインターネットで入手した薬ではないにしろ、危険性は常につきまとう。

また、宮城県では宮城県議会議長名で下記のような意見書が衆参議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あてに出された。

一般用医薬品の販売時においては、販売者側からその医薬品に関する（適切な情報提供）が行われ、購入者が十分に理解することや、購入者の疑問・相談に対して（適切な相談応需）が行われることが必要である。また、購入者ごとに体質、基礎疾患の有無、その他健康状態が異なることや、同一の購入者であっても、その都度症状が異なる事があることから、販売者側における購入者の（状態把握）が不可欠である。

こうした（適切な情報提供）、（適切な相談応需）及び（状態把握）が行われる為には、購入者と薬剤師等の専門家との間で円滑な意思疎通が行われることが必要である。

また、近年、医療用医薬品から一般用医薬品に移行される医薬品が増加しているが、それらは効果が高い反面、適正に使用されない場合には重大な健康被害を招くこともあり、薬剤師等の専門家が購入者から十分な情報収集を行い、個々にその適否を判断することが必要である。

このように、一般用医薬品の販売に際しては、購入者と薬剤師等専門家がその場で直接やりとりを行うことが出来る対面販売が必要であり、これを医薬品販売に当たっての原則とすべきである。

よって、国においては、一般用医薬品の販売に際しては対面販売を原則とし、薬事法の改正等必要な措置を講ずるよう強く要望する。

地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成25年 3 月19日

宮城県議会議長 中村 功

市場経済を優先すると職業倫理観が衰退する。職業倫理観が衰退すると真っ先に被害を被るのは弱者である。日本薬剤師連盟は「無関心が最大の敵！」をキャッチフレーズに活動をしている。また若い薬剤師が連盟を理解し、行動を起こすために～各都道府県主催若手薬剤師フォーラム～も各地で実施している。薬剤師の組織をまとめ、薬剤師の職能を全うするために活動をしていることをみなさんに理解していただきたい。薬剤師が国民の健康と医療にとって必要な職業である事を国民に伝えるために。



国会レポート

「自民党・薬剤師問題議員懇談会が開催される」



参議院議員

薬学博士

藤井もとゆき

平成25年4月10日(水)の夕刻、昨年5月以来一年ぶりの薬剤師問題議員懇談会が開催されました。世話人会に引き続き開かれた総会には、代理出席を含め150人ほどが出席されました。昨年末の衆議院選挙において自民党議員が増加したことを受け、この一年間に90名近い議員が、都道府県薬剤師連盟の推薦を受けて入会を希望され、世話人会で了承されました。児玉会長を始め、日本薬剤師連盟の役員も世話人会及び総会に出席され、医薬品のネット販売反対等、日本薬剤師会の主な課題と要望について資料をもとに説明をいただき、その後、意見交換を行いました。ネット販売については、出席されていた福岡厚生労働部会長から、自民党の薬事に関する小委員会において、国民の安全確保という観点から消費者団体等から意見をお聞きする会合を開催することとしているとの発言がありました。

総会終了後、日本薬剤師連盟の役員の皆さんや都道府県薬剤師連盟の会長、幹事長なども参加され、薬剤師問題議員懇談会と日本薬剤師連盟との合同懇親会が開催されました。

懇親会は、小田日本薬剤師連盟幹事長の進行のもと、まず、世話人の紹介が行われ、世話人を代表して伊吹薬剤師問題議員懇談会会長より挨拶がなされました。続いて、日本薬剤師連盟の児玉会長から挨拶と連盟役員の紹介がありました。乾杯の音頭を、議員懇談会の幹事長兼会長代行の松本純先生にお取りいただき、懇談が始められました。

日本薬剤師連盟側からは130人ほど、議員懇談会側からは代理出席を含め170人以上が参加され、昨年に比べて多くの参加者となり、大いに盛り上がった懇親会となりました。懇親会は、地域ブロック別にテーブルが用意され、議員は出身地のテーブルにおいて当該地域の薬剤師連盟の役員の皆さんと親しく懇談をされていました。中締め挨拶の途中で、石破幹事長が急遽参加され、ご挨拶をいただきました。

自民党の薬剤師問題議員懇談会は、今から41年前の昭和47年10月に設立総会が開催され、医薬品問題及び医療に関する薬剤師の諸問題を検討することを目的として、その活動を開始し、現在に至っています。記憶に新しいところでは、薬学教育6年制の実現、医療法において薬剤師を医療の担い手及び薬局を医療提供施設に位置付けるなどの重要懸案事項の解決に対して支援していただけてきました。

一方国会は、昨年末における政権交代により、年度内の平成25年度政府予算の成立が物理的に困難とされていたことから暫定予算案の策定が急がれていたが、3月29日(金)の本会議で5月20日までの暫定予算を何とか成立させることができました。今後は、政府予算の成立に向けての議論が活発になるものと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

犯罪情報官 速報

「ワクチン債」 の勧誘に注意!

「医療法人徳洲会」の名前を騙り、
厚生労働省がワクチン開発のため
「ワクチン債」を発行する
という嘘のパンフレットを作成し、購入を勧誘している者がいます。

実際に証券会社が販売している「ワクチン債」は存在しますが、**厚生労働省が販売している事実はありません。**

被害防止のポイント

- 金融商品は、登録を受けた正規の証券会社を通じて購入しましょう。
- 金融商品にリスクはつきもの。「必ず儲かります」という言葉は詐欺です!
- 一人で判断せず、必ず誰かに相談しましょう。

平成23年-平成27年
「なくそう犯罪」
ひろしま 新 アクション・プラン
～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標 日本一安全・安心な広島県の実現
行動目標 これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

メールマガジンで会員の皆さんにいち早く犯罪発生情報等をお知らせします。
携帯電話のバーコード読取機能を使って右のQRコードを読み取ってください。

27警察署のうち、特定の警察署のメールだけを受信するように設定することができます。
また、情報種別については、「子ども・女性対象の事件、不審者情報」「防犯情報」「県警からのお知らせ」の3つから、受信するメールを自由に選択できます。



メールマガジン
会員登録

第46回 The 46th
Japan Pharmaceutical Association Congress
of Pharmacy and Pharmaceutical Science
日本薬剤師会
学術大会 in OSAKA

**薬剤師の
新たな使命**

～120年の歴史を踏まえて～

会期 平成25年

9月22日(日)～23日(祝)

会場 グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)

主催 日本薬剤師会
大阪府薬剤師会

<http://www.gao.ne.jp/opa>





社団法人 広島県薬剤師会

〒730-8601 広島市中区富士見町11番42号

電話 (082) 246-4317 (代) FAX (082) 249-4589

ホームページ <http://www.hiroyaku.or.jp>

E-mail アドレス yakujimu@hiroyaku.or.jp



E-mail QR